

令和4年度

同仁

社会福祉法人 同仁会

事業概要





## はじめに

昨年度も新型コロナウイルスは長期にわたって社会に大きな影響を与え続けました。我々も子どもたちも様々な活動に制限を強いられ、翻弄された1年でした。

常々感染の予防には細心の注意を払ってきましたが、それでも感染を避けることは難しく、今も不安の日々は続いています。令和4年度もまずは引き続き感染の予防と集団感染の防止に取り組んでいく所存です。

さて、昨年8月から大規模修繕工事をしている「同仁会子どもセンター」も間もなく竣工です。小規模化・地域分散化を推進するに当たり、建物内に臨海学園は5つのユニット、同仁会乳児院は4つのユニットが整備されます。

子どもたちの生活が今まで以上にのびのびと、安心して寛ぐことが出来る環境となるよう願っています。

本年度も引き続き重要な課題である福祉人材の確保と処遇の改善、離職率の改善に取り組むとともに、経営の効率化、法令遵守を一層強化し、より安全で安定した運営に努めます。

指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

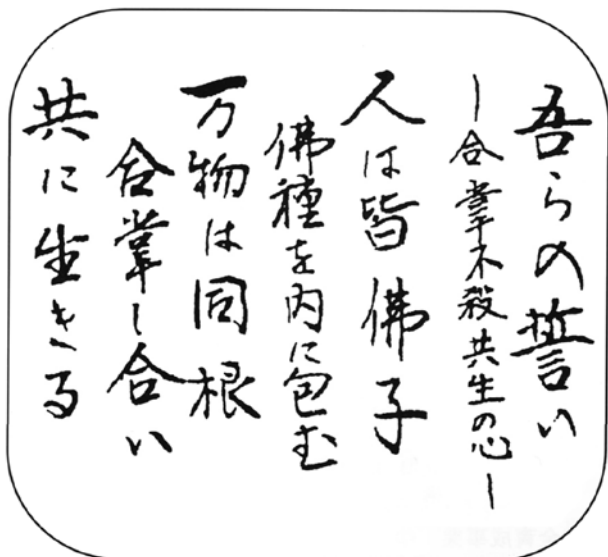
令和 4年 6月16日

理事長 塩澤 幸一

# 目 次

はじめに

綱領・年間目標・経営基本方針	1
1 施設の概要	8
2 法人の沿革	10
3 令和4年度経営計画	13
4 役員、評議員及び施設長等	13
5 組織及び職員の配置	14
6 法人の運営	16
7 部門別運営計画及び令和3年度の状況	28
1. 同仁会児童家庭支援センター	28
2. 児童家庭支援センター あいびー	31
3. 発達障害者支援センター COLORSつくば	33
4. 同仁会地域子育て支援センター	35
5. 保育所 同仁東保育園	39
6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ	43
7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩	46
8. 児童養護施設 臨海学園	48
9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム	56
10. 児童養護施設 内原和敬寮	63
11. 児童養護施設 つくば香風寮	71
12. 乳児院 同仁会乳児院	80
13. 乳児院 さくらの森乳児院	88
14. 児童心理治療施設 内原深敬寮	96
8 令和4年度収支予算書及び令和3年度決算の状況	103



創設者理事長 遠藤 光静 書

## 綱 領

### 『合掌深敬の心』

#### 三つの誓い

ふ	せ	(	あた	よるこ	を	まな
布	施		える	び	を	学
持	戒	(	おのれ	ちか	い	を
智	慧		ゆた	かな	精	神
			か	な	を	培
			え			え

大自然は“共生”の大原則のもと、それ自体の摂理と自浄作用により全体のバランスを保ち生存維持の営みを続けている。

人間も自然の一部として、この生の営みの埒外ではない。この事は自然保護や環境保全が新しい現代の人間課題として登場してきた現実に照らしても自明である。

“釈迦牟尼”－仏陀の教示する不殺生の戒は、現代的にはこの共生の原理に当るものである。また所謂、共存や生命尊重も以上の事を踏まえたうえでの論理に立つものである。とりわけ、生命尊重は何人も仏性（己を高めたい願望）を内蔵する故に尊く、また人間の仏教的生きる使命は、その内なる能力開発（仏性開顕）にあると訓されている。福祉が人間の幸福課題を希う実践であろうとする限り、その人間課題の深い部位で、仏陀の覚り得たものと密に弧を接する群類にあると言える。

本会はこのような基本理念に立ち、福祉の実践を目指すものである。関係者一同、この共通理解に立ち職分を自覚し、異体同心にその担い手として社会福祉の一隅を照らそう。

## 一 年 間 目 標 一

### 四月 合掌聞法 — 最高の聞き耳を持つ —

話を聞くのに一番大切な事は、関心のある心のベースがある事が物事をよく聞き取る基である。聞法の「法」とは仏教哲学の教える規範、「人はいかに生くべきか」の教を指す。本当は、この事が「生きる」と言う生命を持続している限り第一の関心事である筈だ。

この心構えで話を聞けば、何事も自分の生きる糧とならないものはなく、有り難い事である。限りある人生の中で、見聞き得た事が勉強となるなら、全て合掌感謝とならなくてはならない。私も子供に法を聞く者である。

### 五月 持戒和合 — きまりを守る —

客体的な戒としては法律があるが、ここで言う「戒」は主体的戒を指します。客体的集団規制の掟以前の人の生き態に係る、自分が自分に課する戒の事です。速度を高くすればする程、それに対応する制禦が働かない事には実用に役立たない。人間も地位・立場に相応する自己制禦のブレーキが必要である。それを生涯の戒とする人は、立派な人生と言える。和合は実は内なる盲目の自己と自己制禦の葛藤の上に支えられる至宝である。

### 六月 生命尊重 — 凡ての物の生命を大切にする —

宇宙は一体・全体が連鎖集合の生命体、人間を頂点とする生命体の連鎖生滅、弱肉強食の上に生命が維持されている。

殊に人間の生命は、宇宙の最高の生命顕現として、覚者—仏性—たる可能性を持つ故に尊厳である。それ故、全生命系の支配と同時に護り育てる責任がある。全てをその本来のいのちの如く、完全に自己実現できるよう祈らねばならない。

### 七月 布施奉仕 — 社会に喜ばれる —

グローバルな生態系の中で、生物は相互に食い合う連鎖関係で生きて居ります。人間だけが食われる連鎖から解放され、色々の生命体を食って生きて居ります。意識して与える事のできるのは人間のみです。その事を踏まえての奉仕の心です。大乘仏教の布施行は、意識して他に与え、みかえりを求めない修行です。

「財 施」 無償の金品施与の行です。心がければ誰でもできます。それでも「あんなにしてやったのに」と愚痴るもの、求めない事は至難の技です。

「法 施」 人間の生き態、ものの道理を教えてあげる、心の糧を与えられる人は幸せです。

「無畏施」 危難や生死の関頭に立って安祥として対処できる悟道を与える事、凡人のできない事です。身体で、口で、意で常に心掛ける事が大切です。

### 八月 自利利他 — 相手の立場を考える —

仏教は物の道理を教える理論を持って居ります。「因縁」と言う言葉がそれです。よく「袖ふれ合うも多生の縁」等と言います。物事は全て因が先ず有って、それが縁にふれ果が生じ、その果がまた第二因となって、縁にふれ第二果を生む、連鎖して無尽の相関関係の世界を展開します。

人と人の結び付きも無尽世界そのものです。その中で本能的に生きる限り、誰もが自利を追求するのは当然です。

だが人間相互の係りは、自利が利他になる様な積算が成立しない限り、個と個は結ばれる事はありません。自利とは利他によって与えられたものです。この事を踏まえて、自利を得る「受け皿」をつくる事が先決です。

「利他行」 他<sup>りたぎょう</sup>の為にお役に立つ心掛けは、社会生活の基本です。利他行なくして得たものは、本当の自分のものでなく、一時預りのようなものです。

## 九月 報恩感謝 — 有難うと心から言える —

マスコミ情報<sup>うず</sup>の渦、騒忙<sup>そうぼう</sup>の日々の中では、自己凝視<sup>ぎょうし</sup>とは縁遠いものとなりました。今日只今<sup>こんにちただいま</sup>、此処<sup>ここ</sup>に存生<sup>ぞんじょう</sup>する自己を凝視<sup>きび</sup>することを仏教<sup>きび</sup>は厳しく教えて居ります。親ありて、師ありて、友人ありて、郷土故国ありて、親、師、衆生<sup>しゅうじょう</sup>、国土<sup>しおん</sup>の四恩を掲げて居ります。

人間だけができる自己<sup>めぐ</sup>を環る凝視<sup>ぬく</sup>の深い温もりと、ほのぼのとした感謝<sup>じょうねん</sup>の情念です。生命のルーツ、育ての親、学習し得た師友先輩、自然の山河、国土風俗等、どれを取っても自分を養い<sup>はぐく</sup>育<sup>い</sup>んでくれた大自然の営<sup>いとな</sup>みです。一つ一つの反省点検を経て、無償<sup>むしょう</sup>享受<sup>じょうじゆ</sup>の施与<sup>せよ</sup>を受けて居る事にハッと気付いたものです。四恩を感じ取れる人は、この施与<sup>また</sup>に応え、亦、感謝「ありがとう」の言葉の素直に言える、内懐<sup>うちぶところ</sup>の深く豊かな人です。そんな人に育て、なりたいものです。

## 十月 同事協力 — 心こもる協力 —

お互いに同じ空の下、同じ時代を共受共有して「今ここにある」と言う己の存在を考えてみた事がないだろうか。当り前の事を、永遠の時、無限の空間の位相<sup>いそう</sup>で考えてみる。そう言う位相<sup>うす</sup>に己を打ち据えて探求する。同事とはその様な哲学する姿勢である。そこでは大きな価値転換、つまり偶然、当り前の事が必然なものとなり、私と他者との出会いが運命的必然として再生してくる。

同事協力とは、だからそんな深い思索<sup>しさく</sup>の底で縁<sup>ほんしょう</sup>の本性に<sup>し</sup>気づき、心から協力する生き方である。思い付きや、一寸<sup>ちよつと</sup>した縁での協力もあるが、親兄弟、夫婦、恩師上司、親友同僚等、その関係には浅深<sup>せんしん</sup>があるが、「袖ふれ合うも多生の縁」とやら、路傍<sup>ろぼう</sup>のものとして過ぎ去って行くのではなく、心の永遠の相の窓に映し、心の中にどのように慈<sup>いつく</sup>しみ育てるか、豊かな人生<sup>きず</sup>を築<sup>かぎ</sup>く鍵でもあると言えよう。

## 十一月 精進努力 — 己の成長を愛せ —

秋もたけなわ、自然は秋の果実をみのらせ、「食欲の秋」とも言われる。“精進料理”と言われ魚介類を使用しない仏教の調理がある。心身を調和して養い、求道修行の目的<sup>べた</sup>を果すに好都合な料理の意味である。

人も自然の一部として、その自然環境に育つ食物によって生き、生かされている。「身土不二」と言う東洋思想がその事を物語っている。肉体は環境自然に依<sup>よ</sup>って養われて居り、だとすれば大地と肉体とは大きく連続して居ると思惟<sup>し</sup>する発想である。

霊長類<sup>れいちよう</sup>としての人の生きて居る目的は、自然の調和<sup>じゆんのう</sup>に順応して、地上に平和の世界を実現する事である。その為の生命、その生命維持の為の「食」である限り、徒らに肉体生理上の糞として排出する丈ではない。それは身を養い、そのエネルギーを社会に活性化する事である。精進努力とはその様な深い意味をもつものである。

## 十二月 忍辱持久 — 苦しい事に耐える —

受刑者が、「刑務所を出る」ことを「沙婆<sup>しゃば</sup>に出る」と言う。シャバとは梵語で、「忍土<sup>ぼんご</sup>」と訳す。人間の生きるこの世は、苦しい事<sup>いや</sup>や嫌な事に耐えて生きる世界であると言う大前提が、仏教には先ずあることを考えて見る事である。物質文

明の恩恵に浴し、その中にどっぷりと埋没した現代は、エゴだけが露出し、耐える事を忘れかけた時代とも言えるかも知れない。

その様な時代だからこそ、肉体の鍛練の凡ゆるスポーツが大切なのと同時に、意図的な自己耐性の涵養が心がけられるべきである。仏教の忍辱持久の徳目は、人が生きる姿を、耐えてゆく事と捉えた大前提に立って、凡ゆる苦しい事に立ち向かって生きる生き態を教えて居るものとして意味深いものと思う。

自己の耐性は誰も手伝ってくれないもの、自分で開発するしかない徳目である。

## 一月 和顔愛語 — 心に慈愛をたたえ、相手の為になる言葉かけをする —

「愛語」とは、その言葉が、その人の人生の転機となる、亦は生涯の生活の指針となる様な言葉。だから常に心の奥深く、他者を慈愛する心がなくては生まれない一語である。従って愛語を発する時は自然に、慈しみをたたえた和顔であるので「和顔愛語」と言う。

悟りを得た後の仏陀の言葉は、衆生慈悲の言葉を謂うもの、全てが和顔愛語である。愛憎、悲喜、怨恩等々現実の姿を、仏智見と言う絶対慈悲の境位で把える世界である。親の児に示す、無条件の慈愛、犠牲、奉仕、言葉かけ、どれ一つ取っても、人間の持つ靈性、仏性の一分顕現である。

愛語は、にたにた笑いからは出ない。時には仁王の様な叱怒も伴う。心底は和顔なのである。無償の慈愛なしには一語もない世界だ。

## 二月 禪定寂靜 — 心を無の状態に静坐し、常に根源的発想を養うこと —

人間開発を心身共に最高に開発活性化し、地上楽土を建てる事が仏教の目的である。仏陀の切り開いた内証の世界は、禪定と言う静坐の姿勢から得た地上最高の精神世界である。

独生独死、独去独来と言われる自己の「己れ」とは何者かを見据えて見る事は大切な事である。情報時代と言われる、余りにも多種多様な情報に包まれ、時に情報選択すら放棄し慌しく返す日々の多い今日この頃、心掛けねばならない事である。心の大掃除、点検、自己回復の手段である。人は半神半獣、靈肉二重層の世界を生きる、欲望と言う名の馬車に乗る生きものである。

臍下丹田呼吸は坐禅の初歩、そして奥儀である。自信溢れる福祉実践者は、丹田を養生する事から始まる。一呼吸置いてする心掛けである。

## 三月 智慧希望 — 困難を乗り越えてゆく人生智を持ち、祈りと希望を捨てるな —

人の生活する現実、は、相対の世界である。苦楽、愛憎、悲喜は、相互に裏腹である。この相即相対の原理に立って、苦に居て、楽の日の近い事を、愛の日々が、憎の時にならない様、発想出来る人間訓練が望まれる。

智慧とは、知識とは異なる流動的な生の流れの真っ只中で行なわれる人格的総合判断である。

多難の人生、毎日が決断の日々であるが、決断に戸惑う暗黒の日もないとは言えまい。そんな時は、動かずじっと希望を捨てず、祈る事である。祈りは、危機に臨んで最高のエネルギーを分与してくれる。祈り、希望しない処には何も生まれて来ないからである。

仏語の智慧とはもっと高次元のものだが、我々も常にこの人生を切り開いてゆく智慧を養いたいものである。



## 誓 願

綱領及び年間目標は、創始者初代理事長遠藤光静氏が描いた熱き思いである。

私たちは、永遠の課題としてこの基本理念を尊重し、誠心努力することを誓願する。

## 理 念

綱領「合掌深敬の心」を基本理念とする。

合掌深敬とは「感謝して深く敬う」との言葉であるが、狭義では人間尊重や個性尊重を意味している。しかし、課題として捉えるには漠然としている。故に、これを「人権を守る」と定義し、以下のとおり解釈する。

- ① あなたのことを知っています
- ② あなたに関心があります
- ③ あなたを必要としています

これらを具現化するために、次のとおり実践する。これらが、私たちのめざす「自立支援」の基本です。

- (1) 「あなたのことを知っています」とは、その基本は名前を知っているということです。必ず名前を呼ぶようにします。
- (2) 「あなたに関心があります」とは、人間関係を示唆し、その基本はあいさつすることにあります。常に明るくあいさつすることを心掛けます。
- (3) 「あなたを必要としています」とは、「ありがとう」と言葉でいえることです。私たちは福祉を志し、奉仕やボランティアのこころを強く持っているため、常々「ありがとう」と言われる立場にあります。しかし、福祉の専門職としては、私たちが「ありがとう」と言える環境を造ることが求められています。子ども達の行事の参加や常々のお手伝いの中で「ありがとう」と言える場面を沢山造っていきます。

## 法人の求める職員像

職員は常に自律の心を持ち、他人の為に働く喜びを忘れず、物事に柔軟に対応できることを基本とする。

職員は常に理想を描き、その実現のため他人と協調し、積極的に行動するように努める。

職員は常に法人理念及び年間目標を理解し、正しい判断ができるように研鑽に努める。

- 人事規程第9条
  - 1 人格見識に優れていること
  - 2 常に精進努力を心がけること
  - 3 法人の綱領及び年間目標を理解し、実践できること
  - 4 他と協調し又は共同して業務の推進を図れること
  - 5 情報の収集と分析ができること
  - 6 将来を先見し目標達成のため努力できること
  - 7 安全への配慮と適切な対応ができること

# 経営基本方針

社会福祉法人同仁会は、専ら児童福祉に関する事業を実施することを宣言し、法人の経営及び事業の実施にあたっては、次の事項を遵守してまいります。

## 1 人権の尊重

- (1) 法人綱領及び理念の理解と実践に努める。
- (2) 利用者（以下「児童」という。）の権利を尊重したサービスの提供、発展に努める。
- (3) 児童や家族からの苦情、相談に対して誠意を持って対応するとともに、第三者委員制度の活用などにより、適切な是正、改善に努める。
- (4) 児童や家族のプライバシーや個人情報の保護に努める。
- (5) 人権の尊重や個人の尊厳への配慮意識を高める研修を定期的実施する。

## 2 サービスの質の向上

- (1) 児童の個性や特性に応じ、児童自身が自主的、主体的に活動できるように支援する。
- (2) 家庭との連携及び相互理解を図りながら、早期に家庭復帰ができるように家庭環境の整備に努める。
- (3) 施設ごとにサービス提供方針、業務手順や必要なマニュアルを策定し、職員に浸透させる。
- (4) 施設ごとにリスクマネージャーを置くとともに、共通理解を図るためリスクマネージャー会議を定期的開催する。
- (5) 第三者評価の受審により、客観的な視点でサービスの質をチェックする。
- (6) 学校教育との連携協力体制を構築し、一体とした支援に努める。

## 3 地域との連携協力

- (1) ボランティアの受入を積極的に行い、住民参加による福祉の実践に努める。
- (2) 地域の関係機関、団体とのネットワークの構築に主体的に関わり、福祉ニーズを抱える住民への適切な支援の基点となるように努める。
- (3) 地域の再生又は活性化に向け、町おこしや雇用の創出に積極的に関わるとともに、人の集う場の提供等に努める。

## 4 コンプライアンス（法令及び法人倫理遵守）の徹底

- (1) 法令及び法人倫理の遵守の徹底に向けた管理体制や規定を整備し、公共的、公益的かつ信頼性の高い経営に努める。
- (2) コンプライアンスの適切な理解と啓発に努める。

## 5 説明責任の徹底

- (1) 法人事業や財務に関する情報を積極的に公開し、透明性の高い経営を実現する。
- (2) サービス提供に関する適切な記録と保管を行う。
- (3) 児童との信頼関係の構築及び地域とのコミュニケーションに努める。

## 6 関係業者との適正な契約関係の構築

- (1) 関係業者との公正、透明かつ自由な取引に努めるとともに、適正な契約関係の構築を行う。
- (2) 反社会的勢力や団体に対する対応マニュアルを策定する。

## 7 行政との連携・協力の促進

- (1) 行政との連携及び協働により、地域の課題への積極的な対応に努める。
- (2) 行政との透明性の高い関係を構築する。

## 8 人材育成、適切な人事・労務管理の実践

- (1) 人材育成に関する方針を明確にし、研修体系の整備等、人間性の向上や必要な能力開発に努める。
- (2) 職員の自己研鑽を支援する。
- (3) 職員の自己実現に配慮し、多様な人材が個々の能力を発揮できる職場づくりに努める。
- (4) 労働関係法令の遵守と適切な労務管理を実施するとともに、適正な人事制度を構築する。また、高齢者、障害者の働く場の確保に努める。
- (5) 安全で健康的な職場環境を確保し、快適な働く場の実現に努める。
- (6) 福祉職員養成における実習及び教員養成課程における介護等実習を積極的に受入、質の高い人材育成に資する。

## 9 公共的・公益的取組の推進

- (1) 地域の児童福祉ニーズを幅広くかつ迅速に把握するように努め、先駆的、開拓性のある事業経営を実践する。
- (2) 地域において児童の支援を要する者に対して、既存制度の枠組みにとらわれずに支援の実施に努める。

## 10 組織統治の確立

- (1) 経営に対する適切なチェック・牽制機能の強化を意図した組織作りに努める。
- (2) 外部監査を実施し、事業、財務に関するチェックを行う。
- (3) 公益通報者保護法に基づく相談・通報窓口を整備する。

## 11 財政基盤の安定化

- (1) 業務分掌及び職務権限を明確にし、適正な会計処理が行える体制を整備する。
- (2) 施設の長及び会計担当職員は、会計処理に必要な知識の習得に努める。
- (3) 法人の経営状況及び財務状況をホームページや広報誌等により積極的に公表し、透明性の高い財務管理に努める。
- (4) 施設整備など長期的計画に基づき、積立等の資金管理を実施する。
- (5) 職員全員のコスト意識の醸成を図る。

## 12 経営責任の明確化

- (1) 事件事故が発生した場合は、理事長又は施設の長が率先して対応に当たり、原因の究明、被害の拡大の防止、再発防止策の明確化等、責任ある対応に努める。
- (2) 理事長又は施設の長は、事実関係や再発防止策を公表するなど、迅速な説明責任を果たす。
- (3) 施設の長は、日常的にリスクマネジメント及び危機管理の具体的な取組を行う。

# 1 施設の概要 (同仁会ホームページ : <http://www.doujinkai.or.jp/>)

## 1) 同仁会子どもセンター

所在地 〒318-0011 茨城県高萩市肥前町 1-80  
敷地 3,449.93 m<sup>2</sup>  
建物 鉄骨造 4階建 (一部地下1階) 3,160.15 m<sup>2</sup>  
児童養護施設 臨海学園 (定員 30名)  
TEL 0293-22-2357 FAX 0293-23-3224 E-mail rinkai@doujinkai.or.jp  
施設長 塩澤 幸一

乳児院 同仁会乳児院 (定員 20名)  
TEL 0293-23-6251 FAX 0293-23-3224 E-mail baby@doujinkai.or.jp  
施設長 谷 由紀子

同仁会児童家庭支援センター  
TEL 0293-22-2471 FAX 0293-22-0337 E-mail kodomo@doujinkai.or.jp  
TEL 0293-22-0318 (相談専用電話)  
センター長 芳賀 英友 (兼務)

法人事務局  
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260 E-mail mail@doujinkai.or.jp  
事務長 遠藤 雅明

## 2) 認定子ども園 同仁東保育園 (定員 135名)

所在地 〒318-0013 茨城県高萩市高浜町 2-35  
敷地 1,944.01 m<sup>2</sup> (内借地 906.01 m<sup>2</sup>)  
建物 鉄骨・木造コンクリート屋根スレートかわらぶき陸屋根2階建 993.36 m<sup>2</sup>  
TEL 0293-23-6121 FAX 0293-23-2413 E-mail higashi@doujinkai.or.jp  
施設長 今橋 優子

## 3) ゆうゆう館

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-144  
敷地 506.36 m<sup>2</sup>  
建物 鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根2階建 399.74 m<sup>2</sup>  
放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ (定員 40名)  
TEL 0293-23-7643 FAX 0293-20-5103 E-mail club@doujinkai.or.jp  
子育て支援拠点事業 同仁会地域子育て支援センター  
TEL 0293-20-5559 FAX 0293-20-5103 E-mail kosodate@doujinkai.or.jp  
館長 伊藤 ミサ子

## 4) 児童養護施設 同仁会子どもホーム (定員 25名)

所在地 〒318-0024 茨城県高萩市秋山 712-1  
敷地 1,736.04 m<sup>2</sup> (借地)  
建物 本館 : 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 494.74 m<sup>2</sup>  
ユニット棟 : 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 164.41 m<sup>2</sup>  
TEL 0293-23-3254 FAX 0293-20-5188 E-mail home@doujinkai.or.jp  
施設長 芳賀 英友

5) 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩 (定員 10名)

所在地 〒318-0012 茨城県高萩市有明町 1-46

敷地 538.93 m<sup>2</sup>

建物 木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 111.79 m<sup>2</sup>

TEL 0293-44-7301 FAX 0293-23-7302 E-mail kureyon@doujinkai.or.jp

責任者 伊藤 ミサ子 (兼務)

6) 内原同仁会子どもセンター

所在地 〒319-0325 茨城県水戸市小林町 1186-84

敷地 14,125.26 m<sup>2</sup> / 4,139.11 m<sup>2</sup>

建物 和敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 648.10 m<sup>2</sup>

小規模ユニット棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 345.43 m<sup>2</sup>

管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 302.67 m<sup>2</sup>

深敬寮本館：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1,751.91 m<sup>2</sup>

学校棟：鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建 739.18 m<sup>2</sup>

児童家庭支援センター：鉄骨造2階建 324.00 m<sup>2</sup>

児童養護施設 内原和敬寮 (定員40名)

TEL 029-212-5054 FAX 029-239-3083 E-mail wakei@doujinkai.or.jp

施設長 西野宮 由紀

児童心理治療施設 内原深敬寮 (定員入所35名・通所10名)

TEL 029-212-5053 FAX 029-239-3082 E-mail uchihara@doujinkai.or.jp

施設長 渡邊 孝幸

内原同仁会事務局

TEL 029-257-5501 FAX 029-259-6688

児童家庭支援センター あいびー

TEL 029-291-3770 FAX 029-291-3772

センター長 西野宮 由紀 (兼務)

7) つくば同仁会子どもセンター

所在地 〒300-1245 茨城県つくば市高崎 802-1

敷地 6,152.00 m<sup>2</sup> / 1,856.21 m<sup>2</sup>

建物 つくば香風寮本館：鉄骨造陸屋根2階建 1,074.92 m<sup>2</sup>

さくらの森乳児院本館：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 457.95 m<sup>2</sup>

管理棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 323.30 m<sup>2</sup>

COLORS棟：木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建 159.35 m<sup>2</sup>

児童養護施設 つくば香風寮 (定員30名)

TEL 029-875-3451 FAX 029-875-3460 E-mail tukuba@doujinkai.or.jp

施設長 江原 勝久

乳児院 さくらの森乳児院 (定員20名)

TEL 029-875-3452 FAX 029-875-3460 E-mail sakura@doujinkai.or.jp

施設長 小林 亮一

発達障害者支援センター COLORSつくば

TEL 029-875-3485 FAX 029-875-3486 E-mail colors@doujinkai.or.jp

センター長 江原 勝久 (兼務)

## 2 法人の沿革

設立発起人 遠藤光静  
大高新一郎  
今川三九郎  
鈴木藤雄  
滝宗作

年月	種別	概要
昭和25年 4月	(同仁会)	創立者 遠藤光静氏、自坊にて里子3名を養育
10月	(同仁会乳児院)	日立市助川町2-15を市より無料貸与
		恩賜財団同胞援護会日立支会「日立乳児預かり所」認可 定員9名(10月7日)
昭和27年 1月	(臨海学園)	建設中の施設建物焼失、焼失時竣工率80%(1月12日)
6月	(臨海学園)	秋山小学校廃材にて竣工、「高萩臨海学園」認可 定員40名(6月24日)
昭和28年 4月	(同仁会乳児院)	保育棟増築(共同募金会・日立市補助)
昭和30年 4月	(臨海学園)	定員50名に増員
昭和32年 3月	(同仁会乳児院)	恩賜財団同胞援護会日立支会解散、私立日立乳児院となる
昭和37年 11月	(同仁会)	社会福祉法人設立認可、「高萩臨海学園」と称す
11月	(同仁会)	遠藤光静氏、初代理事長に就任
昭和38年 3月	(臨海学園)	児童小舎寮新築(お年玉付年賀はがき寄付金補助事業)
4月	(臨海学園)	御下賜金拝受
8月	(臨海学園)	調理室改築
昭和39年 4月	(同仁会乳児院)	御下賜金拝受
7月	(臨海学園)	臨海学園本館全面改築(日本自転車振興会補助事業)
昭和41年 11月	同仁会	法人名称変更「同仁会」と改称
昭和42年 4月	臨海学園	「臨海学園」と改称
4月	(同仁会乳児院)	創設者院長 立花 寿氏 物故 社会福祉法人同仁会帰属
9月	同仁東保育園	建物竣工、臨時開園(日本自転車振興会補助事業)
10月	(同仁会乳児院)	施設増築、「日立乳児院」認可、定員13名
昭和43年 4月	同仁東保育園	「同仁東保育園」認可、定員60名
昭和44年 4月	同仁東保育園	定員70名に増員
昭和45年 4月	同仁東保育園	定員90名に増員
昭和51年 2月	(同仁会乳児院)	高萩市に施設建物竣工及び移転(日本船舶振興会補助事業・2月5日)
4月	同仁会乳児院	「同仁会乳児院」と改称、定員24名
昭和53年 12月	臨海学園	児童ホール新築(日本自転車振興会補助事業)
昭和54年 12月	臨海学園	調理棟改築(日本馬主協会補助事業)
昭和56年 4月	同仁東保育園	乳幼児室増築、0才児保育開始
11月	同仁会	施設設立30周年記念祝賀会開催

年 月	種 別	概 要
昭和62年 12月	同仁東保育園	幼児室及び遊戯室の増改築（日本自転車振興会補助事業）、障害児保育開始
平成4年 4月	同仁会	施設設立40周年記念
平成6年 5月	同仁会	創設者理事長 遠藤光静氏 逝去
6月	同仁会	遠藤光洋氏 第二代理事長就任
平成7年 4月	同仁会乳児院	定員30名に増員
平成9年 4月	同仁会	法人事務局、高萩市有明町に移転（ゆうゆうクラブ2F）
4月	同仁東保育園	延長保育開始（午後8時まで）
4月	ゆうゆうクラブ	放課後児童健全育成事業「ゆうゆうクラブ」開設、定員40名
平成11年 12月	臨海学園	臨海学園全面改築「同仁会子どもセンター」竣工（国・県補助事業）
平成12年 1月	臨海学園	定員70名に増員
4月	臨海学園	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
4月	同仁会乳児院	同仁会子どもセンターに移転合築、定員35名に増員
4月	同仁会乳児院	「同仁会子育て支援センター」の付置
平成13年 4月	臨海学園	定員80名に増員
4月	同仁会乳児院	定員40名に増員
4月	同仁東保育園	一時保育開始
4月	同仁会子どもホーム	児童養護施設「同仁会子どもホーム」設置認可、定員26名（旧乳児院跡地）
平成14年 5月	同仁会	評議員会設置
5月	同仁会乳児院	乳児室増築のための確認申請完了（事業の実施は延期）
10月	同仁東保育園	保育園舎増改築（高萩市補助事業）
平成15年 2月	同仁会	施設設立50周年記念祝賀会開催
3月	同仁会	児童情報管理システム導入（臨海学園・子どもホーム）
3月	同仁会乳児院	乳児室内部改装工事実施
3月	同仁東保育園	保育園舎増改築工事完了
4月	同仁会乳児院	同仁会子育て支援センターの廃止
4月	同仁東保育園	「同仁会地域子育て支援センター」の付置
7月	内原深敬寮	情緒障害児短期治療施設「内原深敬寮」設置認可 計法定員30名（通所10名・入所20名）
7月	内原和敬寮	児童養護施設「内原和敬寮」設置認可、定員30名
平成16年 3月	同仁会	法人事務局、高萩市肥前町に移転（同仁会子どもセンター内）
3月	同仁東保育園	同仁会地域子育て支援センター、ゆうゆうクラブ2Fに移転
4月	臨海学園	ユニットケア推進のため小規模改修
4月	同仁東保育園	定員120名に増員
4月	内原深敬寮	計法定員40名（通所10名・入所30名）
4月	内原和敬寮	定員40名に増員
4月	内原同仁会	第二期内原同仁会大規模改修工事（国・県補助）
平成17年 3月	内原和敬寮	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
4月	臨海学園	定員70名に減員
4月	内原深敬寮	計法定員35名（通所5名・入所30名）
7月	内原同仁会	従たる事務所設置
10月	同仁東保育園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
10月	同仁会子どもホーム	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）
平成18年 11月	臨海学園	第三者評価受審（茨城県社会福祉協議会）

年 月	種 別	概 要
平成19年 4月	内原深敬寮	計画定員40名（通所5名・入所35名）
平成20年 3月	同仁会	法人中長期経営計画策定
平成21年 4月	同仁会	地域子育て支援拠点事業独立
4月	同仁会	一時預かり保育事業独立
平成23年 4月	臨海学園	定員40名に減員
4月	同仁会乳児院	定員20名に減員
4月	同仁会子どもホーム	ユニット棟竣工・開設
4月	つくば香風寮	児童養護施設「つくば香風寮」開所、定員30名
4月	さくらの森乳児院	乳児院「さくらの森乳児院」開所、定員20名
4月	同仁会	一時預かり保育事業を保育園に統合
平成24年 5月	内原深敬寮	施設建物改築のため体育館解体撤去
平成25年 3月	内原深敬寮	内原深敬寮全面改築・竣工（県補助事業） 旧深敬寮建物解体撤去
4月	内原深敬寮	高校生の措置受入開始
平成26年 2月	内原和敬寮	内原和敬寮全面改築・竣工（県補助事業）
3月	内原和敬寮	旧和敬寮建物解体撤去
4月	臨海学園	定員30名に減員
4月	内原和敬寮	定員42名に増員
平成27年 4月	臨海学園	定員29名に減員
4月	内原和敬寮	定員40名に減員
平成28年 4月	同仁会子どもホーム	定員25名に減員
平成29年 4月	臨海学園	定員30名に増員
5月	同仁東保育園	園舎（乳児棟）改築・竣工（自主財源）
11月	内原和敬寮	児童養護施設退所者等アフターケア事業を茨城県から受託
平成30年 3月	同仁会	第二期法人中長期経営計画策定
4月	同仁会子どもホーム	「同仁会児童家庭支援センター」の付置
平成31年 1月	COLORSつくば	発達障害者支援センター事業を茨城県から受託
平成31年 3月	くれよんクラブ高萩	くれよんクラブ高萩事業所新築・竣工（高萩市補助事業）
4月	くれよんクラブ高萩	障害児通所支援事業「くれよんクラブ高萩」開所・定員10名
令和元年 6月	同仁会	塩澤幸一 第三代理事長就任
11月	内原和敬寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	つくば香風寮	里親リクルート事業を茨城県から受託
11月	COLORSつくば	COLORSつくば事業所新築・竣工（自主財源）
12月	内原深敬寮	内原深敬寮学校棟全面改築・竣工（自主財源）
令和2年 6月	内原和敬寮	「同仁会児童家庭支援センター あいびー」の付置
令和4年 2月	さくらの森・あいびー	里親訪問等支援事業を茨城県から受託
3月	同仁会子どもホーム	ユニット棟増築
4月	同仁東保育園	保育所型認定こども園に移行 定員135名に増員
4月	香風・さくら・あいびー	フォスタリング事業を茨城県から受託（他法人と共同受託）



### 3 令和4年度経営計画

本年度は第二期中期経営計画の前期経営計画の最終年となっており、前期5年間の検証を行いつつ継続すべき課題を整理し、より社会情勢等に対応しうる後期5カ年の計画の策定を行って参ります。

一方で、持続可能な法人運営を進める上で重要な課題である福祉人材の確保と職員の待遇改善にも引き続き取り組んでまいります。

これらのことを踏まえ、令和4年度は以下の項目について計画をいたします。

#### 1 事業の方向

- (1) 第二期中期経営計画の後期計画の策定
- (2) 社会的養育推進計画に沿った事業の検討
- (3) さくらの森乳児院の小規模ユニット化に向けた施設整備計画の策定
- (4) くれよんクラブ高萩の相談支援事業の体制強化
- (5) 通所施設（保育園・ゆうゆう館・くれよん）各事業の連携の強化
- (6) 保有地の在り方の検討

#### 2 組織の強化

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策の強化
- (2) 専門家（弁護士、公認会計士、社会保険労務士）の活用
- (3) リスクマネジメント及び危機管理の強化
- (4) BCP（事業継続計画）の検討

#### 3 人材の確保・育成・定着

- (1) 人材確保に向けた取り組みの強化
- (2) 法人実施の職員研修の継続
- (3) 人事考課制度の継続実施

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 予算管理の徹底による財務管理の強化
- (2) 各種加算の確保などによる収入増と無駄の排除による経費削減の徹底

### 4 役員、評議員及び施設長等

(イ) 役員（任期：令和3年6月15日～令和4年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会議の終結のときまで）

理事長	塩澤 幸一	理事	草間 吉夫
理事	仲田 靖夫	理事	遠藤 雅明
理事	西野宮 由紀	理事	江原 勝久
監事	大部 忠則	財務	監事 岡田 豊和 運営

(ロ) 評議員（任期：令和3年6月10日～令和6年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

大橋 正男	大平 敏明
大高 達也	渡邊 操
安藤 みゆき	鈴木 教予
川口 啓予	

(ハ) 評議員選任・解任委員会（任期：令和3年3月18日～令和6年会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

監事代表	岡田 豊和	外部委員	宮田 哲郎
事務局	高島 早苗	外部委員	三國 省治

(ニ) 常任役員

理事長	塩澤 幸一	高萩地区入所代表経営役員
事務長	遠藤 雅明	
代表経営役員	今橋 優子	高萩地区通所支援施設代表経営役員
〃	西野宮 由紀	内原地区施設代表経営役員
〃	江原 勝久	つくば地区施設代表経営役員
理事	草間 吉夫	学識経験者

(ホ) 施設経営役員

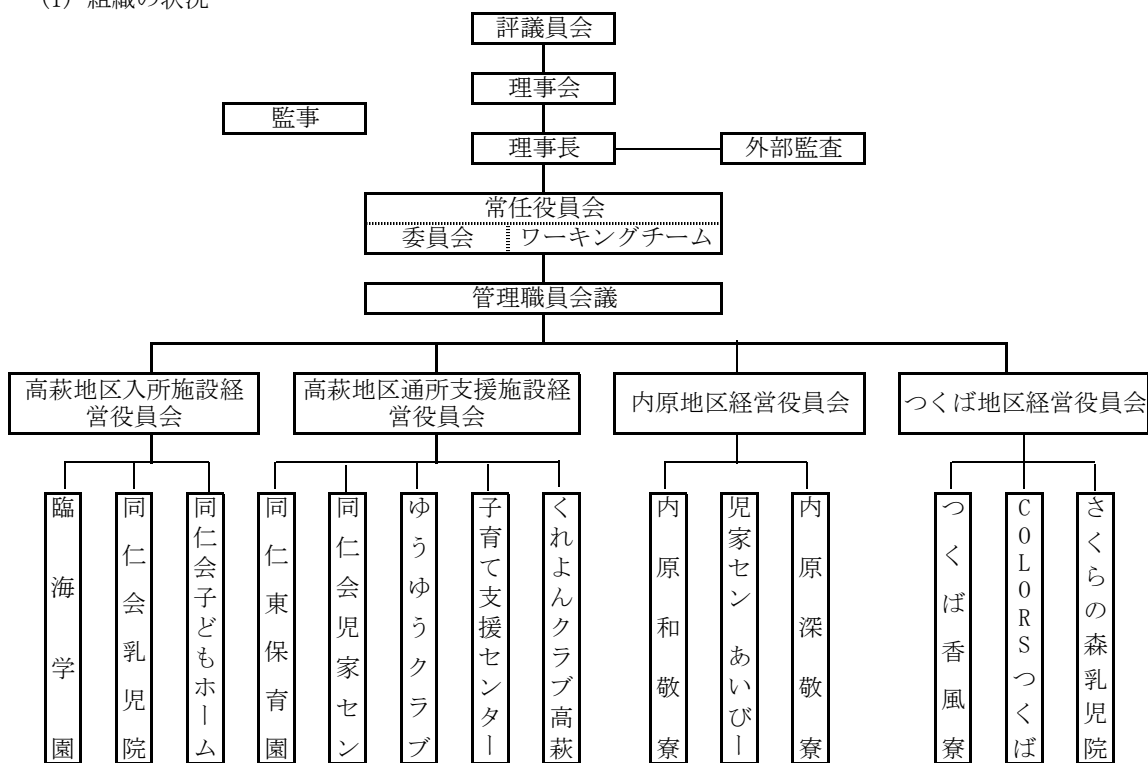
1) 高萩地区入所施設経営役員

参事	塩澤 幸一	副参事	谷 由紀子
副参事	芳賀 英友	参事補	野田 潤一郎

- 2) 高萩地区在宅支援施設経営役員  
副参事 今橋 優子                      副参事 芳賀 英友  
参事 補佐 藤 ゆかり                      主査 伊藤 ミサ子
- 3) 内原地区施設経営役員  
参事 西野宮 由紀                      副参事 渡邊 孝幸
- 4) つくば地区施設経営役員  
参事 江原 勝久                      副参事 小林 亮一

## 5 組織及び職員の配置

### (1) 組織の状況



### (2) 職員の状況

令和4年4月1日現在

施設名	施設長	副施設長	児童指導員	保育士	看護師	児発管 責任者	心 理 療法士	家庭支 援専門	里親支 援専門	相談員 フォスタ	厚生員 支援員	調理員 等	栄養士	事務員	合計
本部事務局	1													1	2
臨海学園	1	1	7	9			1	1	1			2	1	2	26
同仁会乳児院	1		1	21	3		1	1	1			3	1	1	34
同仁東保育園	1	1		15	1							2	1	1	22
ゆうゆう館	(1)										3				3
同仁会児家セン	(1)						4			2					6
同仁会子どもホーム	1(1)		8	9			1	1	1				1	1	23
くれよんクラブ高萩	(1)					1					4				5
内原和敬寮	1(1)		9	10				2	1			1	1	1	26
児家セン あいびー	(1)									9					9
内原深敬寮	1		16	3	1		5	2				3	1	1	33
つくば香風寮	1(1)		16	9			1	2	1	1		1		2	34
COLORSつくば	(1)						2			3					5
さくらの森乳児院	1		1	16	4		1	1	1	1		2	1	1	30
合計	9	2	58	92	9	1	16	10	6	16	7	14	7	11	258

- 注) 1 常勤職員のみ。産休育休中の職員を含む。  
2 短時間職員、医師、嘱託医は除く。  
3 ( )は、兼務職員を示す。

## (3) 職員の職層

令和4年4月1日現在

施設名		参事	副参事	参事補	主査	副主査	企画員	企画 研修員	研修員	合計
本部事務局	男性	1								1
	女性					1				1
	計	1				1				2
臨海学園	男性	1		1			2	1	4	9
	女性						1	3	13	17
	計	1		1			3	4	17	26
同仁会乳児院	男性									
	女性		1		1		4	4	24	34
	計		1		1		4	4	24	34
同仁東保育園	男性							2		2
	女性		1	1		2	2	2	12	20
	計		1	1		2	2	4	12	22
ゆうゆう館	男性								1	1
	女性				1			1		2
	計				1			1	1	3
同仁会児童家庭支援センター	男性							1	1	2
	女性							1	3	4
	計							2	4	6
同仁会子どもホーム	男性		1			1	2	1	2	7
	女性					1	1	2	12	16
	計		1			2	3	3	14	23
くれよんクラブ高萩	男性									0
	女性							1	4	5
	計							1	4	5
内原和敬寮	男性							3	4	7
	女性	1					2	3	13	19
	計	1					2	6	17	26
児家セン あいびー	男性								3	3
	女性						1	1	4	6
	計						1	1	7	9
内原深敬寮	男性		1			1	3	4	5	14
	女性						1	5	13	19
	計		1			1	4	9	18	33
つくば香風寮	男性	1			2			2	3	8
	女性						3	3	20	26
	計	1			2		3	5	23	34
COLORSつくば	男性				1			2		3
	女性							1	1	2
	計				1			3	1	5
さくらの森乳児院	男性		1							1
	女性						4	2	23	29
	計		1				4	2	23	30
合計	男性	3	3	1	3	2	7	16	23	58
	女性	1	2	1	2	4	19	29	142	200
	計	4	5	2	5	6	26	45	165	258

## 6 法人の運営

### 1) 評議員会

＜令和4年度事業計画＞

第66回評議員会《令和4年6月9日予定》

- 第1号議案 令和4年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和4年度決算報告(案)について
- 第3号議案 定款の変更について

第67回評議員会《令和4年11月24日予定》

- 第1号議案 令和4年度第1回補正予算(案)について

第68回評議員会《令和5年3月23日予定》

- 第1号議案 令和4年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和5年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和5年度当初予算(案)について

### 2) 評議員選任・解任委員会

＜令和4年度事業計画＞

(開催予定なし)

### 3) 理事会

＜令和4年度事業計画＞

第253回理事会《令和4年5月24日予定》

- 第1号報告 令和3年度第三者評価事業受審結果及び自己評価の結果について
- 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和3年度決算報告(案)について
- 第3号議案 諸規則の一部改正について
- 第4号議案 定款の変更について
- 第5号議案 評議員会の開催について

第254回理事会《令和4年11月15日予定》

- 第1号議案 令和4年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 評議員会の開催について

第255回理事会《令和4年3月14日予定》

- 第1号議案 令和4年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和4年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和5年度当初予算(案)について
- 第4号議案 評議員会の開催について

＜令和3年度事業報告＞

第63回評議員会《令和3年6月10日》

- 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和3年度決算報告(案)について
- 第3号議案 理事・監事の改選について

第64回評議員会《令和3年11月25日》

- 第1号議案 令和3年度第1回補正予算(案)について

第65回評議員会《令和4年3月24日》

※感染拡大防止のため書面決議

- 第1号議案 令和3年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和4年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和4年度当初予算(案)について

＜令和3年度事業報告＞

《令和3年6月10日開催》

- 第1号議案 評議員の改選について

＜令和3年度事業計画＞

第247回理事会《令和3年5月25日》

- 第1号報告 令和2年度第三者評価事業受審結果及び自己評価の結果について
- 第2号報告 理事長職務執行状況及び日常業務専決事項について
- 第1号議案 令和2年度事業報告(案)について
- 第2号議案 令和2年度決算報告(案)について
- 第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 第4号議案 評議員候補者の推薦について
- 第5号議案 理事・監事候補者の推薦について
- 第6号議案 評議員会の開催について
- 第7号議案 評議員選任解任委員会の開催について

第248回理事会《令和3年6月10日》

- 第1号議案 理事長の選任について
- 第2号議案 認定こども園への移行について
- 第3号議案 同仁会子どもセンター大規模修繕工事に係る請負業者の選定方針について

第249回理事会《令和3年8月10日》

- 第1号議案 同仁会子どもセンター大規模修繕工事に係る工事請負契約の締結について

第250回理事会《令和3年11月16日》

- 第1号議案 令和3年度第1回補正予算(案)について
- 第2号議案 評議員会の開催について
- 第3号議案 同仁会子どもホームユニット棟の増築について
- 第4号議案 評議員会の開催について

第251回理事会《令和3年12月14日》

- 第1号議案 同仁会子どもホームユニット棟増築工

事に係る工事請負契約の締結について

第252回理事会《令和4年3月15日》

- 第1号報告 社会福祉法人・施設一般検査の結果及び改善処理状況について
- 第1号議案 令和3年度最終補正予算(案)について
- 第2号議案 令和4年度経営・運営計画(案)について
- 第3号議案 令和4年度当初予算(案)について
- 第4号議案 諸規則等の一部改正について
- 第5号議案 運転資金の借入について
- 第6号議案 幹部職員の人事について
- 第7号議案 評議員会の開催について

4) 監事会

＜令和4年度事業計画＞  
《令和4年5月開催予定》

＜令和3年度事業報告＞  
《令和3年5月17日開催》

5) サービス向上委員会(苦情解決委員会)

(地区ごとに設置：苦情解決責任者・苦情受付担当・第三者委員2名)  
法人の職員・児童及びその父兄、利用者等からの意見提案を広く集め、対応にあたる。

- (1) 高萩地区  
受付件数0件
- (2) 内原地区  
受付件数1件  
内 容  
(内原深敬寮) センター入り口付近の喫煙について。  
対 応  
周辺も含めて禁煙としました。
- (3) つくば地区  
受付件数0件

6) 法人運営・連絡会議等

- (1) 定期開催会議等
  - イ) 常任役員会 年1回(理事長、理事)
  - ロ) 施設経営役員会 原則毎月(施設を4グループに分けて設置)
  - ハ) 管理職員会議 年6回 奇数月開催
  - ニ) 家庭支援会議 原則隔月(家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、児童家庭支援センター相談員等)
  - ホ) リスクマネージャー会議 法人会議年6回(隔月)
  - ヘ) 栄養士会議 年2回
  - ト) 心理職会議 年4回
- (2) 随時開催会議等
  - イ) 処遇システム管理者会議
  - ロ) 事務職員会議
  - その他

7) 法人委員会の事業

＜令和4年度事業計画＞  
研修委員会(委員8名)  
委員会 …… 4回予定  
講演会 …… 3回予定  
研究発表会 …… 1回予定  
※内容は未定

＜令和3年度事業報告＞  
研修委員会(委員8名)  
委員会 …… 4回  
講演会 …… 3回  
研究発表会 …… 1回

○講演会

- 第1回 令和3年7月～9月  
テーマ 「理事長講話」  
講 師 同仁会理事長 塩澤幸一  
会 場 各施設(動画視聴)
- 第2回 令和3年9月14日

情報公開委員会（委員9名）  
委員会 … 7回予定  
広報誌発行 … 2回  
第53号 令和4年8月 発行予定  
第54号 令和5年1月 発行予定

8) 法人職員研修

<令和4年度事業計画>

イ) 新規採用職員研修 : 参加職員予定33名

第1回 期日 令和4年4月1日～2日

会場 オンライン研修

内容

「同仁会の理念について」 塩澤理事長  
「組織、就業規則、給与規則について」 遠藤事務長  
「福祉職員の生活と職場のマナーについて」 西野宮施設長  
「特別講演」 草間理事  
「児童に対する支援について」 佐々木主任  
「児童の権利擁護について」 飯村主任  
「先輩からのアドバイス」 菅谷指導員・加藤相談員

第2回 期日 令和4年10月7日予定

会場 つくば同仁会子どもセンター

内容

「講話」 江原施設長  
「リスクマネジメントについて」 西野主任  
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名  
「3分間スピーチ」 参加職員発表  
施設見学

第3回 期日 令和5年2月3日予定

会場 内原同仁会子どもセンター

内容

「自己管理とメンタルヘルス」 加藤相談員  
「子どもの病気と対応について」 鈴木看護師  
「先輩からのアドバイス」 先輩職員2名  
「3分間スピーチ」 参加職員発表  
施設見学

ロ) 3年次職員研修 : 参加予定職員25名

期日 令和4年5月20日

会場 同仁東保育園

「講話」 今橋施設長  
「リスクマネジメントについて」 加藤主任

テーマ 「発達障がいの児童の理解と支援について」

講師 常磐大学教授  
臨床心理学・障害児心理学専門  
水口進氏

会場 各施設 (WEB配信・視聴)

第3回 令和3年11月29日

テーマ 「児童の緊急医療について」

講師 茨城県医療政策課 目黒絢介氏

会場 各施設 (WEB配信)

○研究発表会

期日 令和4年2月16日

テーマ 「『感情』と友だちになろう  
～全ての気持ちを大切に～」  
ゆうゆうクラブ

会場 各施設 (動画視聴)

情報公開委員会（委員9名）

委員会 …… 8回

広報誌発行 … 2回

第51号 令和3年8月 発行部数 1,500部

第52号 令和4年1月 発行部数 1,500部

<令和3年度事業報告>

イ) 新規採用職員研修 : 参加職員予定30名

第1回 期日 令和3年4月1日～2日

会場 同仁会子どもセンター多目的ホール

内容

「同仁会の理念について」  
「組織、就業規則、給与規則について」  
「先輩からのアドバイス」  
「福祉職員の生活と職場のマナーについて」  
「児童に対する支援について」  
「児童の権利擁護について」  
「求められること」

第2回 期日 令和3年10月8日

会場 つくば同仁会子どもセンター (オンライン)

内容

「講話」  
「リスクマネジメントについて」  
「先輩からのアドバイス」  
「3分間スピーチ」

第3回 期日 令和4年2月4日

会場 内原同仁会子どもセンター (オンライン)

内容

「自己管理とメンタルヘルス」  
「子どもの病気と対応について」  
「先輩からのアドバイス」  
「3分間スピーチ」

ロ) 3年次職員研修 : 参加予定職員28名

期日 令和3年6月4日

会場 同仁会子どもセンター (高萩地区職員)

つくば同仁会子どもセンター

(水戸・つくば地区職員)

「先輩からのアドバイス」  
「3分間スピーチ」

先輩職員2名  
参加職員発表

内 容  
「講話」

「リスクマネジメントについて」

「3分間スピーチ」

ハ) 新任副グループ長及び新任企画研修員研修

期 日 令和4年6月17日  
会 場 つくば同仁会子どもセンター  
「副グループ長・企画研修員に求めること」

ハ) 5年次職員研修：参加職員12名

期 日 令和3年7月9日  
会 場 同仁会子どもセンター（オンライン）  
内 容

「予算管理について」  
「同仁会が目指す未来について」  
「主任からのアドバイス」  
「3分間スピーチ」

小林施設長  
西澤事務員  
塩澤理事長  
佐々木主任  
参加職員発表

「講話」  
「後輩への教え方・育て方」  
「チームワークについて」  
「3分間スピーチ」

二) 副グループ長及び企画研修員研修  
：参加職員19名

ニ) 5年次職員研修：参加職員14名

期 日 令和4年7月9日  
会 場 同仁会子どもセンター（オンライン）  
内 容

期 日 令和3年5月21日  
会 場 内原同仁会子どもセンター（オンライン）  
内 容

「講話」  
「後輩への教え方・育て方」  
「チームワークについて」  
「3分間スピーチ」

芳賀施設長  
野田副施設長  
佐藤主任  
参加職員発表

「副グループ長・企画研修員に求めること」

「予算管理について」  
「同仁会が目指すものについて」  
「3分間スピーチ」

ホ) 主任並びに主査及び副主査研修  
：参加職員14名

期 日 令和4年12月17日  
会 場 同仁会子どもセンター（オンライン）  
内 容  
「法人の未来と求めるリーダー像について」

ホ) グループ長及び企画員研修  
：参加職員12名

期 日 令和3年9月17日  
会 場 同仁会子どもセンター（オンライン）  
内 容  
「同仁会が目指すものについて」  
「人事考課における一次考課者の留意点について」

塩澤理事長  
谷施設長  
遠藤事務員

「講話」  
「労務管理について」

ヘ) 主任並びに主査及び副主査研修  
：参加職員14名

期 日 令和3年12月17日  
会 場 同仁会子どもセンター（オンライン）  
内 容  
「法人の未来と求めるリーダー像について」

「講話」  
「労務管理について」

9) 県主管課等実地検査の状況  
＜令和4年度事業計画＞

茨城県一般検査  
令和4年10月予定  
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室

＜令和3年度事業報告＞

茨城県一般検査  
茨城県保健福祉部 福祉指導課 福祉監査室  
令和3年11月2日, 11月4日, 令和4年1月7日  
(1) 実地検査  
臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム  
同仁会児童家庭支援センター・内原和敬寮・内  
原深敬寮・つくば香風寮・さくらの森乳児院  
(2) 書面検査  
同仁東保育園  
・是正又は改善を要する事項  
＜内原和敬寮・内原深敬寮＞  
・入所者の預り金を保管している金庫の鍵について、職員が  
自由に鍵を持ち出して金庫を解錠できる状態になっている  
ので貴法人が定める児童からの預り金管理規程第3条に基

づき、鍵を自由に持ち出せないように管理を徹底すること。

10) 職員の採用及び退職の状況  
 <令和4年度事業計画>

○採用面接選考会  
 令和4年10月予定

<令和3年度事業報告>

○採用選考会  
 面接選考会

令和3年9月29日・10月9日(第1次募集)  
 応募者数 28名 採用内定者数 20名  
 (うち内定辞退 1名)

令和3年11月6日(第2次募集)  
 応募者数 3名 採用内定者数 3名

○採用の状況(正規職員)

・令和3年 4月19日付 1名	・令和3年 5月13日付 1名
・令和3年 6月 1日付 1名	・令和3年 7月 1日付 1名
・令和3年10月 1日付 2名	・令和3年11月 1日付 2名
・令和4年 1月 1日付 1名	・令和4年 1月16日付 1名
・令和4年 2月 1日付 1名	・令和4年 4月 1日付 27名

○退職の状況(正規職員)

・令和3年 4月30日付 1名	・令和3年 5月31日付 2名
・令和3年 6月30日付 4名	・令和3年 7月31日付 1名
・令和3年 8月 5日付 1名	・令和3年 8月18日付 1名
・令和3年 9月30日付 1名	・令和3年10月 8日付 1名
・令和3年12月20日付 1名	・令和4年 3月31日付11名

11) 令和3年度職員福利厚生状況

1. 退職共済制度への加入(独立行政法人福祉医療機構及び茨城県民間施設退職共済会)

令和3年度実績

加入者数	271名	
加入掛金	独立行政法人福祉医療機構	12,059,500円
	茨城県民間施設退職共済会	8,868,400円

2. 茨城県社会福祉施設職員互助会加入

加入者数	271名
加入掛金	1,903,200円(同額を職員も負担)

3. 職員親睦会厚生委託事業

1. 高 萩

1. 会員数/会費 129名/1,516,000円(月額1,000円)

2. 決算

収入	3,577,510円	支出	3,334,176円
会費収入	1,516,000円	会費還元記念品	146,714円
補助金収入	1,680,899円	サークル活動事業	297,000円
雑収入	328円	グループ別事業	1,136,250円
繰越金収入	380,283円	慶弔費	220,212円
		事務費	20,000円
		退会金積立	129,000円
		卒園者等支援事業費積立	1,385,000円

次年度繰越金 243,334円

3. 事業

- ・親睦会総会 2021年11月29日 参加116名(書面表決による)
- ・福利厚生事業  
 (春の懇親会、役職員懇親会) 実施なし 代替事業として「新年度抱負書き初め大会」を実施
- ・研修・サークル活動事業  
 親睦会研修 実施なし  
 サークル活動  
 お取り寄せクラブ 会員29名 年3回開催 参加延 87名  
 チョコバナナサークル 会員4名 年3回開催 参加延 12名  
 音楽サークル 会員3名 年3回開催 参加延 9名



珈琲サークル	会員26名	年3回開催	参加延	78名
グルメサークル	会員20名	年3回開催	参加延	35名
手芸サークル	会員10名	年3回開催	参加延	29名

・慶弔（結婚2名 出産5名 退会8名 家族弔意7名 傷病見舞0名）

・役員会 年12回開催

・卒園者等支援事業 0名

#### 4. 令和4年度事業計画

・令和4年度親睦会総会 令和4年6月（書面表決）

※コロナウィルスの影響を考慮し年度前半の福利厚生事業は見送り

※年度内の親睦会主催の研修実施を見送り

・役員懇親会 1月（コロナウィルスの状況を考慮して検討）

・サークル活動事業

・グループ別事業

・職員の慶弔

・卒園者等支援事業

・役員会 毎月開催

### 1. 内 原

1. 会員数／会費 77名／803,000円（月額1,000円）

#### 2. 決算

収入	2,190,900円	支出	1,443,778円
会費収入	803,000円	新年懇親会（代替品配布）	320,000円
補助金収入	663,000円	年度末懇親会（代替品配布）	330,000円
雑収入	13円	研修に関する事業	39,000円
繰越金収入	724,887円	忘年会（代替品配布）	198,000円
		その他（慶弔費・退会積立金等）	556,778円
次年度繰越金	747,122円		

### 3. 事業

・2021年度親睦会総会 令和3年5月26日

・サークル活動

「子育て中の食育を考える会」 会員6名 年6回開催 参加者 17名

「食を通じて地域とつながる会」 会員8名 年6回開催 参加者 24名

・忘年会 令和3年12月25日 感染予防のため代替品を支給 66名

・新年懇親会 令和4年2月9日 感染予防のため代替品を支給 66名

・年度末反省会 令和4年3月16日 感染予防のため代替品を支給 66名

・役員会 1回

・慶弔（結婚2名 出産6名 香典6名 退会餞別金6名）

#### 4. 令和4年度事業計画

・令和4年親睦会総会（日時未定）

・新年懇親会（日時未定）

・春期懇親会・職員歓迎会（日時未定）

・年度末反省会（日時未定）

・スポーツレクリエーション（日時未定）

・映画鑑賞会（日時未定）

・忘年会

・役員会（年6回）

### 2. つくば

1. 会員数／会費 65名／767,000円（月額1,000円）

#### 2. 決算

収入	2,529,573円	支出	1,490,535円
会費収入	767,000円	年度初めの懇親会（歓迎会）	133,434円
補助金収入	660,000円	暑気払い	332,640円
雑収入	9円	新年懇親会	488,445円
繰越金収入	1,102,564円	忘年会	128,000円
		年度末懇親会（送別会）	236,512円
		その他（慶弔費）	87,104円
		研修に関する事業（映画、スポーツ）	19,400円
		退会金積立	65,000円
次年度繰越金	10,390,038円		

### 3. 事業

・親睦会総会 令和3年5月27日 各施設代表者のみ参加にて実施

・年度初めの懇親会（歓迎会）	令和3年6月14日	感染予防のため代替品を支給	66名
・暑気払い	令和3年8月15日	感染予防のため代替品を支給	63名
・忘年会	令和3年12月23日	感染予防のため代替品を支給	64名
・新年会懇親会	令和4年1月28日	感染予防のため代替品を支給	64名
・年度末懇親会（送別会）	令和4年3月23日	各施設にて記念品贈呈のみ実施	65名
・研修事業			
映画鑑賞会	令和3年11月12日	参加者16名	つくばイオン映画館にて各自鑑賞
スポーツ大会			感染予防のため未実施
・役員会	年6回開催（4/12、6/14、8/9、10/11、12/13、2/14）		
・慶弔（結婚1名 出産3名 香典7名 傷病見舞1名 退会餞別金8名）			

#### 4. 令和4年度事業計画

・令和4年度親睦会総会	令和4年4月28日	つくば同仁会子どもセンター
・年度初めの懇親会（歓迎会）		各施設で実施（食事なし）
		新採職員への記念品贈呈
・新年懇親会	日時未定	
・暑気払い	日時未定	
・忘年会	日時未定	
・年度末懇親会	日時未定	
・ボーリング大会	日時未定	
・研修事業 年2回実施予定	日時未定	
・役員会（年6回）		

#### 4. 職員表彰

- ・全国社会福祉協議会  
佐藤ゆかり
- ・茨城県知事  
西野宮由紀 佐々木郁代
- ・茨城県社会福祉協議会  
根本 陽 高根澤 武 伊藤ミサ子 中嶋 健治 鈴木 麻絵 間宮 智子 長堀 京子
- ・高萩市社会福祉協議会  
大串千恵子 鈴木みとの 小野瀬凧子 星野 晃平 田村 明美
- ・全国乳児福祉協議会  
横田理恵子 星 るみ子
- ・法人内表彰(R4. 4. 1)  
勤続25年…1名 20年…3名 15年…5名 10年…11名 5年…15名

#### 13) 令和3年度寄付受託の状況

##### 現金

##### ・法人本部

大橋 正男 様	30,000 円	大谷 節子 様	10,000 円
今川 恭子 様	30,000 円	霊友会 様	500,000 円
今川 博之 様	20,000 円	ブーケライオンズクラブ 様	100,000 円
(非公表) 様	60,000 円		

##### ・臨海学園

(非公表) 様	70,000 円	(株)アンテックス 様	100,000 円
匿名希望 様	3,000 円	高萩市歳末助け合い募金 様	115,000 円

##### ・同仁会乳児院

(非公表) 様	200,000 円	高萩市歳末助け合い募金 様	80,000 円
---------	-----------	---------------	----------

##### ・同仁東保育園

2021 年度卒園児保護者 様	41,833 円		
遠藤 雅明 様	10,000 円		

##### ・内原和敬寮

諸岡信裕 様	20,000 円	茨城県信用組合従業員組合 様	60,000 円
匿名 様	3,000 円	一般社団法人日本児童養護施設財団 様	50,000 円

・同仁会子どもホーム

高萩市社会福祉協議会 様	100,000 円
SBI子ども財団 様	122,450 円
秋山幼稚園 様 (ホームパーティ御祝)	5,000 円
小野瀬 誠 様	10,000 円
匿名 様	3,000 円

(株)アンテックス 様	100,000 円
一般社団法人日本児童養護施設財団 様	50,000 円
荘司 恒夫 様	100,000 円
匿名 様	70,000 円

・つくば香風寮

長松寺 中村 純裕 様	52,167 円
バンタ 桜 様	50,000 円
ヴァンドーン シリル 様	221,582 円
西野 玲子 様	5,000 円
匿名 様	2,500 円
匿名 様	300,000 円
匿名 様	50,000 円

沼尻産業(株) 様	500,000 円
あしながサンタ 様	60,000 円
茨城県信用組合従業員組合	60,000 円
匿名 様	50,000 円
匿名 様	10,000 円
匿名 様	50,000 円
安藤 博 様	5,000 円

・さくらの森乳児院

酒井 洋 様	60,000 円
長松寺 中村 純裕 様	52,166 円
ヴァンドーン シリル 様	221,582 円
匿名 様	2,500 円
匿名 様	50,000 円
匿名 様	50,000 円

木村 泰徳 様	50,000 円
西野 玲子 様	5,000 円
安藤 博 様	5,000 円
匿名 様	100,000 円
匿名 様	50,000 円

・内原深敬寮

クリーンライフみのりの箱募金 様	50,000 円
------------------	----------

物 品

・臨海学園

(株)カミノテック 様	花火
ファーストリテイリング 様	衣類
太平産業 様	飲料
川口 様	菓子
セブンイレブン 様	日用品・食料品
Hotto Motto 様	DVD
流通経済大学 様	菓子
毎日新聞東京社会事業団 様	DVD・玩具・ボール
高萩市社会福祉協議会 様	米・缶詰
東海村社会福祉協議会 様	衣類
(株)ダイナム 様	食品・日用品
第一生命保険(株)日立中央営業オフィス 様	雑貨・絵本
小川 様	書籍
大谷 様	菓子
中澤 様	書籍
大串 様	雑貨
心Reborn協会 koyamado 様	書籍
ひまわり 様	食品・日用品
イガラシ綜業 様	クリスマスケーキ
奥原 様	菓子
木村 様	米
ドミノピザ 様	ピザ
高沢 様	パン
カープスフードドライブ 様	食品・日用品
菊池青果店 様	青果

柴田 様	野菜
堤 様	食品・雑貨・衣類・菓子
としのぶさん家の粉 様	たこ焼き粉
作間 様	食品
小室 様	青果
リスカ株式会社 様	菓子
鈴木 様	青果・米
鹿野 様	ドリンク
松本 様	菓子・ドリンク
毎味水産株式会社 様	食品
石 様	食品
ゆうかケアプラン田仲 様	米
鈴木藤雄商店 様	ワイン
高橋 様	米・青果
関根 様	食品
(株)エーベン農耕事業部 様	米
全国シャンメリー協同組合 様	シャンメリー
るんぴにー 様	菓子
ヤマサエコネットワーク 様	菓子
内藤 様	食品
大森 様	菓子
フィリップモリスジャパン 様	クリスマスケーキ
餃子の雪松 様	餃子
日本鏡餅協会 様	鏡餅
畠山 様	ケーキ
仲西 様	菓子

・同仁会乳児院

片山由美子 様	お菓子	山田博元 様	クリスマスプレゼント
高萩市 様	ハンドソープ	高野重美 様	お菓子
杉村伸一 様	お茶、メロン	門司一徹 様	カード
日本ベビーフード協議会 様	ベビーフード	株式会社明治 様	液体ミルク
母子保健推進会議様、P&G 様	オムツ	大串玲菜 様	洋服
いばらきコープ 様	粉ミルク	ドミノピザ 鮎川支店 様	ピザ
鈴木 栄子様	オムツ、菓子	作間 様	野菜
柴田礼子 様	野菜	茨城コープ 様	粉ミルク
NPO法人グルーヴン 佐藤 様	イチゴ	(株) ジェイ・ストーム様	七五三祝い
コストコ 様	食品	大谷節子 様	お菓子
		菊地久美子 様	洋服
・同仁東保育園			
菊池青果店 様	メロン	鈴木 様	菓子
ひかりのくに 様	菓子	渡邊愛夏 様	折紙
ITレボリューション 様	コーヒー	柴田 様	菓子
鈴木商店 様	ワイン	渡辺(中郷保育園) 様	飲み物
柴田(Nico Hair) 様	手洗い用石鹸液	横関油脂工業(株) 様	椅子50脚
筑波銀行高萩支店 様	お茶	チャイルド 様	玩具
小林 様	菓子、お茶	全家研ポピー水戸中央支部 様	シャボン玉
今橋 様	消毒液		
大森 様	消毒液		
小野瀬 様	菓子		
・ゆうゆうクラブ			
橋本様	昆虫	安齋様	児童書
白土 様	菓子	佐川様	飲み物
舟生様	野菜	海老沢様	雑誌・文具
比佐野 様	ハンドソープ	安島様	菓子
小笠原様	ビニール袋	安齋様	菓子
鈴木清司様	野菜		
・同仁会地域子育て支援センター			
及川 様	菓子	沼田 様	玩具
長谷部 様	本	佐藤 様	絵本
田中 様	雑誌	皆川 様	菓子
・同仁会児童家庭支援センター			
(公財)資生堂社会福祉事業財団 様	チョコレート		
・同仁会子どもホーム			
谷由紀子 様	食品等	(公財)資生堂社会福祉事業財団 様	化粧品
山形美和 様	食品	(株)サンゲツ 様	カーテン
二階堂芳江様	食品	NPO法人ブリッジフォースマイル 様	洗顔フォーム
澤木博子 様	衣類	リスカ(株) 様	菓子
石川恭規 様	チョコレート	全国シャンメリー協同組合 様	シャンメリー
阿部正勝 様	卵	ドミノピザ鮎川店 様	ピザ
助川香織様・阿部卓様・久保田朋生様	玩具・雑貨	ゆうちょ銀行 様	カレンダー
荘司恒夫 様	食品	JA茨城常陸高萩地区女性部高萩支部 様	もち米
坂本泰雄 様	食品	日本鏡餅組合 様	鏡餅
杉本哲也 様	衣類	サンコー(株)ほっともっと茨城 様	DVD
島 秀史 様	食品	(株)チュチュアンナ 様	靴下
草間吉夫 様	食品	毎日新聞東京社会事業団 様	玩具
内藤彰信 様	食品	茨城県退職公務員連盟高萩支部 様	タオル
神永好夫 様	食品	JAIFA茨城県協会 様	時計
鈴木一行 様	食品	(株)フレーベル館出版本部 様	書籍
勝見今日子 様	食品	(公財)日本漢字能力検定協会 様	書籍
八木政一 様	食品	(株)フレーベル館出版本部 様	書籍
芳賀酉次 様	衣類	ナッシュ(株) 様	食品

八木政一 様	食品
小野崎廣喜 様	食品
一澤ユアナス 様	米
渡辺一夫 様	本
大槻政彦 様	食品
大谷節子 様	食品
青木美香保 様	生理用品
外山文子 様	食品
北村和子 様	食品
大武慎一 様	イラスト 色鉛筆
仲西ミチコ 様	食品
奈良 尚 様	学習用品
匿名 様	食品
ふじ農園 様	食品
いわき建材工業(株)小松肇 様	食品
いばらきコープ生活協同組合 様	ハンドソープ、布団
東海DOS 様	食品
心Reborn協会 様	絵本

(有)カミノテック 土田 様	花火
フクダヤ 様	食品
ダスカジャパン クアウテモック 様	チョコレート
イツップジャパン(株) 様	ハンドクリーム等
日本教文社 様	カレンダー、本
NPO法人子ども食堂れん 様	食品
NPO法人生活支援機構 様	書籍
JALスカイ有志一同 様	玩具、衣類等
日本出版販売(株)日本児童図書出版協会 様	書籍
スマートホーム(株)日立店 様	玩具
(一社)ぐるーん 様	イチゴ
ケータリングカー協会 須藤智一 様	食品
信州出版社文屋 様	絵本
セーフザチルドレン 様	絵本
雪松 様	食品
(株)ITXジャパン 様	衣類
NPO法人里山文化ネットワーク 様	食品等
カピリナ 様	絵本

・内原和敬寮

水戸ホーリーホック様	試合観戦・交流
茨城乳配(株) 様	玩具
ゆうちょ銀行 様	カレンダー
バイクサンタ 様	玩具、雑貨等
フードバンク 様	食品
日本教文社 様	書籍
フィリップモリス 様	食品
(株)日本パブリックリレーションズ研究所様	書籍
㈱チュチュアンナ 様	靴下
としのぶさんちの粉様	食品
日本鏡餅組合 様	鏡餅
水戸西ライオンズクラブ様	キッチンカー
鹿野光春 様	食品
大槻義光 様	食品
朴明俊・朝子 様	食品
林 和男 様	玩具
㈱リスカ 様	食品
いなば食品 様	食品
新妻耕太 様	食品
(株)フレーベル館様	書籍
リプレット基金事業団様	マスク
文屋 様	書籍
日本海老協会様	食品
毎味水産株式会社様	食品

水戸東ロータリークラブ様	自転車
コストコひたちなか店 様	おもちゃ、菓子等
ほっともっと 様	DVD
パブリックブレイン様	書籍
株式会社ドロップ 様	食品
J A I F A 様	時計
公益社団法人JE0様	食品
ダスカジャパン クアウモテック 様	食品
学校法人実践学園様	食品
茨城県スポーツ用品協同組合様	ボール
茨城ロボッツ様	試合観戦
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 様	玩具・スポーツ用品
餃子の雪松 様	食品
常陽銀行コンサルティング営業部 様	
フィナンシャルグループ様	日用品
トータルステップ 様	日用品
内原電機(株) 様	食品

・内原深敬寮

株式会社商 様	お米
佐久間 様	メロン
(株)リスカ 様	菓子
内原電機(株) 様	果物
富田 様	果物
瀬谷 様	天然水
ダスキンの小久保 様	伸し餅

藤崎 様	じゃがいも
桧崎 様	梨
根本 様	ジュース
茂木 様	さつまいも
ダスキンの小久保 様	麩菓子
木村 様	食品
フードバンク水戸 様	食品

・つくば同仁会子どもセンター(つくば香風寮、さくらの森乳児院)

有限会社ダスカジャパン クアウテモック 様	チョコレート
つくば市社会福祉協議会 様	お米

茨城県退職者公務員連盟つくば支部 様	タオル 他
つくば市現職校長会・教頭会 様	タオル 他
国際ソロプチミストつくば 様	タオル 他

東海DOS 関 様	お菓子
流通経済大学 学長 野尻 様	お菓子
つくば市 中根 様	りんご・みかん
大成不動産(株) 沼尻 様	りんご・みかん
新和アメニティ(株) 新村 様	りんご・みかん
(株)相澤建築設計事務所 相澤 様	りんご・みかん
(有)大樹設計事務所 岸田様	りんご・みかん
沼尻産業(株) 中崎 様	りんご・みかん

クラフトワーク 細野 様	お米
みずほ村市場 長谷川 様	野菜
鹿野 光春 様	カルピスセット
関口 光治 様	お米
勝俣 栄子 様	お米
池野 様	お米
青少年を育てるつくば市民の会荃崎支部 様	さつまいも
飯野 様 鮎川 様 坂入 様 中根 様	じゃがいも

・つくば香風寮

リスカ株式会社代表取締役社長 武藤 様	お菓子
阿見町教育委員会 様	ランドセル
株式会社 フレーベル館 様	書籍
人身取引障害者サポートセンターハウス 様	DVD
全国シャンメリー協同組合 様	シャンメリー
別所 英男 様	書籍
中澤 浩美 様	書籍
日本生協連盟 様	ハンドソープ
和田 裕嘉里 様	洋服・玩具
佐々木 友美 様	ラベルライターネームランド
ヴァンシィケル トム 様	アイス
Dsmos 久島 様・大須賀 様	クッキー
コストコホールセールジャパンつくば倉庫店 様	食品
中公 一 様	お米
鈴木三枝子 様	毛布・タオル 他
浦口 栞 様	学習机
千野田 雅美 様	洋服 他
清水 颯 様	マスク・ランドセル
横田 文雄 様	どら焼き
中根 祐一 様	カルピスセット

ほっともっと 様	DVD
日本鏡餅組合 理事長 樋口 元剛 様	鏡餅
ふれあいネットワーク 様	洋服 他
茨城乳業(株) 木村 亮一 様	ゼリー
毎日新聞東京社会事業団 様	文具・ボール・文房具
(株)山崎煙火製造所 山崎 様	花火
三和商事(株) 松村 様	カレー粉
内海産業株式会社 東京第二支店 様	食品
レーベン研究学園NEXIO 1002 笹川 様	折りたたみキャリーカート
株式会社ファーストリテイリング 様	洋服
Franc Belle Amour 緑川 様	七五三撮影
佐藤 慶子 様	文房具
大矢 直子 様	衣類 他
中根様・山田様・山本様・大和田様・岩瀬様・市村様	
桑原 えり子 様	洋服
杉山 恵子 様	お米
CYRILLE VANDORNE 様	玩具
田辺 様	お米
流通経済大学 様	図書カード

・さくらの森乳児院

(株)カーブスジャパン フードドライブ 様	食品
日本ベビーフード協議会 事務局長 浅見 様	
	ベビーフード
いばらきコープ生活協同組合 様	紙おむつ
株式会社明治 様	液体ミルク
マラカラ ルデース様	洋服
株式会社 美管理 Kie 様	玩具
横浜幸銀信用組合 様	絵本
鶴見 徹 様	ギフトカード
マエハラ 様	ベビーベット・洋服

若菜 芳江 様	手袋 他
小林 敏彦 様	シャワーヘッド
菅野 明奈 様	洋服
佐藤 つぐみ 様	パックご飯
山田 海莉 様	洋服・玩具
中村 ノブ子 様	洋服・布おむつ
佐々木 友美 様	ハンドソープ・マスク
中村 颯人・陽子 様	洋服
片岡 様	洋服
綿引 様	洋服
瀬織 様	オムツ

14) 令和3年度ボランティア活動受入の状況

・同仁東保育園

- ・読み聞かせ …………… レインボーお話の会 様 田中 宏 様
- ・エプロンシアター … 豊田 様 北畠 様

・ゆうゆうクラブ

- 一般 1名様 (木曜日)
- 読み聞かせ
- お話の会様 5名様

・同仁会地域子育て支援センター

- ・子育て支援事業サポーター 主婦 3名様
- ・エプロンシアター 1名様

・同仁会子どもホーム

- ・散髪 ヘアサロンしまな 様

- ・いちご狩り (一社) ぐるーん 様
- ・餅つき そば打ち 北方そばの会様 女性部 様
- ・ジャム作り ホタル観賞会 NPO法人里山文化ネットワーク 様
- ・生活支援 菅野 恵生 様 鈴木 未来弥 様
- ・内原和敬寮
  - ・交流… 水戸ホーリーホック選手の皆さん他
- ・つくば香風寮
  - ・たけのこ掘り 中根様 他
  - ・散髪 秋田 美佐江 様
- ・さくらの森乳児院
  - ・園芸ボランティア 1名
- ・くれよんクラブ
  - ・ボランティア 学生1名

## 15) 令和3年度保育実習等受入の状況

- ・臨海学園
  - 保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等
    - 常磐短期大学 3名(10日間)
    - つくば国際短期大学 4名(10日間)
    - リリーこども&スポーツ専門学校 2名(12日間)
- ・同仁会乳児院
  - 保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等
    - 茨城女子短期大学 2名(10日間) つくば国際短期大学 4名(10日間)
    - 帝京大学 1名(12日間) リリーこども&スポーツ専門学 1名(12日間)
- ・同仁東保育園
  - 保育(通所施設)・社会福祉援助技術現場実習等
    - 北茨城特別支援学校 1名(9日間) 常磐短期大学 2名(10日間)
    - 茨城女子短期大学 2名(10日間)
- ・同仁会子どもホーム
  - 保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等
    - 茨城キリスト教大学 1名(14日間) 常磐短期大学 4名(10日間)
    - 茨城女子短期大学 2名(10日間)
- ・内原和敬寮
  - 保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等
    - リリーこども&スポーツ専門学校 2名(12日間) 常磐短期大学 4名(10日間)
    - 茨城女子短期大学 4名(10日間) 筑波研究学園専門学校 4名(10日間)
    - 茨城キリスト教大学 3名(12日間)
    - 介護等体験 なし
- ・内原深敬寮
  - 保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等
    - 常磐短期大学 2名(10日間) 臨床心理実習
    - リリーこども&スポーツ専門学校 2名(12日間) 茨城大学大学院 4名(5日間)
    - 常磐大学大学院 5名(5日間)
    - 茨城キリスト教大学大学院 2名(1日間)
    - 茨城キリスト教大学 5名(1日間)
- ・つくば香風寮
  - 保育(入所施設)・社会福祉援助技術現場実習等
    - 筑波研究学園専門学校 8名(10日間) リリーこども&スポーツ専門学校 5名(12日間)
    - つくば国際短期大学 4名(10日間) 茨城キリスト教大学 2名(12日間)
    - 茨城女子短期大学 2名(10日間) 流通経済大学 1名(14日間)
    - 常磐短期大学 4名(コロナの影響のため、3~5日間)

## 7 部門別運営計画及び令和3年度の状況

### 1. 同仁会児童家庭支援センター

#### 1) 令和4年度運営計画

児童家庭支援センターの事業運営についても、引き続きコロナウィルスの影響が大きく、特に今年度の後半は、高萩地区の関連施設にも感染者が発生したことから、濃厚接触者として職員も自宅待機を余儀なくされるなど、現場の運営においても大きな影響を受けました。

この2年間は非常時における事業継続について、様々な混乱や試練があった一方で、新たなあり方と地域のニーズも見えてきました。全国児童家庭支援センター協議会では、他の団体とも連携し、食料など物資の支援も行いながら困窮家庭への支援を早期に展開することを推奨しており私たちも助成金を得て活動をして参りました。

令和4年度はこうした状況に加えて、国が進める児童虐待SNS相談を茨城県より新たに受託する予定です。また、令和4年度からは、市町村要保護児童対策地域協議会におけるケースを主たる機関として支援しているものが、指導委託として加算されることとなりました。グループウェア等も使いながら業務効率化を図り、困窮家庭への支援に滞りが発生しないよう新たな支援展開を進めます。

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) 物資のアウトリーチ活動による困窮家庭への早期支援の展開
- (2) オンラインを活用した事業継続とSNS相談の実施
- (3) 市町村要保護児童対策地域協議会における積極的支援
- (4) 虐待予防プログラムの試行

#### 2 組織体制の強化

- (1) 本体施設機能との連携による市町村連携機関の拡大
- (2) オンライン体制の充実
- (3) 新たな連携機関の確保
- (4) 茨城県児童家庭支援センター連絡協議会（仮名）の設置の模索

#### 3 人材育成

- (1) 通所施設間における研修連携
- (2) 新たな事業に向けた人材育成
- (3) 専門研修および一般研修への計画的参加

#### 4 適正財源の確保

- (1) 地域子育て支援や要保護児童等の支援に関する県及び市町村事業受託の継続
- (2) 市町村要保護児童対策地域協議会の支援連携強化
- (3) 物資提供に関する新たな協力機関の開拓

#### 2) 事業の概況

令和3年度もコロナウィルスの影響を受け、児童家庭支援センターの来所相談や訪問事業などを自粛あるいは時間的な制限を設けて実施せざるを得ない1年となりました。そんな中でも、困窮家庭に対して、物資提供を含めたアウトリーチ支援を丁寧に進めてきました。NPO法人フローレンスが全国的にその活動支援を行っており、同仁会児童家庭支援センターもその支援を受けて11家庭に対して物資を届けながら、必要な支援を行っていました。

これまで、児童家庭支援センターの相談支援の関係において、物資の支援を行うということはあまり考えられませんでした。実際に支援するケースには孤立する若年母子などのケースもあり、物資の支援の有効性はその後の信頼関係を見ても明らかで、虐待問題の予防的支援や早期支援の実現の為に非常に効果的であることを知りました。

今年度は、茨城県の事業として児童虐待に関するSNS相談も開始されることが決定しており、11月から同仁会児童家庭支援センターが受託することが決定しています。事前に県より提供される研修を受講して事業実施となりますが、新しい時代の相談援助が始まることとなります。



### 3) 令和3年度実績

#### 1 福祉サービスの向上

##### (1) 多様な連携支援とその維持

- ・高萩市要保護児童対策地域協議会進行管理会議への新たな参加（6回）
- ・NPO法人子ども食堂情報共有会への参加
- ・その他関係機関等との連携・連絡調整（総計576回実施）

##### (2) 新しい時代の支援実践

- ・物資支援を伴うアウトリーチ支援の実施（11家庭延べ41回実施）
- ・オンラインを使った個別支援の実施

##### (3) 児童相談所指導委託の獲得

- ・令和3年度 通所指導受託数 下記実績表参照

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	14	37	24	23	42	54	51	54	34	28	43	109	513
来所相談	17	9	19	15	0	4	5	18	29	9	0	7	132
訪問相談	42	53	19	71	4	17	63	29	44	74	19	43	478
心理療法等	50	29	66	62	41	32	48	91	53	47	36	44	599
メール相談	2	1	3	3	5	2	13	5	5	1	15	9	64
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	0	0	0	0	8	10	0	0	0	5	4	6	33
月別延べ件数	125	129	131	174	100	119	180	197	165	164	117	218	1,819

◎相談・指導内容の種別延べ件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
1026	343	303	198	22	238	22	7	0	0	0	3	1,819

◎児童相談所からの委託による指導

#### < 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	3	15	7	6	2	2	6	10	10	6	8	80
実人数												3人

#### < 指導内容の種別（実人数） >

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3

#### 2 組織体制の強化

##### (1) 児童家庭支援センターあいびーとの連携体制維持

- ・連携会議の定例開催・・・12回（児童家庭支援センター連絡会議6回、ホットライン連絡会6回）

##### (2) 本体施設機能との連携体制強化

- ・同仁会子どもホーム運営会議：計12回
- ・同仁会子どもホームまるなか会議（性教育）：12回参加
- ・職員合同研修（本体施設研修への講師派遣、本体FSWによる講義、本体施設内研修参加3回）
- ・同仁会子どもホーム入所児童対象個別心理療法：1ケース、延件数36件

##### (3) 茨城県児童家庭支援センター連絡協議会（仮名）の設置の模索

- ・コロナ禍もあり未実施

##### (4) 市区町村子ども家庭総合拠点との連携・一部受託の模索

- ・高萩市には同事業は未設置であり、今後の設置についても未定。

#### 3 施設・環境の整備

##### (1) 相談記録のデータ化

- ・相談記録はシステムの導入によって過去の記録も含めてデータ化が完了。

##### (2) 職場環境の整備

- ・無料グループウェアの活用によって連絡、周知、意見共有の効率化がなされている。
- ・オンライン体制の整備によりコロナ感染拡大期の在宅勤務および相談室、心理療法

- 室を利用した分散勤務を実施。職場における3密を回避。
- ・アウトリーチ事業実施に伴い物資の保管場所などを整備。臨海学園の整備により空きスペースとなった空間の有効活用。
- ・老朽化に伴う事務用品の入れ替え

#### 4 適正財源の確保

##### (1) 地域子育て支援や要保護児童等の支援に関する県及び市町村事業受託の継続

- ・茨城県児童緊急対応事業の受託 : 延べ 6498件 (無言、間違い、その他問い合わせ含む)

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成					DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	いじめ	しつけ			
1196	927	8	12	24	199	3			39	0	1172	2,653

##### 緊急時対応件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成					DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	いじめ	しつけ			
260	195	0		7	28					0	225	520

##### (2) 児童相談所指導委託の強化

- ・新規：同仁会子どもホーム入所ケースおよび市内里親委託ケース各1。その他上記相談実績表参照。

##### (3) 新たな事業を見据えた市町村等との事業の模索

- ・高萩市子育て支援課が主催する未就学児連絡協議会への専門職派遣依頼に応じる。
- ・北茨城市社会福祉協議会地域ケアシステムサービス調整会議へのオブザーバー派遣。
- ・高萩市要保護児童対策地域協議会研修・啓発、専門的支援事業の継続受託

実務者会議構成機関対象研修会 : 1回 (1回中止)

講義・事例検討：常磐大学人間科学部心理学科教授 秋山邦久氏 困難事例の理解と対応

視察事業：内原同仁会子どもセンター

- ・オレンジリボンキャンペーン (市内保育園、小学校から児童へ配布) : 1500部 (グッズ含む)

## 2. 児童家庭支援センター あいびー

### 1) 令和4年度運営計画

児童家庭支援センターあいびー内では、児童家庭支援センター業務に併せ、児童養護施設退所者等アフターケア事業とフォスタリング事業を行っています。

昨年は新型コロナウイルスの影響もあり、相談業務や企画、広報活動等が延期や中止になることが多くありました。徐々にではありますが、オンラインでの対応など取り入れながら活動しています。

児童家庭支援センターでは、児童相談所や市町村と連携を図り、子育て家庭への養育相談支援に努めております。今後はNPO団体とも連携体制を構築し、アウトリーチを強化して新たな支援を模索して参ります。

アフターケア事業においては、セミナーの企画・拡充を図りつつ、各施設との連携強化や円滑な支援を目指して参ります。

リクルート事業では、新たにフォスタリング事業と名称が変更されました。より一層里親制度における支援体制の強化を目指し、必要とする子どもたちのため、里親支援機関との協働・連携に努めて参ります。

#### 1 福祉サービスの向上

(1) 市町村や各事業所、児童相談所等との連携強化と支援体制の構築

(2) 来所、訪問等、個別相談援助の強化

#### 2 組織体制の強化

(1) 本体施設との連携体制強化

(2) 報告、連絡、相談の徹底

(3) 専門研修の計画的実施

(3) 三事業相互理解の促進と連携強化

#### 3 人材育成

(1) 人事考課の実施

(2) 各種研修、法人研修への積極的な参加

#### 4 施設・環境の整備

(1) 職場環境の整備と管理の徹底

### 2) 事業の概況

#### 《児童家庭支援センター》

令和3年度はコロナ渦のため、一部の来所や訪問を控えての活動となりました。新たな支援形態を模索しつつ、可能な範囲で支援を継続するよう努めました。

地域の子育て支援に関するニーズは高いと思われまますので、アウトリーチを強化していくことで、より身近な機関としての児童家庭支援センターを構築していくことが出来るのではないかと感じます。

また、児童相談所や市町村、本体施設との連携を維持しながら、児童家庭支援センターらしい柔軟な支援を展開し、在宅支援強化の一助となれるよう尽力して参ります。

#### 《アフターケア事業》

令和3年度は、昨年に引き続きコロナの影響により対面での行事や居場所支援事業を休止せざるを得ない状況にありました。

行事については、オンラインでの実施が定着しつつありますが、居場所支援事業ではオンラインで実施したことがなかったため開催しました。

また、厚生労働省「令和3年度社会的養護経験者ネットワーク形成事業」の一環として、小学館プロダクションが作成している社会的養護経験者向け情報ウェブサイトIrisや一般社団法人コンパスナビの「なびんち」で本事業を紹介していただき、支援を求めている方と繋がるツールが着実に増えていきます。今後も専門性と相談業務の対応力向上に努め、支援の輪が広がるよう関係機関との連携強化に尽力して参ります。

#### 《里親養育包括支援事業》

令和3年度はコロナの影響がより強く繁栄された年となり、里親リクルート事業の広報活動においては、予定されていた里親制度説明の出前講座が中止になったり、ウエルシア薬局での広報活動が延期となったり思うような活動につなげるのが難しい状況でした。

中でも、希望者の方へ制度説明をオンラインで実施したり、児童相談所を含む里親支援機関と協働し、鹿行地区2カ所で里親制度説明会を開催したりと可能な限り活動して参りました。事業委託から約2年半の活動を通し、本事業の認知や定着も進んでいると実感しています。

2月からは新たに里親訪問等支援事業の業務委託を受け、里親家庭への訪問にや相談支援を通じ、包括的な里親支援に繋げていけるよう、これまで以上に関係機関との連携を図り尽力して参ります。

### 3) 運営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議・研修に積極的に参加し自己研鑽に努める。

#### 1. 職員会議

- (1) 同仁会子どもセンター職員会議・・・月1回
- (2) 各部署会議（児家セン、アフターケア、リクルート）・・・月1回
- (3) 同仁会児童家庭支援センターとのケースカンファレンス・・・月1回
- (4) 里親リクルーター  
日立、中央、鉾田児相管内会議・・・随時
- (5) 法人リスクマネージャー会議・・・隔月1回
- (6) 法人家庭支援会議・・・隔月1回
- (7) 連絡会議・・・毎朝

#### 2. 安全管理及び保健衛生

- (1) 安全点検・・・月1回
- (2) 非常時避難訓練・・・月1回
- (3) 健康診断・・・年2回
- (4) 保菌検査・・・年2回

### 4) 令和3年度実績

《児童家庭支援センター》

◎月別相談延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	26	28	34	27	26	46	46	26	20	29	39	43	370
来所相談	13	10	16	14	20	12	3	4	5	0	9	1	107
訪問相談	2	3	9	3	2	0	0	0	0	0	7	7	3
心理療法等	10	7	10	5	18	1	2	1	2	0	2	0	58
メール相談	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	4
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(FAX等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延べ件数	51	48	69	49	66	60	51	32	28	29	58	51	572

◎相談・指導内容の種別延べ件数

養護	虐待 (再掲)	保健	障がい	非行	育成				いじめ	DV	その他	合計
					性格 行動	不登校	適正	しつけ				
217	199	1	47	0	41	36	0	51	0	0	0	592

《アフターケア事業》

◎実績表(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
<b>退所前</b>													
講演・生活技能	0	0	0	17	41	43	63	25	12	15	48	41	305
不安・悩み	2	2	9	12	19	10	6	4	1	10	10	32	127
退学者	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
自助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	30	43	56	35	34	47	40	41	68	52	75	78	599
<b>退所後</b>													
生活	48	73	26	57	55	37	24	49	35	49	41	52	546
就職	17	1	5	4	6	26	55	25	14	28	14	16	221
自助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	31	25	14	5	25	22	14	7	15	14	5	17	194
合計	128	156	111	131	180	185	202	151	155	169	172	236	1997

《リクルート事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談/電話	3	2	2	2	4	3	7	1	3	17	1	5	50
相談/メール	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
相談/訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外部向け制度説明	0	0	2	1	0	0	1	2	6	0	0	0	12
ガイダンス	2	2	0	0	0	3	0	1	1	1	6	3	19
合計	6	4	4	3	4	6	9	4	11	18	7	8	84

### 3. 発達障害者支援センター COLORS つくば

#### 1) 令和4年度運営計画

発達障害者支援センターCOLORS（カラーズ）つくばが開設してから3年が経過しました。一昨年度に引き続き、コロナウイルスの影響を受けながら、感染予防対策をした上での支援活動となりました。

センターの主催研修や、講師依頼を受けての研修もオンラインがメインとなりました。

現在は、オンライン面接の導入に向けて検討を重ねているところです。

利用者の方々が安心して支援を受けられるよう、感染予防対策を行いながら、茨城県障害福祉課、茨城県発達障害者支援センター「あい」と協力し、地域の発達障害児（者）の方々とその家族、そして支援者の方たちの力になれるよう、以下のとおり運営を計画します。

#### 1 施設提供サービスの向上

- (1) 市町村、各種事業所、医療機関等との連携強化および支援ネットワーク体制の構築
- (2) 相談支援・発達支援・就労支援におけるアセスメントやソーシャルワークの強化
- (3) 地域住民及び各事業所への講演会や研修等、発達障害に関する普及・啓発活動の強化
- (4) 地域支援や機関コンサルテーション等、間接支援機能の強化

#### 2 人材育成

- (1) 外部研修参加による専門性の向上
- (2) 人事考課の実施
- (3) 茨城県発達障害者支援センター「あい」との連携によるスキルアップ

#### 3 組織強化

- (1) スーパーバイザーの導入
- (2) 会議の在り方等、組織システムの構築・強化
- (3) 報告・連絡・相談の徹底
- (4) リスクマネジメント意識の徹底
- (5) 人材定着のための業務改善と職場環境作り

#### 4 財政基盤強化

- (1) コスト意識、節約意識の徹底

#### 2) 事業の概況

開設から3年が経過し、足りていなかった発達支援担当職員も年度途中に加わりました。発達障害を持つ方や、そのご家族からの直接的な相談は勿論ですが、様々な支援機関からの相談も増えてきております。支援者支援（間接的支援）は発達障害者支援センターの大きな役割の一つです。相談内容については、単に発達障害の問題だけではなく、そこにひきこもりや、精神疾患、虐待等他にも様々な問題が絡み合い、複雑で難しいケースも多くなってきております。

今年度も、相談業務はもちろん、発達障害の正しい理解のための普及啓発活動に活発に取り組んでいくと共に、専門的な対応が必要とされるケースに対するコンサルテーションや対応力向上のための研修といった、地域支援機能のさらなる拡充を目指していきたいと考えております。

#### 1 相談援助機能

- ・ 電話、来所等による第一義的な相談支援
- ・ 市町村が行う支援のバックアップ
- ・ 各種地域支援機関との連携による支援

#### 2 普及・啓発活動

- ・ 地域住民向けの講演会の開催
- ・ 関係機関向けの研修の開催
- ・ 外部機関が開催する研修への講師派遣

#### 3) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

#### 1. 職員会議

- (1) 職員会議 … 月 2 回
- (2) 運営会議 … 月 1 回

- (3) 法人リスクマネージャー会議 … 隔月 1 回
  - (4) 「あい」との合同連絡会議 … 月 1 回
2. 安全管理
- (1) 安全管理の点検 … 月 1 回
  - (2) ヒヤリハットによるリスク管理 … 月 1 回

4) 令和3年度実績

事業内容		実績	
1. 相談支援・発達支援	実支援件数	608	
	延支援件数	2227	
	心理学的判定	5	
2. 就労支援	実支援件数	51	
	延支援件数	352	
3. 関係施設及び関係機関への普及啓発及び研修	(1) センター主催または共催の研修	実施回数	4
	(2) 外部機関への講師派遣	実施回数	9
4. 関係機関等との連携	(1) 連絡協議会の開催状況	実施回数	2
	(2) 他の協議会への参加状況	参加回数	13

相談内訳		実績
1. 年齢別内訳	0～6歳	41
	7～12歳 (小学生)	84
	13～15歳 (中学生)	41
	16～18歳	63
	19～39歳	203
	40歳以上	65
	不明	111
	合計	608
2. 障害名別内訳	自閉スペクトラム症 (ASD)	150
	注意欠如多動症 (AD/HD)	85
	限局性学習症 (LD)	3
	その他 (発達性言語障害・協調性運動障害等)	0
	不明 (未診断含む)	370
合計	608	

## 4. 同仁会地域子育て支援センター（子育て支援室「カムカム」）

### 1) 令和4年度運営計画

近年、少子化や核家族化など様々な社会状況の変化に伴い、家庭や地域における子育て機能が低下してきています。子育て支援は、子どもの発達や、子どもの立場に沿った親としての向き合い方について、或いは子どもと親が共に育つ道筋を丁寧に辿りながら、親が本来備えている子育て力を促進できるような支援を、関係機関と連携を図りながら、次の事項を推進して参ります。

#### 1 子育て支援事業の強化

- (1) 育児不安や親自身の悩みに対する支援などの相談機能の強化
- (2) 年齢発達に合う適切な生活習慣についての情報発信による親支援
- (3) 看護師や児童家庭支援センター職員による子育て講座の実施
- (4) 周産期にあたる家族への支援
- (5) 幅広い親支援の継続的实施
- (6) 集団療育の実施

#### 2 食育の推進

- (1) 食に関する情報の発信
- (2) 栄養士による手作りおやつ教室、離乳食教室、子育て講座の実施
- (3) 食に関する紙芝居、絵本、パネルシアター等の実施

#### 3 環境問題への取り組み

- (1) 節電、節水など省エネの実践
- (2) エコ指導と情報発信
- (3) 家庭だけでなく、公共の施設に対するエコ活動の推進

#### 4 感染症・アレルギーの対策

- (1) 手洗い、うがい、手指の消毒、来所時検温の施行
- (2) 提供おやつのパッケージの表示
- (3) 感染症についての情報発信
- (4) 室温、換気、湿度の調整
- (5) 活動時のソーシャルディスタンスの確保

#### 5 職員の資質向上

- (1) 研修会への積極的参加
- (2) ペアレントトレーニングの導入と実践

#### 6 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進

### 2) 事業の概況

地域の子育て支援事業が充実してきた今、KiFT・ちびっこ広場など、それぞれの事業の特性（目的）をお伝えし、利用者の方々のニーズに応えられるようにしてまいりました。

親子でゆっくりして頂くがコンセプトのKiFTには、赤ちゃんを連れての方の参加が目立つようになり、就園を見据えてのちびっこ広場への参加も多くなりました。

また、平成25年度より始めたくれよんKiFT(小集団療育)では、落ち着きがなく、じっとしているのが苦手、人見知り、場所見知りがある、偏食がある、こだわりが強い、言葉が遅いなどの心配があり、お子さんとどう関わっていったらよいかわからないという方々に対して、関係機関との連携を密にし、内容の充実を図ってきました。また、就園後も継続して支援していけるように、くれよん開放日には就園児の母親のみの参加も受け入れています。

子育て支援事業の延長に位置づけられていること、利用者への周知が広がってきたことで、不安や悩みを親が一人で抱え込まずに、気軽に相談して下さるようになったのは大きな成果です。

これからも、母親向けの子育て講座や毎月発行の「カムカム」でも、ペアレントトレーニングを基とした、具体的で効果的な対応の仕方を伝えることで「ほめて、のばして、ラクラク子育て」を実感してもらえるようにし、子どもたちの健やかな成長と発達に繋げていきたいと思っております。

## 事業計画

1. 育児等、主に妊産婦、乳幼児のいる家庭への相談事業
2. 乳幼児の成長につながる遊びの実践と主体性を発揮できる場の提供
3. くれよんクラブ、児童家庭支援センターと連携した 集団療育事業の開催
4. 子育てサークルの育成・支援
5. 同仁東保育園と連携し、一時保育等の特別保育事業の実施
6. 子育て情報の収集・提供・発信
7. 子育て支援のための講座の開催

## 事業内容

- 1 「K i F T(キフト)」(Kids Forum Talky=「ちびっこ広場」の造語)の開催
  - \* 毎月第1木曜日に「K i F T」(2歳以上の未就園児とその親)
  - 毎月第2木曜日に「赤ちゃんK i F T」(0歳から1歳未満の未就園児とその親)
  - 毎月第3木曜日に「K i F T」(1歳の未就園児とその親)
  - 母親のリフレッシュ、仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間・育児相談の場の提供。
  - \* 毎月第2、第4水曜日に「くれよんK i F T」(おおむね2歳～未就学児とその親)
  - 歌やリトミック、体を動かす遊びなど、親子で遊びながら子どもの発達をはぐくむ関わりを支援。
  - \* 毎月第3水曜日にくれよんK i F T開放日 くれよんK i F T利用親子に共有空間を提供
- 2 「ちびっこ広場」の開催
  - \* 毎月第1・2・3火曜日に「ちびっこ広場」を同仁東保育園で開催。
  - \* 保育園保育メニューを地域の未就園児とその親に提供し、保育園児との交流も図る。年に2回程度、公園等への遠足を設定。地域の親子も巻き込み、交流を図る。また、子育て支援事業の紹介や宣伝の場とする。
- 3 ゆうゆうK i F Tの開催
  - \* 毎月第3金曜日に、母親リフレッシュのための趣味の講座を開催。年に2回、親子おやつ作りと食育相談を開催。
- 4 「M a F T(マフト)」(Maternity Forum Talky=「マタニティの広場」の造語)の開催
  - \* 周産期にある家族(特に初妊婦)への支援。母親のリフレッシュ・仲間づくりの支援。気軽に身近な子育ての共有空間と育児情報の提供。(予約制)
- 5 外部との連携
  - \* 高萩市健康づくり課との連携(「すこやかランド」に職員派遣)
  - \* 高萩市生涯学習課との連携  
市内小学校・幼稚園・保育園向け「子育て講座」に職員派遣
- 6 子育て情報の発信
  - \* KiFTなど支援事業の参加者に配布する機関紙(「Co.me Com.e(かむ かむ)」)の作成・発行。
  - \* インターネット・メール(パソコン・携帯電話)による育児情報を地域の親子に発信。
  - \* ブログによる最新情報の発信
- 7 特別保育事業の実施
  - \* 乳幼児の母親のリフレッシュを含む一時預かり保育を保育園と連携して行う。
- 8 子育てサークルの支援
  - \* 育児の情報交換の場として、「カムカムのおへや」(サークル支援室)を子育てサークルに開放し利用を促す。
- 9 子育て講座(お話し会)の開催
  - \* 子育てに関する講演会、講座等を開催する。  
KiFT、ちびっこ広場で、子育て講座「ほめ方のコツ、上手な注目の外し方、指示の出し方」等を実施。
- 10 その他
  - \* 育児の情報の入手手段を持たない家庭への情報発信、育児ストレスの軽減、仲間づくりの促進を図る。



3) 令和3年度実績

1 職員の研修

市関係 2名 法人・施設 8名 その他 0名 計10名

2 子育て支援室相談状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
育児	9	13	10	12	1	1	12	5	4	5	5	4	81
しつけ	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	6
健康	0	2	0	1	0	0	2	1	1	1	0	0	8
食事	2	3	4	1	0	0	2	3	1	3	1	2	22
発達	7	8	2	4	1	1	6	5	1	1	2	3	15
電話問い合わせ	8	1	0	6	5	4	2	1	1	3	2	2	35
問い合わせ	4	5	0	3	2	0	1	1	0	1	1	1	19
その他	2	5	3	4	1	0	1	1	2	2	0	0	21
合計	32	37	20	33	10	6	27	19	10	16	11	12	207

3-1 赤ちゃんK i F T開催状況 (1歳未満の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 15	9	18	10月 14	4	8
5月 13	16	33	11月 11	6	12
6月 10	11	22	12月 9	6	12
7月 8	14	29	1月 20	3	6
8月	実施せず		2月 10	1	2
9月 9	自粛要請があり実施せず		3月 10	3	6
計			73		148

3-2 K i F T開催状況 (1歳の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 22	13	28	10月 21	9	18
5月 20	12	24	11月 18	3	6
6月 17	11	23	12月 16	7	15
7月 15	20	43	1月 27	2	4
8月	実施せず		2月 17	0	0
9月 16	自粛要請があり実施せず		3月 17	1	2
計			78		163

3-3 K i F T開催状況 (2歳以上の未就園児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 8	7	16	10月 7	11	24
5月 6	5	11	11月 4	10	20
6月 3	7	14	12月 2	3	7
7月 1	5	10	1月 13	5	11
8月	実施せず		2月 3	0	0
9月 2	自粛要請があり実施せず		3月 3	4	8
計			57		121

3-4 くれよんK i F T開催状況 (おおむね2歳以上の未就学児)

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
4月 21	5	10	10月 6	5	9
			20	6	12
5月 19	3	6	11月 10	6	13
			24	9	19
6月 16	6	12	12月 8	5	10
			22	1	2
7月 15	7	11	1月 12	2	4
			26	3	6
8月	実施せず		2月 16	実施せず	
9月 15	自粛要請があり実施せず		3月 16	4	8
計			58		114

4 ゆうゆうK i F T

開催日	参加者(組)	人数	開催日	参加者(組)	人数
5月 14	4	9	12月 17	5	9
7月 9	4	8	1月 21	1	2
10月 22	4	8	2月 25	1	2
11月 19	3	6	3月 11	1	2
計			23		46

5 ちびっこ広場開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数	
4月	13	3	7	10月	12	13	29	
	20	5	11		19	16	35	
	27	3	6		雨天のため中止			
5月	11	12	25	11月	2	9	22	
	18	8	17		9	14	31	
	25	10	20		16	7	15	
6月	1	10	22	12月	14	13	28	
	8	11	24		21	11	23	
	15	14	30	保育室工事のため実施せず				
7月	6	20	42	1月	11	10	23	
	13	16	36		18	10	23	
	20	7	15		25	10	23	
8月		実施せず		2月	1	実施せず		
9月	7	自粛要請があり実施せず			8	8	"	
	14	"			15	15	"	
	21	"		3月	1	4	8	
					8	8	実施せず	
				15	15	"		
計						216	469	

※ 5/25、10/26遠足

6 MaFT開催状況

開催日		参加者(組)	人数	開催日		参加者(組)	人数
4月	16	0	0	10月	15	0	0
6月	18	0	0	12月	10	0	0
				2月	18	0	0
計						0	0

7 サークル支援室利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開放日	19	16	20	18	20	18	17	19	16	15	14	18	210
利用日	1	2	2	2	1	0	2	2	3	7	0	4	26
キャンセル	0	0	0	1	4	1	0	0	0	1	1	0	9
合計	1	2	2	3	5	1	2	2	3	8	1	4	29

8 育児相談会

同仁会児童家庭支援センター相談員、臨海学園・同仁会乳児院・同仁会子どもホーム  
同仁東保育園栄養士・看護師・保育士を交えての相談会

令和 3年 5月14日 「手作りおやつと育児相談会」

参加者 4組

講師 同仁会子どもホーム栄養士 坂本 和代

令和3年7月8日 「離乳食教室と育児相談会」

講師 臨海学園栄養士 横山知恵

参加者 13組

令和 3年11月19日 「手作りおやつ作りと育児相談会」

講師 同仁東保育園栄養士 海老沢 暁子

参加者 3組

令和 4年1月25日 「新型コロナウイルスによる感染症予防と乳幼児の事故やケガ防止について」

講師 同仁東保育園看護師 大串千恵子

参加者 10組

令和 4年 3月3日 「子どもの心理について」

講師 同仁会児童家庭支援センター 臨床心理士 吉沢望美

参加者 4組 (感染症予防のため資料配付のみ)

令和 3年 4月 15日・6月10日・令和4年1月20日 「ベビーマッサージの実践」

講師 同仁会乳児院保育士 小松なぎさ

参加者 計23組

9 令和3年度 子育てサークル(母親クラブ)

1. 暴れん坊将軍 7家族
2. アンパンマン 5家族
3. ゆかいな仲間達 17家族
4. ももぐみ 4家族
5. カムカムで遊ぼうの会 4家族

## 5. 保育所 同仁東保育園

### 1) 令和4年度運営計画

人口減少、児童数、出生率の減少は年々深刻な状況となっている一方で、女性の就業率の上昇に伴う保育ニーズの高まりは期待できるところです。

令和4年4月から保育所型認定こども園としてスタートすることになりました。これまでの保育（2号・3号認定）120名定員に、教育（1号認定）15名定員が加わります。

幼児期にふさわしい生活を通して教育の基盤を養うこと、小学校との連携、相互理解や子どもの姿の共有などが求められます。これは、子どもの育ちで大切な親や保育士との愛着形成の確立をベースに、月齢によって大きく差がある発達に合わせたきめ細やかな保育や、子ども力に対する受容と対話を大切にしてきたものですが、知的な面（認知的能力）や社会情動的な面（非認知的能力）の育ちが、子どもが生き、育ち、また学んでいくところの中核を担うことです。私たちは、これを研修課題とし、共通認識の基、継続的支援ができるよう、そして、教育、保育の現場で活かせるよう努めてまいります。

#### 1 福祉サービスの質の向上

##### (1) 保護者支援

- ア 子育てに関する情報の提供（健康・安全・育児・食育等）
- イ 子育てに関する相談への対応
- ウ 子育ての仲間づくりの推進支援（親子遠足、保護者懇談会、給食試食会等）
- エ 親子参加型行事の開催（運動会、親子遠足、参加保育、給食試食会等）
- オ 食育（食に関する情報の提供、給食試食会の開催等）

##### (2) 教育・保育の質の向上

- ア 様々な活動を通して、豊かな感性を育む
- イ 異年齢での関わりを増やし、様々な集団を体験する
- ウ 運動習慣の確立による体力づくり
- エ 小学校以降の生活や学習の基盤の育成
- オ 自己評価の結果検討と改善

#### 2 人材の育成

- (1) 園内研修（学習会）の充実
- (2) 法人目標の実践による人間性の向上
- (3) 各種研修への積極的参加

#### 3 地域との連携

- (1) ゆうゆうクラブとの交流
- (2) たかはぎ認定こども園との交流
- (3) 高萩市主催によるイベントへの積極的な参加
- (4) 中学生による職場体験の積極的な受け入れ

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員の節約意識の徹底と経費削減の推進
- (3) 教育・保育の充実による利用児童の安定した確保

### 2) 運営の概況

新型コロナウイルス感染症は、子どもへの感染リスクが高いというオミクロン株による第6波を迎え園ではその対策、情報収集に明け暮れ右往左往しつつも開園してきましたが、年が明け職員と園児の感染が確認され、一部学級閉鎖を余儀なくされました。昨年同様、様々な行事は、オンラインの導入や規模縮小と形を変えて実施しています。日常でも朝夕の延長保育時間の他クラスとの接触をできるだけ避けるよう保育室の分離等行っています。このようななかでも子どもたちは、動じることなく子ども力を発揮してくれています。

- 1. 休園日 … 12月30日～1月3日
- 2. 開園時間 … 午前7時～午後8時まで  
(日祝日 休日保育実施)
- 3. 対象児童 … 産休明け（第8週）より就学前まで

### 3) 教育・保育の内容

#### 1. 基本方針

保育指針・子ども子育て支援法・法人目標に沿った計画を基に教育・保育を展開し、心豊かに生きる力や望ましい未来を創り出す力の基礎を培います。

自立 … 自分で考え行動する。

協調 … 思いやりの心、優しい心、仲間と力を合わせて物事を成し遂げ、喜びを共感する。

創造 … 感じたこと、思ったことなどをいろいろな形で表現する。

味覚・聴覚・視覚・嗅覚・触覚などの五感を大切に、豊かな感性と創造性を育む。

#### 2. 基本目標

保育園の主人公は子どもたちです。

その子どもたちの命を守り、未来へつなげていくことが、私たちの仕事です。

- ・ 明るい挨拶を心がけ、一人ひとりを大切に、きちんと目を見て、丁寧な言葉で「ありがとう」を伝えます。
- ・ お子さんの個性は良い方に、ポジティブに捉え、一人ひとりが安心して、夢中になって遊べる環境に配慮します。
- ・ 子どもを中心に、保護者の方と保育者が互いに理解し合い、一緒に子育てや教育・保育ができるように努めます。
- ・ お子さんの様子・成長を把握しながら、自然とふれ合う機会を多く作り、五感を育める教育・保育を計画します。
- ・ 職員は教育・保育の専門職として研鑽を心掛け、常に向上心を持って、お子さんの命を守ります。

#### 3. 保育目標

0歳児…家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの生理的欲求が満たされた情緒の安定のもと、人への基本的信頼感を形成できるように保育を行います。

1歳児…自分ですることの楽しさを知り、自発性や探索意欲を高められるように保育を行います。

2歳児…基本的な生活習慣がほぼ身につく、人や物への興味を広げ、社会性が育めるよう、保育を行います。

3歳児…友達との関わりの中で、自己肯定感や他者を受容する感情が育めるよう、支援します。

4歳児…集団で生活することを楽しむ中で、決まりを守る大切さを知り、更に自主性や自律性が育めるよう、支援します。

5歳児…様々な経験・体験を通して自立性を高め、目標に向かって努力したり、協力して達成する喜びを味わえるよう、支援します。

#### 4. 活動内容

① 養護（生命の保持・情緒の安定）教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）食育の実践

② 健康への支援（異常が認められた時の適切な対応、保健指導計画の策定）

③ 環境・衛生の管理（清潔保持・清掃・消毒・点検）

④ 事故防止の徹底（避難訓練の実施、蘇生法研修、遊具等の点検、交通安全活動）

⑤ 保護者・地域への支援（休日保育、延長保育、育児講座の開催、説明責任）

⑥ 特色のある教育・保育

・ 異年齢児教育・保育（4・5歳は混合クラス） ・ 砂浜を利用した活動 ・ ちびっこ広場（園庭の開放）

・ 音楽指導…専門講師（日本音楽総合研究所）の指導による鼓笛隊指導（4・5歳児）

・ リトミック…専門講師（日本音楽総合研究所）の指導によるリトミック（2・3歳児）

・ 体育指導…専門講師（ITレボリューション）による体育指導

・ そろばん教室…専門講師（のぞみそろばん塾）による算数とそろばんの指導

・ 英語教育…専門外国人講師（超禅イングリッシュスクール）による英語指導

・ 東幼稚園との交流

### 4) 運 営

#### イ) 会 議

- |            |                               |        |
|------------|-------------------------------|--------|
| 1. 保育職員会議  | (管理・園運営全般 ……………)              | 月 1 回) |
| 2. 運営会議    | (管理・運営・保育全般 ……………)            | 月 1 回) |
| 3. ケース検討会議 | (保育内容の検討・ケース検討 ……………)         | 月 1 回) |
| 4. 保育連絡会議  | (主任・グループリーダー・企画研修員による保育会議 ……) | 月 1 回) |
| 5. グループ会議  | (年長児・中間児・年少児グループ毎 ……………)      | 月 1 回) |
| 6. 献立会議    | (献立内容の検討 ……………)               | 月 1 回) |

ロ) 日 課

時間	生活のプログラム	時間	生活のプログラム
7:00	早朝保育 (絵本、玩具遊び)	13:00	午睡 (4,5才児はクラス別保育)
8:00	登園・挨拶・健康視診・自由遊び	14:00	1号認定こども降園
9:00	1号認定こども登園	15:00	起床・おやつ (全児)
9:20	片付け・朝のお集まり (0,1,2才児)	15:30	お集り
9:40	おやつ (0,1,2才児)	16:00	降園開始
10:00	片付け・朝のお集まり (3,4,5才児)		自由遊び (絵本・戸外遊び・玩具等)
	クラス別保育		製作遊び (粘土・折り紙等)
	造形製作・音楽リズム・体育遊び	17:30	延長保育 (テレビ・ビデオ視聴・絵本 ・玩具遊び)
	自然観察・散歩等	18:30	補食
11:30	昼食	20:00	降園終了
12:30	食後の片付け・歯磨き・午睡準備 (0~3才児)		

5) 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
  - ア. 園児蟻虫検査 …………… 年2回 (江東微生物研究所)
  - イ. 園児健康診断 …………… 年2回 (嘱託医 滝有希子先生)
  - ウ. 園児歯科検診 (3,4,5才児のみ) …… 年2回 (滝川歯科医院 滝靖宗先生)
  - エ. 園児尿検査 …………… 年2回 (田尻ヶ丘臨床検査センター)
2. 身体計測の実施 (毎月 … 身長・体重 年2回 … 胸囲)
3. 調理担当者の衛生管理の徹底 …………… 保菌検査の実施・消毒・白衣の着用
4. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
5. 環境衛生 (トイレ清掃消毒・寝具消毒・下水道消毒等)
6. 園内外の危険個所の把握と安全管理点検 … 毎月10日
7. 園庭の遊具施設の安全管理と点検 …………… 毎月10日 (変更有り)
8. 玩具等の安全管理と点検消毒 …………… 毎日
9. 交通安全指導 …………… 年1回(6月)
10. 閉園後は柵総合警備保障に管理委託契約

6) 令和3年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	22	入園・進級を祝う会		15	節分集会
5	6	こいのぼり集会 親子遠足 (4,5才児) 中止	2	19・26	保育懇談会 お別れ遠足 (みどり組)
6	5・12	保育懇談会		25	
7	7	七夕集会	3	3	ひなまつり会
	16	お泊り保育 (5才児) キラキラデイに変更		16	お別れ遠足 (あか組)
8	7	夕涼み会		27	卒園を祝う会
	9	運動会 (1歳~5歳)		30	お別れ会
	15	秋の遠足 (0,1才児) 観劇 (4,5才児) 中止			
10	18	秋の遠足 (2才児)			
	20	秋の遠足 (3才児)			
	26	秋の遠足 (あか組)			
	29	秋の遠足 (みどり組)			
11	2	秋の遠足 (あお組)			
12	11	保育発表会 (無観客リモート)			
	24	クリスマス会			

・安全の日 毎週木曜日  
 ・室内外消毒 毎日  
 ・高齢者クラブとの交流 ※中止  
 ・地域の子育て支援サービス (ちびっこ広場) 毎月3回実施  
 ・ゆうゆうクラブとの交流 (異年令児交流) 年1回実施  
 ・東幼稚園との交流 ※中止

7) 令和3年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調理担当者検便	26	24	28	26	23	27	25	22	27	24	28	28
室内外の消毒	毎日											
非常時避難訓練	28	12 26	7 23	20 28	27	29	14 27	30	22	26	中止	28
安全点検	10	10	10	10	10	10	8	10	10	8	10	10
健康診断(児童)	20							9				
歯科検診(児童)	21							10				
健康診断(職員)				21								
児童尿検査			14・28					8・22				
火災報知器点検			25						26			8
交通安全指導								12				

8) 令和3年度資料

1. 職員の研修

	園長	保育士	調理員等	計
県又は社協等		7	2	9
法人及び施設独自	3	64	4	71
計	3	71	6	80

2. 各月初日在籍園児数(入園時年齢による)

月 年令	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才	7	7	8	9	10	11	13	14	15	16	16	16	142
1才	18	18	20	20	21	21	21	21	21	21	21	21	244
2才	20	19	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	258
3才	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	261
4才	26	26	27	27	28	28	28	28	28	28	27	27	328
5才	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	324
計	119	118	125	127	130	131	133	134	135	136	135	134	1,557
前年度	125	126	129	129	133	134	135	137	137	136	136	135	1,592

3. 出身地区別表(R4.3.31現在)

地 区	高 浜 町	有 明 町	東 本 町	肥 前 町	本 町	高 菟	安 良 川	上 手 綱	下 手 綱	高 戸	島 名	中 戸 川	秋 山	石 滝	日 立	北 茨 城	春 日 町	赤 浜	合計
人数	26	11	1	8	8	6	18	5	10	5	16	1	2	3	9	2	2	1	134

4. 在園期間(R4.3.31現在)

期 間	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	計
人 数	30	28	33	23	12	8	134

5. 一時預かり保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	1	14	7	18	0	0	0	1	0	0	0	0	41

6. 日曜・祭日保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	14	16	9	17	15	14	13	20	11	8	18	11	166

7. 体調不良児型保育

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	2	11	3	12	8	5	3	4	6	13	10	10	87

8. 栄養投与状況

3才未満児	熱量	453 Kcal(食事摂取基準 441 Kcal)
	たん白質	15.6 g(食事摂取基準 17.6 g)
3～5歳児	熱量	626Kcal(食事摂取基準 594 Kcal)
	たん白質	21.8 g(食事摂取基準 23.8 g)

## 6. 放課後児童健全育成事業 ゆうゆうクラブ

### 1) 令和4年度運営計画

少子化に歯止めがかからない状況でも、来年度の利用申し込みは定員を上回り、学童保育の必要性は高いと感じています。また、地域とのつながりが希薄になってきている中、親しみやすい地域のコミュニティとして、心のよりどころになればと考えています。

学童保育は、放課後の子どもの居場所として安全で安心な生活の場となるよう関係機関との連携や地域交流を通して、子どもの健全育成と保護者支援者支援に努めてまいります。

#### 1 児童が充実した生活が出来る環境づくり

- (1) 自然を生かした親子体験活動の実施
- (2) 日本古来の風習に親しむ行事への参加
- (3) 学年別活動の実施
- (4) アサーショントレーニングの導入
- (5) 異年齢交流の拡充
- (6) そろばん教室の開催

#### 2 保護者サポートシステムの構築

- (1) 保護者同士の交流強化による子育て支援
- (2) ペアレントトレーニングを導入した保護者支援
- (3) 掲示物による食育・健康・安全・子育て情報の発信

#### 3 子育てネットワークづくり

- (1) 保護者、学校、関係機関との連携の強化
- (2) 児童家庭支援センターとの連携による家庭支援の実施
- (3) 地域諸団体、ボランティア、地域住民との交流連携の取り組み

#### 4 食育の推進

- (1) 栽培、収穫、調理の体験
- (2) 手作りおやつの実施と試食会や掲示等による保護者への発信

#### 5 職員の資質向上

- (1) 法人内外の研修への積極的参加
- (2) ペアレントトレーニングを基にした援助支援の標準化

#### 6 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行と節約意識の徹底
- (2) ペアレントトレーニングの継続と職員派遣によるスキルアップ

### 2) 運営の概況

昨年度もコロナ感染対策で小学校の対応が分散登校やリモート学習になり、学童クラブを欠席する児童が多く、入会の継続をしてもらえるのか心配しましたが、今年度は定員を超える利用申し込みがあり、48名の児童でスタートしました。

不足している食器や椅子などを補充して新年度を迎えましたが、1年生の入学前にコロナ感染が広がり、学童クラブの休館や学校閉鎖になるなど対応に迫られました。

マスクをすることが通常となり生活様式が変化してきていますが、子どもの育ちという面では今まで同様一人ひとりの個性を大切にしながら、安心、安全な保育に努めてまいります。

### 3) 運 営

#### 1 開園の状況

1. 開園日 年間292日
2. 休園日  
日・祭日  
お盆休暇 8月13日～8月15日  
年末年始休暇 12月30日～1月3日
3. 開園時間  
学校登校日 下校より午後7時まで  
学校休日 午前7時30分より午後7時まで

#### 2 活動内容

1. 児童の健康管理、安全確保、情緒の安定
2. 遊びの活動への意欲と態度の形成

3. 遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上
4. 児童の遊びの活動状況の把握と家庭への連絡
5. 学習支援と読み聞かせによる学習向上と充実
6. 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
7. その他児童の健全育成上必要な活動

### 3 会議

1. 職員会議（子育て支援と合同） 毎月
2. 連絡会議（引き継ぎ・連絡） 毎日
3. 運営委員会 年2回
4. 児童家庭支援センターとの会議 毎月
5. 経営役員会 毎月

### 4) 保健衛生及び安全管理

- 1 給食（おやつ、土曜日や長期休業期間の昼食）
  1. 季節感、栄養バランスのある食事
  2. 担当者の衛生管理の徹底（検便、消毒、着衣）
  3. 調理室の整理整頓と衛生管理の徹底
- 2 安全指導
  1. クラブ内外危険箇所の点検指導及び保安全管理点検の実施（毎月）
  2. 交通安全指導の徹底
  3. 閉館後は、（株）総合警備保障に管理委託契約
  4. 非常時避難訓練（年3回）

### 5) 異年齢時交流

- ・ 同仁東保育園との交流
- ・ 高校生・学習ボランティア・読み聞かせボランティア団体との交流

○ボランティア受け入れ人数（2021年度）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	0	6	6	1	4	0	6	5	5	0	0	1

### 6) 令和3年度保菌検査実施日記録 月1回 2名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	19	24	21	19	23	27	25	22	20	24	21	22

### 7) 令和3年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	1	入会歓迎会	10	9	保育園運動会参加（利用児なし）
	14	花まつり（保育園児との交流）	11	13	総合避難訓練（消火訓練・通報訓練）中止
5	24	総合避難訓練 中止			
6	24	引き渡し訓練参加 中止	12	17	親子餅つき会 中止
				24	クリスマス会 実施
7	26	磯遊び 実施	1	4	初詣・避難訓練（津波）実施
	6	館外学習 中止		6	買い物ごっこ（保育園との交流会）実施
8	12	サバイバル飯炊き 中止		21	ハーバリウム教室（親子交流会）中止
	28	ゆうゆうフレンドパーク 実施	2	3	豆まき 実施
9			3	29	お別れ遠足（願成寺）実施
				31	お別れ会 実施

※ 毎月の行事 ・誕生会 ・手作りおやつ ・100円おやつ

### 8) 令和3年度資料

#### 1. 職員の研修

	回数	参加者数	計
法人研修	4	4	16
高萩市子育てサポーター研修会	2	2	4
支援に携わる人材養成のための研修	3	1	3

#### 2. 各月初日在籍児童数

学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
1年生	14	14	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	187
2年生	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
3年生	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	105



高学年	10	10	11	11	10	8	7	7	5	5	5	5	94
計	39	39	41	43	42	40	39	39	37	37	37	37	470

3. 特別入会・短期利用児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別入会													0
短期利用													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\* 特別入会は、夏休みなどの長期期間に入会する場合を言う。

\* 短期利用は、保護者の都合により、1日単位で利用する場合を言う。

4. 出身地区別表 (R4. 3. 1現在)

地区	高浜町	有明町	肥前町	東本町	石滝	高萩	安良川	本町	下手綱	上手綱	高戸	赤浜	合計
男	4	4	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	14
女	4	9	1	4	0	0	0	0	2	0	3	0	23
計	8	13	3	4	0	0	0	0	3	1	4	1	37

5. 日課表

時間	平 日	土曜日及び長期休校日
8:00	学 校	受入れ
9:00		学 習
10:00		自由時間
11:00		自由時間
12:00		昼 食
13:00	受 入 れ	休 息
14:00	宿 題	
15:00	自由時間	自由時間
16:00	お や つ	お や つ
17:00	清 掃	清 掃
18:00	自由時間	自由時間
18:00	延長保育	延長保育
19:00	(帰宅準備) 帰 宅	(帰宅準備) 帰 宅

## 7. 障害児通所支援事業 くれよんクラブ高萩

### 1) 令和4年度運営計画

近年、地域子育て支援において、児童発達支援、放課後等デイサービス事業のニーズは非常に増えています。また、保育所や福祉施設、学校等の集団生活を営む種々の機関においても、適応支援のニーズが年々高まっているように感じます。幼児期から学齢期までの、人格形成にとって極めて重要な時期を過ごす機関において、当該施設利用児と他の児童が、より良い集団生活を送れるよう支援を行うことは極めて重要であると考えられます。

当該事業所では令和4年4月より「保育所等訪問支援事業」を展開します。発達過程や特性、環境の適応状況を理解し、一人ひとりの状態に即した支援をしていくと共に、保護者と関係機関の多様化したニーズに応えるため、連携をより強化していきたいと考えております。また、前年度同様多様な人材を配置し、質の高い専門性の担保された支援事業を展開して参ります。

- 1 専門職的サービスの強化と専門職性向上
  - (1) 児童家庭支援センターとの連携による専門性強化
  - (2) 内部・外部カンファレンス体制の整備
  - (3) 人事交流による専門的人事配置の強化
  - (4) 特別支援、家族支援、訪問支援の充実
- 2 安定した事業運営を可能とする組織体制の確立
  - (1) 組織体制の構造化
  - (2) 関係機関連携強化
  - (3) 人材育成強化
- 3 安定した財政基盤の確立
  - (1) 多様な人材配置
  - (2) サービスの充実による利用児童の安定した確保
  - (3) 新規事業収入による、新たな財源の模索

### 2) 運営の概況

平成31年4月に事業が始まり3年が経過し、児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業の契約数が41件となりました。今後契約を控えている方や見学等の問い合わせの状況を考えると、障害福祉におけるニーズの高さが伺えることを感じています。また、通所している児童の障害は様々で、それぞれの特性を理解し、知ることで丁寧なサービス提供ができると改めて感じています。特に、サービスのひとつである、個別支援や特別支援を実施することで、小集団支援と合わせて行うことが児童の成長に繋がることを保護者と共に実感できています。

また、保護者や他事業所、関係機関との連携を図ったことで情報の共有や支援体制の構築ができました。

今後は、支援体制をさらに密に行い質の高い支援できるように考え“保育所等訪問支援”を展開する準備を進めてきました。また、保護者からの養育相談も増え、丁寧に対応していくとともに、それに応えられる職員の知識や対応力を身に付けられる研修等にも積極的に参加したいと考えています。

### 3) 運営

- 1 営業時間及びサービス提供時間
  - ・営業時間 9時00分から18時00分
  - ・サービス提供時間
    - 月～金 9時00分から17時30分
    - 土(学校休業日) 9時00分から17時00分(延長支援①8:30～9:00)  
(延長支援②17:00～17:30)
- 2 定休日
  - ・日曜日、祝日、お盆休暇(8月13日～8月15日)、年末年始(12月30日～1月3日)
- 3 活動内容(児童発達支援・放課後等デイサービス)
  - ・心身の成長や発達が気になる子、身体に障がいを抱える子の日常生活や社会生活をスムーズに送る為の支援活動の提供
  - ・保護者支援を含む親子支援・面談
  - ・基本的な生活動作の支援：着席支援・衣類の着脱・偏食への取り組み・食事のマナー・トイレトレーニング
  - ・集団生活への適応訓練：〈児童発達支援〉運動遊び・感覚遊び・ルール遊び・音楽遊び  
季節遊び…小集団活動内容  
〈放課後等デイサービス〉ソーシャルスキルトレーニングを用いた活動内容
  - ・知的技能の付与：個別支援・小集団支援・生活の中での学習機会を用いた個々にあった知識の定着を図る。
  - ・特別支援：心理担当職員が個々に合った支援を見立てプログラム作成。プログラム内容に沿った支援を個別で1時間行う。
- (保育所等訪問支援)
  - ・アセスメント：児童の様子を観察にいき、対象となる子どもと保育所等での環境(他の子どもを含む集団の環境)やそこで行われている教育や活動と本人の特性を両方を適切にアセス

- メントを行います。必要に応じて個別面談や検査を行うことも可能です。
- ・個別支援・対応：1時間程度のトレーニングを集団の中で一対一で対応します。要求・報告・拒否などのコミュニケーション支援・SST・感情コントロール・アサーショントレーニング学習支援などを行います。
  - ・カンファレンス：対象となる子どもが所属する機関の職員と話し合いを行います。保護者より希望がある場合には“ファミリーカンファレンス”も実施可能です。必要に応じて、子どもに合わせた教材作成を専門職員から助言します。

#### 4 会議

- ・支援・職員会議 月1回
- ・連絡会議（振り返り・引き継ぎ・連絡） 毎日
- ・担当者会議（保護者・相談支援事業所・他事業所） 必要に応じて
- ・幼稚園、保育園、特別支援学校、市内小学校カンファレンス 必要に応じて
- ・管理運営会議（衛星管理委員会・虐待防止委員会・身体拘束委員会） 2カ月に1回

#### 5 日課

時間	児童発達支援	時間	放デイ（平日）	時間	放デイ（休日）
9:00	受け入れ・送迎 荷物支度準備・個別支援	14:30	受け入れ・送迎	8:30	延長支援
10:00	朝の会	15:30	おやつ	9:00	受け入れ・送迎
10:15	小集団活動 設定遊び	15:45	SST活動	10:00	朝の会 SST活動
11:30	給食 リラックスタイム	16:15	余暇活動 パソコン	11:30	給食
12:30	余暇時間	17:15	帰りの準備	12:30	個別活動 パソコン
13:00	自由遊び	17:30	迎え引き渡し・送迎	15:00	おやつ
13:50	帰りの会			15:15	余暇活動
14:00	迎え引き渡し・送迎			17:00	迎え引き渡し・送迎
				17:30	延長支援

#### 6 保健衛生及び安全管理

- ・調理担当者の衛生管理の徹底（保菌検査の実施（年12回）・消毒・白衣の着用）
- ・キッチンの整理整頓と衛生管理の徹底
- ・食材搬入時の衛生管理の徹底
- ・食物アレルギーの徹底管理
- ・環境衛生（室内清掃消毒の実施）
- ・園内外危険箇所の把握と安全管理と点検（月1回）
- ・玩具等の安全管理と点検消毒
- ・営業終了後は（株）総合警備保障に管理委託
- ・自動ドアの解錠カードキーによる防犯対策及び利用児の飛び出し防止
- ・AEDの設置

令和3年度保菌検査実施日記録 月1回

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
日	7	12	9	7	4	8	6	4	2	5	2	2

#### 7 令和3年度利用実績

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
児童発達支援		76	71	77	79	104	144	78
放課後等デイサービス		121	87	133	118	167	66	101
計		197	158	210	197	271	210	179
区分	月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
児童発達支援		76	82	79	43	62	971	
放課後等デイサービス		89	104	91	48	61	1,186	
計		165	186	170	91	123	2,157	

#### 8 出身地区別

	高萩市	日立市	北茨城市	その他	合計
児童発達支援事業	8	5	0	0	13
放課後等デイサービス事業	21	5	0	0	26

#### 9 職員研修等

- ・法人内職員研修
- ・児童発達支援管理責任者取得研修
- ・社会福祉施設等新任研修
- ・高萩市要保護児童対策地域協議会 実務者会議構成員等研修会

## 8. 児童養護施設 臨海学園

### 1) 令和4年度運営計画

新型コロナウイルス感染症の流行・拡大により、不安と不自由を余儀なくされる生活が始まり2年余りが過ぎました。加えて昨年度より着工していました子どもセンターの大規模改修工事のため、仮住まいでの少し窮屈な生活が続きます。そういった中でも子どもたちは比較的落ち着いた生活を送ることができています。昨年度より入所児童の動きはなく、今年度も入所率75パーセントからのスタートとなっています。

年度の半ばには子どもセンターの大規模改修工事が終了し、新たに小グループ化・個室化に重点を置いた環境で個々のニーズに合わせた生活支援をしてまいります。また環境の変化に伴い、職員の業務内容や求めるスキル・意識にも変化でてきますので、業務負担の軽減と健全な労働環境の確保にも努めていきます。

#### 1 提供するサービス向上と生活環境の改善

- (1) オールユニット化・個室化のための改築工事の実施・生活基盤の構築
- (2) 新しい生活スタイルの確立に向けた情報収集と検討・児童の意見への傾聴
- (3) 児童・職員が抱える新たな生活スタイルへの不便や不満・ストレスの把握と軽減
- (4) 新たな支援体制・勤務体制の確立と職員の専門性を活かせる環境づくり
- (5) 計画的な自立支援とリービングケア・アフターケアの強化
- (6) 食育の推進(改築工事中の調理機会の確保と工夫)

#### 2 組織体制の強化

- (1) 新たな組織体制・業務手順の構築
- (2) 職員間のチームワーク・グループ相互の連携強化と共通理解の推進
- (3) 地域や関係機関(学校・児童相談所等)との連携と情報共有
- (4) 職員間の連携・親睦のための福利厚生工夫
- (5) 第三者評価の実施と公表

#### 3 人材育成

- (1) 小規模ケアに向けた職員の資質・意識の向上とOJT強化
- (2) 職員個別の研修目標の設定と定期的な評価
- (3) WEBを利用した研修環境の充実化
- (4) 相談体制の強化による職員の意欲向上と定着
- (5) ブログやSNSの積極的な活用による人材確保のための取り組み
- (6) 実習生やボランティアの積極的な受け入れ
- (7) 人事考課の実施

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) コスト意識の強化と節約の実践
- (3) 改築に向けた物品の整理と備蓄品のスリム化

### 2) 運営の概況

令和3年度は児童の入退所はほとんどなく、同じ顔ぶれで一年を過ごす事が出来ました。しかし、大規模修繕工事のために子どもセンターを出て生活をする事になったり、新型コロナウイルス感染症への対応のため、不自由な生活をしてもらわねばならなかったりと、生活スタイルを大きく変えなければならぬ一年でもありました。行事や職員研修などの多くが実施できずに見送りとなり、大切な経験の場は制限されてしまいましたが、普段は対峙することのないストレスに向き合うこととなり、学ぶ事も多い月日でした。職員同士の連携や情報共有については、更なる向上を目指してまいります。

児童の生活面では昨年同様、大きな変化にも関わらず、落ち着いた生活が送れました。学校生活に課題のある子もいますが、それぞれが自分なりに考えて生活を良くしていこうという意識が見られています。自立支援については保護者や学校、児童相談所と連携を取りながら進めています。

今年度も昨年度同様に負担の大きな年になりますが、児童の安全安心な環境を守りながら、皆で新しい臨海学園を創り出していきたいと考えています。

### 3) 児童支援の状況

#### イ) 基本方針

支援の基本は子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指している。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループを3つに分け、少人数のグループによる支援を行う。また、生活上の決まりや約束事を子どもと職員が

一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけ、子どもたちの安定した生活につなげている。

一方、学習面では多くの学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行う。その他、地域行事への参加など、地域の中での運営・支援していくことを基本方針とする。

## ロ) 基本的目標

○法人理念・綱領を実践し、子どもが将来社会的に自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来、社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を持ちながら、対人援助サービスの基本である S・G・N・T を実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。(和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」が言える場面を作る。(あなたを必要としています)

## ハ) 支援目標

1. 生活支援の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習相談の強化 (基礎学力の向上と進路相談)
- (5) 自立支援 (自立支援計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (保護者会・家庭通信・帰省・面会・行事への参加)
- (7) 自治会活動の推進 (子ども会議の開催、各種実行委員会)
- (8) 食育の推進 (買い物体験と食事づくり)

## ニ) 学習支援

(1) 目的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。進路相談。

(2) 内容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。高校受験の特別支援。
- ・計画的な進路相談を実践する。(面談、学習支援、進路相談)
- ・情操教育(図工、手芸、料理、音楽)の実施。
- ・意欲のある中学生は通塾により学力向上を目指す。
- ・学習ボランティアの活用。

## ホ) 環境(安全・保健・環境)

(1) 目的

・子どもが安全に落ち着いて生活できる習慣を作る。

(2) 内容

・手洗い・消毒の習慣化、清潔感を養う。(服装、身体)

- ・ 新型インフルエンザ対策の徹底。
- ・ 衛生検査の実施。（身体、頭髪、爪、耳垢等）
- ・ 入浴支援。
- ・ 健康診断（年2回）
- ・ 定期保菌検査の実施。（年2回 6月 1月）
- ・ 年齢による段階的な洗濯の習慣化。
- ・ 環境整備（施錠、補修、整備、整理整頓）
- ・ 愛園デー（子ども自身が安全面に配慮する・環境美化）毎月第1土曜日
- ・ 安全点検日（職員が安全面の定期点検を実施） 各グループ会議の日
- ・ 非常時（火災、地震、津波、風水害）対策、訓練の実施。
- ・ 交通安全の徹底（自転車点検、補修、通学路の確認、交通安全教室）

#### 4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、会議、研修に積極的に参加し、自己研鑽に努める。

##### 1. 職 員 会 議

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| (1) 全体会議       | … 月1回              |
| (2) グループ会議     | … 月1回（男子・女子）       |
| (3) 園内研修       | … 月1回              |
| (4) 運営会議       | … 月1回              |
| (5) 献立会議       | … 月1回              |
| (7) 栄養士・調理員等会議 | … 月1回              |
| (8) 生活向上部会     | … 年5回              |
| (9) 生教育部会      | … 年5回              |
| (10) 連絡会       | … 毎日（8:50 / 13:00） |

##### 2. 保健衛生及び安全管理

###### (1) 環 境 衛 生

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| ア. 室内外の消毒（オスバン） | … 週1回 |
| イ. 便所消毒         | … 週1回 |
| ウ. 寝具消毒（日光消毒）   | … 毎日  |
| エ. 浴場消毒（オスバン）   | … 週1回 |
| オ. 食器消毒（熱 風）    | … 毎日  |
| カ. 残留塩素調査       | … 毎日  |

###### (2) 身 体 衛 生

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| ア. 健康診断（学校保健法に準じ当該学校にて） | … 4月・5月・6月（診療科目別） |
| （本園嘱託医により）              | … 11月21日          |
| イ. 身体測定                 | … 月1回             |
| ウ. 散髪                   | … 月1回             |
| エ. つめ切り                 | … 週1回             |
| オ. 下着交換                 | … 毎日              |
| カ. 入浴                   | … 毎日              |
| キ. 児童・職員保菌検査            | … 年2回             |
| ク. 調理員保菌検査              | … 月1回             |

###### (3) 安 全 管 理

- |                       |                |
|-----------------------|----------------|
| ア. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約 |                |
| イ. 電気設備検査（日本テクノ株式会社）  | … 月1回          |
| ウ. 自動火災報知器の検査（作業検査）   | … 年2回          |
| エ. 非常通報装置の点検（業務委託）    | … 年2回          |
| オ. エレベーターの点検（ 〃 ）     | … 月1回（目視点検：随時） |
| カ. ガス湯沸器清掃点検（ 〃 ）     | … 年2回          |

###### (4) 安全管理の点検（毎月第1水-木曜日）

###### (5) 児 童 の 安 全

- |                         |
|-------------------------|
| ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月1回） |
| イ. 登下校の通学路指定            |
| ウ. 交通規則の徹底              |
| エ. 河川、海岸等の事故防止          |
| オ. 愛園デー（毎月第1土曜日）        |

### 5) 週間予定及び日課

#### 1. 週間支援目標

日	・衛生検査(頭髪、爪、耳) こども会議(第1日曜日)
月	・登校確認(ハンカチ、ティッシュ、胸章)
火	・入浴支援
水	・室内消毒
木	・安全確認(施錠、交通安全、危険物)
金	・上履、靴洗い
土	・基礎学力養成 ・環境整備(寝具日光消毒、室内外清掃) ・屋外活動

#### 2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床 洗面 清掃	起床 洗面 清掃 朝食 学習 環境整備 昼 食 自由遊び	15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝食		15:30	小学生帰園 学習	
7:30			17:30	片付け	片付け
7:45	登校(小中)		18:00	夕食	夕食
8:00	幼稚園生登園		19:00	お知らせ会 学習(中・高)	学習(中・高)
9:00			19:00	入浴	入浴
10:00			19:00	テレビ視聴	テレビ視聴
12:00	昼 食		20:00	幼児就寝	幼児就寝
13:00	未満児午睡		21:00	小学生就寝	小学生就寝
13:30	幼稚園生降園		22:00	中高生就寝	中高生就寝
	帰園				

### 6) 令和3年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
室内外の消毒	21	19	16	14	18	15	20	17	15	19	16	16
身体測定	30	31	30	30	31	30	31	30	28	31	28	31
保菌検査(児童・職員)			12-14							9-11		
保菌検査(調理員)	10-12	8-10	12-14	10-12	8-10	11-13	9-11	6-8	11-13	9-11	12-14	12-14
安全管理点検	14, 15	7, 12	2, 3	1, 7	11, 12	2, 3	6, 7	10, 11	1, 2	12, 13	2, 3	2, 3
非常時避難訓練	23	29	19	11	26	6	14	30	25	2	24	13

### 7) 令和3年度行事内容

月	日	行 事
4	6	始業式
	7	入学式
	29	花まつり・進学進級祝
5	9	母の日祝い
6	20	父の日祝い
7	21	夏休み開始
8	4-5	小学生キャンプ
	15-16	幼児キャンプ
	18 24-25	流しそうめん会 中高生キャンプ
9	1	始業式
	23	十五夜月見

月	日	行 事
10	18	十三夜月見
11	6	七五三
12	24	クリスマス会
	27	餅つき
	29	大掃除
2	3	豆まき
3	19	卒業を祝う会

その他 帰省(実施せず)  
趣味の教室 月1回

### 8) 令和3年度資料

#### 1. 職員の研修

	園長	指導員 保育士	F S W 里専	心理士	事務員	栄養士 調理員	計
県・社 協	0	12	5	0	1	0	18
団 体	0	5	4	1	0	0	10

法人・施設	2	152	25	12	10	11	212
計	2	169	34	13	11	11	240

2. 児童構成 (R4.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生			高校生			他	計			
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3					
男			2	2	1		1	2	1	1		1	1	2		2	3					19	
女									1			1			1	1						4	
計	0	0	2	2	1	0	1	2	2	1	0	2	1	3	1	2	3	0	0				23

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[ ]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	274
入所 うち( )は初日入所		1											1
退所 うち( )は初日退所													0
月末在籍	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	

4. 入園理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和	1		1
5. " 拘禁	1		1
6. " 入院	1		1
7. " 就労	8	1	9
8. " 精神疾患等	3	1	4
9. " 放任・怠惰	2	1	3
10. " 虐待・酷使		1	1
11. 棄児			
12. 養育拒否	1		
13. 破産等の経済的理由	2		
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他			
16. 不詳			
合計	19	4	23

6. 在園期間 (R4.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
1	7	2	10	3	23

7. ショートステイ受入状況

実績なし

8. 一時保護の受入状況

実績なし

9. 栄養摂取状況

◎嗜好調査 …………… アンケート調査実施 (年1回)

- 食費 1日当り 800円 (原材料費)
- エネルギー 幼児 (3~5歳) 1,404 Kcal (基準 1,213 Kcal)  
学童 (6~18歳) 2,270 Kcal (基準 2,278 Kcal)
- たん白質 幼児 (3~5歳) 47.2 g (基準 39.4~60.7 g)  
学童 (6~18歳) 75.6 g (基準 74.0~113.9 g)





入園児童の出身地別の推移（臨海学園）

児童年	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			合計		
	4	3	2	4	3	2	4	3	2	4	3	2	4	3	2	4	3	2	4	3	2			
中	北茨城市	4	4	4	4	4	5	6	5	4	4	25	26	27	28	29	30	30	33	33	33	55		
	高萩市	3	2	1	1	1	2	2	2	3	3	6	3	3	3	3	3	4	4	4	4	40		
	日立市	7	10	11	10	9	11	6	5	1	3	2	3	2	3	3	3	4	95	95	6	66		
	ひたちなか市	4	4	4	4	4	4	2	4	4	3	7	6	5	5	6	6							
	常陸太田市	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	31						
	常陸大宮市																						2	
	空閑市																						-	
	小美玉市	3	3	3	3	2	1	1	1				3	3	1	1	1	1	26				2	
	那珂市																							-
	神栖市	5	3	3	4	4	2	1											22				-	
	水戸市	15	13	13	14	11	9	9	8	7	6	5	6	8	7	8	139						-	
	鹿嶋市	2	3	3	2	2	2	1	1										16				-	
	相模原市																						-	
	相模原市	4	2	2	2	2	3	1	1	1									18				9	
	行方市	2								1	1						1	1	5				1	
大洗町	4	4	4	4	4	4	3	3	2	2								34				6		
土浦市	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1								15				4		
千葉県																							20	
合計	58	54	53	53	49	46	39	34	30	21	26	25	25	25	25	29	567					6		
土	土浦市	4	5	5	5	6	6				2	2	2	1	1	1	39					1		
	石岡市	1	1	1	1	1	1	1	1								8						7	
浦	鹿嶋市	3	2	1	1	2	2																4	
	取手市																						-	
児	牛久市																						-	
	つくば市	1	1	1	1	1	1				2	2	3	3	3	18						-		
童	つくばみらい市	1	1	1	1	1	1										6					-		
	かずみがうら市																						3	
相	稲敷市																						-	
	守谷市																						-	
歳	鹿嶋市	1																					-	
	筑西市	3	3	3	3	3	2											17				-		
所	水戸市	3	2	2	2	2																	-	
	行方市									2								2					-	
小計	13	16	14	14	16	15	1	1	1	2	4	4	5	4	4	113						-		
筑	常総市	1	1	1	1	1																	-	
	古河市	3																					-	
西	古河市	2	3	2	2	2	2				1	1	1	1	1	18						-		
	結城市																						-	
児	下妻市																						-	
	坂東市	2	1	1	1	1												6				-		
童	桜川市																						-	
	八千代町																						-	
相	境町																						-	
	五霞町																						-	
歳																							-	
																							-	
小計	8	5	4	4	4	4	3				1	1	1	1	1	33						-		
合計	79	75	71	71	69	64	40	35	30	23	31	30	31	30	31	34	713						57	

入園理由別総計表（臨海学園）

入園理由	昭和41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計
父または母の死亡・行方不明	41	15	15	9	10	17	14	14	15	16	18	18	20	19	22	19	17	17	17	14	14	323
離婚・放任・冷遇		7	14	13	20	18	17	14	18	19	16	16	15	12	10	9	14	15	13	14	19	293
病気・貧困		8	13	9	9	8	7	7	8	9	11	7	7	8	9	5	6	9	12	13	15	180
父母死亡		2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	2	2	2	2	2	2	33
父母家出等行方不明		5	6	11	6	2	1	4	6	8	8	9	7	11	7	8	3	4	9	4	5	124
その他環境不遇	41																					41
教護児		6	5	4	5	4	2	3	4	3	1	1										43
長欠不就学		2	3	1	1				3	3	3	3	2	1								19
触法児		1	3	5	2	1	3	3	1	1												21
その他															1	1	2	2	2	1	4	13
計	50	46	60	51	52	51	45	46	53	60	58	55	54	54	52	45	44	49	55	51	59	1,090

入園理由	昭和62	63	平成		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	合計
父または母の死亡	8	5	4	3	4	3	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	3	3	4	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	72	
行方不明	8	6	6	7	9	7	3	7	5	5	2	1	6	12	12	13	14	13	14	13	14	12	12	11	8	8	8	8	8	215	
離婚・就労	16	14	10	8	10	9	10	8	12	13	13	14	21	21	19	21	20	21	22	22	23	21	20	19	12	11	11	11	410		
傷病・入院	11	10	15	13	14	16	21	20	15	13	12	10	11	12	18	9	7	6	5	5	4	4	4	4	2	2	2	2	262		
精神疾患	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	6	6	4	4	79		
受刑	2	4	2	3	4	9	9	10	8	8	7	12	16	15	15	10	7	6	6	6	6	6	5	6	5	6	2	1	178		
虐待・被冷遇	9	6	4	6	5	4	4	4	4	9	12	14	18	20	18	19	20	18	14	13	14	13	14	18	17	16	9	7	302		
その他	1												2	5	6	7	4												50		
計	54	46	45	42	45	47	55	50	51	51	53	51	70	85	94	89	81	72	69	69	70	71	69	64	40	35	1,568			-	

※昭和62年より集計項目変更

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	合計
父又は母の死亡	1	1	3	2	2	1	1	1	1																								12
行方不明	8	3	3	3	2	2	2	2	2																								25
離婚																																	0
不和				1	1	1	1	1	1	1																							7
拘禁			2	2	3	3	3	3	3	1																							17
入院	1	1		2	2	2	2	2	1	1																							10
就労	10	11	13	12	12	11	11	10	9																								99
精神疾患	4	4	6	5	5	6	8	8	4																							50	
放任・怠惰	3	2	1	3	2	2	3	5	3																								24
虐待・酷使	2	1	2	2	2	2	3	3	1																								18
養育拒否	1									1																							0
破産等の経済的理由										2																							2
児童の問題による監護困難																																	0
その他																																	0
不詳																																	0
計	30	23	31	30	31	30	34	34	23																							266	

※平成25年度より集計項目変更

## 9. 児童養護施設 同仁会子どもホーム

### 1) 令和4年度運営計画

令和3年度も新型コロナウイルスの猛威の収束を見ることはできず、年明けには変異株オミクロンの流行で、今なお子どもたちは窮屈な生活を強いられています。この状況は令和4年度も大きく変わることなく続きそうです。子どもたちとは今しばらくの間、我慢と工夫の生活を続ける必要があります。

子どもたちの暮らしでは、1名の自立退所、1名の家庭復帰がありました。その一方で2名新たな入所を迎えましたが、高校生の女子が入所2か月でSNSを通じた性問題を起こす等、現代の難しい背景を抱える児童の支援に、職員も悩まされることとなりました。その他でも高齢児に問題が多く、今後も慎重な支援が必要です。

令和4年度は、ユニット棟の増設も叶いようやく個室が確保されることとなり、今後の施設養育に必要な最低条件が整いつつあります。令和6年度には、現ホーム棟の生活を地域分散化を進めなければなりません。その為の人材育成と具体的計画を進める1年となりそうです。

求められる高機能化と地域化に向けて、インケアの強化とアウトリーチ支援、地域分散化の為の計画と人材育成、そして茨城県が進める里親養育支援への積極的な参画といったことに力を入れて参ります。

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) 治療的個別ケアの充実
- (2) 困難ケースの問題発生時における支援体制強化
- (3) 児童家庭支援センターとの連携による地域支援の展開
- (4) 里親養育支援への積極的参画

#### 2 組織体制の強化

- (1) 3グループ体制の確立
- (2) 地域小規模化に向けた具体的検討
- (3) 児童家庭支援センターとの更なる連携強化
- (4) 第三者評価の受審

#### 3 人材育成

- (1) 職員研修の計画的実践の継続
- (2) 3グループ化におけるリーダー職員およびリーダー候補職員の育成
- (3) 新たな研修体制の確立

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 入所児童の確保と市町村ショートステイの受け入れ推進
- (2) 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
- (3) 省エネの実践とエコロジーの推進

### 2) 運営の概況

令和1年度は、1名の自立退所、1名の家庭復帰がありました。県外へ家庭復帰した児童は、地域の多くの友人達も見送りに駆け付け、涙ながらの退所となりました。同仁会子どもホームでの暮らしがその子の人生にとってとても大切な年月として残っていくであろうと感じさせ、私たちの日々の援助と同様に、地域に温かく見守られていることの大切さを目の当たりにしたシーンでした。一方で自立退所した児童は、年末に補導されるという問題行動があり、予定していた企業に就職する事が出来ず、内原のアフターケア相談所あいびーの支援を受けなんとか退所に漕ぎ着けましたが、就労を続けることが出来ず現在も支援中です。その他、新入所児がインターネット経由で性問題を起こすなど、問題も多く見られた1年でした。

しかし、寄せられる寄付と地域の困窮家庭を繋ぐアウトリーチ活動を児童家庭支援センターと協働ですすめ、在宅支援との連携による早期支援も確実に進んできました。この数年図ってきた児童家庭支援センターとの連携強化が、こうした事業において実を結んできた感があります。児童養護施設の多機能化に向けての第一歩として重要な事業となりつつあります。

ハード面において、新型コロナ対策の補助金によってユニット棟の個室化が叶いました。長年の問題であった居住環境について一部改善されました。今後は、地域小規模化に向けて次の計画を進めていかなければなりません。コロナ禍の行方はまだ分かりませんが、職員のアイディアとエネルギーで令和4年度も子ども達と共に暮らして参りたいと存じます。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

子ども一人ひとりが安心して生活できる人間関係と安全な環境作りを目指し、子ども自らが主体的に生活に参加できるように支援していきます。

情緒の安定を図り、発達段階に応じた個別支援、自立に向けた生活力と学習の向上を図ります。また、子どもと保護者に寄り添いながら家庭支援を充実していきます。

#### ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

##### 1. 布施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 将来社会的自立ができる。

##### 2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

##### 3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

#### ハ) 処 遇 目 標

##### 1. 児童処遇の向上

- (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活が送れる)
- (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
- (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
- (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
- (5) 自立支援 (自立計画に基づいた援助)
- (6) 家庭との連携 (定期的な連絡・面会・帰省)
- (7) 子ども会議

##### 2. 業務に関わる事務処理の構築

3. 安全・健康管理の徹底
4. 関係機関・団体・地域との連携強化
5. 職員の援助技術の向上

#### ニ) 学 習 指 導

##### (1) 目 的

- ・基礎学力を養成する。学習意欲を高め、自主的な学習習慣を身につける。

##### (2) 内 容

- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
- ・児童と一緒に学習計画を作成し、自主的な学習につながるようにする。
- ・計画的な進路相談の実施
- ・生涯教育(書道・音楽等)の実施

#### ホ) 環 境

##### (1) 目 的

- ・子どもが安全に生活できる環境を作る。

##### (2) 内 容

- ・手洗い・うがいの習慣化
- ・入浴指導を行う。
- ・定期保菌検査の実施
- ・住環境を中心とした整理整頓、環境整備
- ・災害時対策及び訓練の実施
- ・交通安全指導

へ) 情 操

- (1) 野菜の栽培
- (2) 花木類の育成
- (3) 趣味の教室（工作・フラワーアレンジメント・菓子作り、調理等）

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職員会議

- (1) 全体会議 … 月 1 回
- (2) 支援検討会議 … 月 1 回
- (3) 給食会議 … 月 1 回
- (4) 施設内研修会 … 月 1 回
- (5) グループ会議 … 月 2 回
- (6) 連絡会議 … 毎 日
- (7) まるなか会議（性教育） … 月 1 回
- (8) リービングケア会議 … 年 3 回
- (9) 運営会議 … 月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 ……………… 月 1 回
- イ. 便所消毒 ……………… 週 1 回
- ウ. 寝具消毒 ……………… 随 時
- エ. 食器消毒 ……………… 毎 日
- オ. 残留塩素調査 ……………… 毎 日

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断
- イ. 身体測定
- ウ. 職員保菌検査 ……………… 月 1 回（0157含む）
- エ. 児童保菌検査 ……………… 年 2 回

(3) 安 全 管 理

- ア. 漏電検査
- イ. 自動火災報知器の検査 …… 令和3年9月1日、令和4年3月1日
- ウ. 火災通報装置の検査 …… 令和3年9月1日、令和4年3月1日
- エ. 特定小規模施設用自動火災報知設備検査 …… 令和4年3月1日

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施（月 1 回）
- イ. 登下校時見送り（小学生、学校指定箇所まで）
- ウ. 交通安全指導

5) 児童処遇の計画

◎学習支援について

1. 学習時間

小学生 （平日）基本的に帰園後。児童との話し合いで随時変更あり。  
（休日）午前中

中学生 基本的に1時間以上行う。学習時間については児童の自主性に任せ、その日の担当職員と決める。

2. 場 所

食堂、学習室、居室、集会室

◎生活支援について

生活を共に作るという基本方針に沿って、職員の側から押しつけるのではなく、子どもと話し合いを持ちながら生活プログラムを作成し、一人ひとりがかげがえのない存在であるということを自覚できるように支援する。

1. 職 務 分 掌

- (1) 教育費関係 (2) 給 食 (3) 学用品 (4) 日用品 (5) 被服・寝具
- (6) 教養娯楽 (7) 保健衛生 (8) 保育材料 (9) 防災関係 (10) 家庭関係
- (11) 法人委員会 (12) 関係団体等委員 (13) 園車管理 (14) 安全・保守点検
- (15) 実習生、ボランティア受入

2. 生活指導訓練費について
  - ・毎月1日にお小遣いとして支給する。児童の自主性を損なわないように留意しながら、金銭の管理について年齢相応に経験させる。
  - ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。(中・高生は各自、小学生は職員と一緒に)
3. 誕生日について
  - ・誕生プレゼント
  - ・誕生会  
児童の誕生日の夕食時に行う。メニューは誕生者の希望をとり、ケーキを囲んでお祝いをする。
4. お年玉について
  - ・全児童を対象に支給

5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起 床	起 床	14:00	帰 園	
7:00	洗 面・朝 食	洗 面	15:00	おやつ	おやつ
8:00	登 園・登 校	朝 食 学 習	16:00	学 習	
9:00			17:00		
10:00			18:00	夕 食	夕 食
11:00			19:00		
12:00	昼 食	昼 食	20:00	入 浴	入 浴
13:00			21:00	就 寝(小) 自主学習	就 寝(小) 自主学習
			22:00	就 寝(中・高)	就 寝(中・高)

6) 令和3年度行事内容

月	日	行 事
4	5	進級進学を祝う会
	11	いちご狩り招待(ぐるーん様)
5	2	BBQ
6	18	ホテル観賞会(里山文化ネットワーク様)
7	22	レク(シビックセンター)
	24	レク(ボウリング)
	26	レク(買い物)
	28	レク(きららの里)
	31	キャンプ①(願成寺8/2まで)
8	2	キャンプ②(願成寺8/4まで)
	12	屋外料理(かまどDEチャーハン)
	15	未帰省児レク(BBQ・花火)
	18	水あそび
10	17	ホームパーティー(外部招待無)
11	3	ブルーベリージャム作り(里山ネットワーク様)
12	19	卒園生お話し会・テーブルマナー
	24	クリスマス会
	26	餅つき・そば打ち(北方そばの会様)

7) 令和3年度資料

1. 職員の研修

	ホーム長	事 務	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	心 理 士	計
県・社 協	3		9	5	0	1	18
団 体	5	3	12	18	0	7	45
法人・施設	13	6	151	134	13	14	331
計	21	9	172	157	13	22	394

2. 児童構成 (R3.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生						中学生						高校生			他	計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3					
男				1	1	1	1				1	1	1	1		2							10
女					1	1		1			1	1		2	1	1							9
計				0	1	2	2	1	1	0	0	2	2	1	3	1	3	0	0				19

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[ ]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	19	19	19	19	19	19	19	20	20	21	21	21	236
入所 うち( )は初日入所								(1)	1				0
退所 うち( )は初日退所												2	2
月末在籍	19	19	19	19	19	19	19	20	21	21	21	19	235

4. 入園理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁	2	2	4
6. " 入院	1	1	2
7. " 就労		1	1
8. " 精神疾患等	4		4
9. " 放任・怠惰	1	1	2
10. " 虐待・酷使	3	4	7
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難		1	1
15. その他			
16. 不詳			
合計	11	10	21

5. 退園理由別表

退園理由	男	女	計
1. 自立(就職)	1		1
2. 進学			
3. 措置変更			
4. 家庭引取り		1	1
合計	1	1	2

6. 在園期間(R3.3.31現在)

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
7	3	4	2	3	19

7. 栄養摂取状況

◎嗜好調査 …………… ・毎月、選択おやつや誕生月の児童に対し実施。また、普段より子ども の希望を取り入れたメニューを実施している。

・年1回、記述式アンケートの実施(全児童・職員を対象に実施)

1. 食費 1日当たり 480円(原材料費)
2. 熱量 2,097Kcal(基準 1,812Kcal)
3. たん白質 82.1g(基準 51.4~77.1g)

※学校給食の平均値を含む





入園理由	平成13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死亡								1	1	1	1	1	5
" 行方不明	5	5											10
" 離婚・就労	3	3	2	3	1	2	5	3	1	1	1	1	26
" 傷病・入院	1	1				1	1	1					5
" 精神疾患	2	2	1	3	9	7	7	6	6	7	6	7	63
" 受刑	6	8	7	6	8	7	10	8	8	9	7	7	91
" 被虐待・被冷遇	2	11	11	12	12	9	9	11	10	11	10	9	117
その他の	8	8	6	7	1								30
小計	27	38	27	31	31	26	32	30	26	29	25	25	347

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	合計
父または母の死亡	1	1								2
" 行方不明										-
" 離婚										-
" 不和										-
" 拘禁	8	8	3	2	2	4	4	4	4	43
" 入院							2	2	2	6
就労	1	1	1	1						4
精神障害	7	7	7	6	6	4	4	4	2	48
放任怠惰					1	1	1	2	2	7
虐待	6	6	7	14	14	12	10	7	6	82
棄児										-
養育拒否	2	2	1	1	2	2	3	2	2	17
破産等経済的理由										-
児童の監護困難							1		1	2
その他の				1	1	3		2	2	9
不詳										-
小計	25	25	24	27	26	24	25	23	21	220

※平成25年度より集計項目変更

## 10. 児童養護施設 内原和敬寮

### 1) 令和4年度運営計画

昨年度は年間5名の入所、5名の退所がありました。入所から日が浅い子どもたちが多く、職員と子どもたちとの関係構築を図るには時間を要しますが、職員間で情報の共有を図りながら丁寧な支援ができるよう職員資質の向上に努めていきたいと思っております。

また、子どもたちとの関わりだけでなく、生活する環境を整理整頓し心地よさが実感できる空間を提供していきたいと思っております。

年間を通して市町村からのショートステイの依頼が多くあります。コロナ渦だからこそ利用を希望するケースもあるということ念頭に置き、感染予防をしながら私たちの専門性を地域に還元していきたいと考えています。

コロナ渦において様々な制限をしながら生活をしてはいますが、その中で出来ることを考え、子どもたちが安心できる環境と楽しみが感じられる日々を提供していきたいと思っております。

#### 1 福祉サービスの質の向上

- (1) 感染症対策と行事の遂行
- (2) 自立支援計画における本人との振り返りと目標設定
- (3) 年齢に応じた性教育の実施
- (4) 家庭復帰と家族再統合に向けての家庭調整の充実
- (5) 里親支援の充実
- (6) 子育て支援短期利用事業の受け入れ

#### 2 組織体制の強化

- (1) 自己評価の実施
- (2) グループ相互の連携強化と職員間での報告、連絡、相談の徹底
- (3) 児童家庭支援センターあいびーとの連携体制強化
- (4) 関係機関（学校、児童相談所等）との連携強化

#### 3 人材育成と人材の確保

- (1) 法人内外の研修への積極的参加
- (2) 人事考課の実施
- (3) 実習生、ニーズに合ったボランティアの積極的受け入れ

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算執行
- (2) コスト削減、節約意識の徹底
- (3) グループウェアの導入の推進

#### 5 食育の推進及び環境問題対策

- (1) 調理体験、作物栽培体験の充実
- (2) ゴミの分別と資源の有効利用の徹底

### 2) 運営の概況

昨年度は入所児童4名、退所児童が6名で、退所した児童のうち4名が家庭復帰、2名が就職しました。

昨年度もコロナ渦において外出を伴う行事は実施しませんでした。施設内において映画鑑賞会や球技会を予定したり、キャンプの代わりにホールでお泊まり会を実施して楽しみました。

学校生活においては小学校での不応適があり、登校から下校するまで一日中付き添うということ毎日続けてきました。刺激の多い集団生活の中で学校と連携を図りながら個人にあった支援をすることの難しさを感じており、学校との連携をこれまで以上に図る必要性があると考えています。

また、2月から3月にかけて子どもたちや職員がコロナに罹患し、日常の生活を送るのですら難しい状況になりました。こうした状況を最小限に食い止められるよう、予防と対応策を更に検討していきたいと思っております。

最後に、児童家庭支援センターあいびーとの連携強化を図りながら、地域のニーズに応えられる施設作りを目指していきたいと思っております。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

支援の基本は、子どもの目線に立ち、子どもの意思を尊重して自立を促すこととし、家庭的な支援の実現を目指しています。具体的には、子どもの生活基盤と生活を支援する職員のグループを3つに分け、更に6つのユニットに分けて兄弟関係を重視した少人数の縦割りグループによる支援を行います。また、生活上の約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がけて、子どもたちの安定した生活につなげています。

一方、学習面では学習ボランティアを活用し、小中学生の基礎学力の向上、高校受験に向けての学習支援を行います。希望する中学生は地域の塾へも通っています。その他、地域子ども会やスポーツ少年団への参加をするなど、地域の中での運営・支援を心がけています。

#### ロ) 基本的目標

○ 法人理念・綱領「合掌深敬の心」を実践し、子どもが将来社会的自立できるよう援助・支援する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)

- (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
- (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
- (3) 将来社会的自立ができる。

3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)

- (1) 目標に向かって努力する。
- (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
- (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

○ 「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS(笑顔)・G(挨拶)・N(名前)・T(感謝)を実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

1. S (Smile) 笑顔

常に笑顔で接する。(和顔愛語)

2. G (Greeting) 挨拶

常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)

3. N (Name) 名前

必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)

4. T (Thanks) 感謝

子どもに「ありがとう」と言える場面を作る。(あなたを必要としています)

#### ハ) 処 遇 目 標

○ 児童処遇の向上

- (1) 安心して落ち着いた生活が送れるよう支援する。
- (2) 規則正しい生活リズムを作れるよう支援する。
- (3) 個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする。
- (4) 基礎学力の向上、高校進学等への進路の支援をする。
- (5) 自立支援計画に基づいた支援を行う。
- (6) 早期の家庭復帰を目指し、家庭との関係を密にするため、児童相談所と連携し定期的な連絡、面会、帰省等を行う。
- (7) 自治会活動の推進。

#### ニ) 学 習

(1) 目 的

・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。就職・進学への支援。

(2) 内 容

- ・落ち着いて学習する習慣(準備、意欲、集中力)を養う。
- ・基礎学力を養成し、学習効果を高める。
- ・子ども一人ひとりの学力、適正に応じた、計画的な就職・進学への支援の実践。(個別面談、学習相談、進路相談)
- ・学習塾の活用(中高生の希望者を対象とする)

- ・学習ボランティアの活用

#### ホ) 環境 (安全・保健・環境)

##### (1) 目的

- ・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。

##### (2) 内容

- ・清潔感を養う (手洗い・歯磨きの習慣化。居室の整理整頓、清潔な服装、入浴の徹底等)
- ・定期保菌検査の実施
- ・毎日の清掃の徹底
- ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施
- ・交通安全の大切さを知る (自転車の乗り方の指導、通学路の確認等)
- ・草花の栽培

#### 4) 運営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

##### 1. 職員会議

- (1) 全体職員・給食会議 …… 月 1 回
- (2) 食育会議 …………… 月 1 回
- (3) ケース・職員会議 …… 月 1 回
- (4) グループ長会議 …… 月 2 回
- (5) 連絡会議 …………… 毎日午前・午後

##### 2. 保健衛生及び安全管理

###### (1) 環境衛生

- ア. 室内の消毒 …………… 毎日
- イ. 便所消毒 …………… 毎日
- ウ. 寝具消毒 …………… 随時

###### (2) 身体衛生

- ア. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施  
(本園嘱託医により) … 6月1日 (未就園児)、3月26日
- イ. 身体測定 …………… 月 1 回
- ウ. 散髪 …………… 随時
- エ. つめ切り …………… 週 1 回
- オ. 下着交換 …………… 毎日
- カ. 入浴 …………… 毎日
- キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
- ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

###### (3) 安全管理

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回)
- イ. 火災報知器の検査 (水戸ホーチキ株) …………… 令和3年7月14日、令和4年1月11日

###### (4) 児童の安全

- ア. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回) ・不審者対応 (年 2 回)
- イ. 登下校時の送迎 (小学生)
- ウ. 交通安全指導
- エ. 環境整備 (毎月末の土曜日)

#### 5) 児童処遇の計画

##### ◎学習支援について

###### 1. 平日 (日曜日はなし)

小学生：帰園後

中高生：自主学習 (個人のレベルに合わせて)

中高生の希望者においては塾を利用する。

###### 2. 場所 …… 居室・ダイニング

###### 3. 学校の準備、後片付けの徹底。

◎生活支援について

子どもたち一人ひとりの個性を大切に、生活の中に家庭的な雰囲気が感じられ、安心できる場所を与えられるよう、個別に月間生活目標を作成し、支援を行う。また、地域社会の一員として自立し、自信を持って生活ができるよう、長期計画的な視点で自立支援計画を作成する。

1. 児童の小遣いについて（毎月1日支給）
  - ・小遣い帳に記入し、金銭管理をする。
  - ・貯金の励行（通帳の作成）
  - ・用途は自主性を尊重し、計画的に自由に使えるよう配慮する。
2. 誕生日について
  - ・誕生日プレゼント  
当日に渡す。
  - ・誕生会  
各ユニットで誕生者のいる日にその都度行い、誕生者の希望するメニューを準備し祝う。
3. お年玉について
  - ・お年玉 支給対象：未帰省児とするが、その都度検討する。
4. 子ども会議の育成
  - ・児童の自主性や主体性を養うことを目的に、グループ毎に行う。
  - ・児童と職員と一緒に年間行事等の協議・検討を行う。
  - ・意見箱を設置する。
5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:00	起床・洗面 朝食		16:00	帰園(小学生) 学習	
7:00		起床	18:00	夕食	夕食
8:00	登校(小学校7:10) 登園(幼稚園7:40) 登校(中学校7:40)	朝食	19:00	テレビ視聴 入浴	テレビ視聴 入浴
12:00	昼食 帰園(幼稚園)	昼食	20:00	就寝(幼児)	就寝(幼児)
14:00			21:00	就寝(小学生) 自主学習	就寝(小学生) 自主学習
15:00	おやつ	おやつ	22:00	就寝(中高生)	就寝(中高生)

6) 令和3年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身 体 測 定	16	7	11	11	6	4	3	4	14	25	12	24
保 菌 検 査 ( 児 童 )						2				5		
保 菌 検 査 ( 職 員 )	1	6	3	1	5	2	7	4	2	5	2	2
安 全 管 理 点 検	28	26	23	21	25	22	27	24	15	25	22	16
非 常 時 避 難 訓 練	24	29	26	17	28	25	30	27	18	29	26	12

7) 令和3年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	5	入園入学を祝う会 誕生会 (太陽、青空)	10	3. 18. 28	太陽、青空誕生会 青空外食 おやつ作り
	5. 9. 22. 23			22. 23	
5	9	母の日祝い バーベキュー 誕生会 (太陽、青空) 大地外食	11	6. 23. 26	太陽、青空誕生会 太陽外食 映画鑑賞会 おやつ作り
	3			21. 23	
	12. 17			20	
6	29. 30	誕生会 (大地) 青空外食 父の日祝い おやつ作り (パインケーキ)	12	8. 11. 22	大地、青空誕生会 クリスマス会 餅つき
	3. 20			25	
	16. 19			28	
7	4. 5. 8. 20	誕生会 (大地、青空) 太陽外食 幼児レク	1	2. 3	初詣 誕生会 (大地、太陽、青空) 大地外食
	25. 26			9. 26. 28	
	30			29. 30	
8	1~2	宿泊レク (小学生男子) 宿泊レク (小学生女子) 宿泊レク (中高男子) 宿泊レク (中高女子) 映画鑑賞会 誕生会 (太陽)	2	9. 15. 23	大地、太陽誕生会 節分 青空外食
	3~4			3	
	12~13		3	11. 16	ひなまつり 青空、太陽誕生会 おやつ作り 太陽外食 旅立ちを祝う会
	15~16			7. 14. 26	
	14			12	
26	9	21. 26	27		
4. 2		26. 27			
9	26. 27	誕生会 (大地、青空) 大地外食 おやつ作り	3	27	
	26				

8) 令和3年度資料

1. 職員の研修

	園 長	事 務	指 導 員	保 育 士	セラピスト	調理員等	計
県・社 協			4	1			5
団 体	3	2	14	5	1		25
法人・施設	11	2	128	112	12	33	298
計	14	4	146	118	13	33	328

2. 児童構成 (R4.3.31現在)

区分	未 就 学 児						学 生						中 学 生			高 校 生			他	計	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3			
男				2		1	2	1		4		1	2		2		1				16
女					1			2	3	1	2	1	2	2	5					1	20
計				2	1	1	2	3	3	5	2	2	4	2	7		1		1		36

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[ ]内は停止

区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	38 [3]	36 [1]	35	36	36	36	37	38	38	38	39	39	446
入 所 うち( )は初日入所			1			1	1			1			4
退 所 うち( )は初日退所	2	1										3	6
月末在籍	36 [1]	35	36	36	36	37	38	38	38	39	39	36	444

4. 入所理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明			
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁			
6. " 入院			
7. " 就労	1		1
8. " 精神疾患等	2	1	3
9. " 放任・怠惰	3	6	9
10. " 虐待・酷使	12	12	24
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由		2	2
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他	2	1	3
16. 不詳			
合 計	20	22	42

5. 退所理由別表

退 所 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）	2		2
2. 進学（大学・専門学校）			
3. 措置変更			
4. 家庭引取り	2	2	4
合 計	4	0	6

6. 在 籍 期 間（R4.3.31現在）

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
4	14	8	7	3	36

7. 一時保護入所状況

実人数 2名  
延べ日数 19日

8. ショートステイ受入状況

実人数 18名  
延べ日数 138日

トワイライトステイ受け入れ状況

実人数 0人  
延べ日数 0日

9. レスパイト受け入れ状況

実人数 0名  
延べ日数 0日

10. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施  
年1回記述アンケートにより実施

1. 食 費 1日当り 698 円
2. 熱 量 2,257 Kcal（基準 2,110 Kcal）
3. たん白質 82.8 g（基準 68.6g～105.8g）  
（学校給食の平均値含む）



入園児童の出身地別の推移（内原和敬寮）

児相年 度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計	児相年 度	令和 2年度	令和 3年度	合計	
																						15年度
中																						
北茨城市																						
高萩市																						
日立市	2	1																				
ひたちなか市	2	2																				
常陸太田市																						
常陸大宮市																						
笠間市																						
那珂市	1	3																				
小美玉市																						
東茨城郡																						
西茨城郡																						
那珂郡	2	2																				
鹿嶋郡	1																					
行方郡																						
水戸市	1	1																				
鹿嶋市	4																					
埼玉県																						
潮来市	2																					
小計	14	15	14	16	17	19	25	28	25	19	21	23	21	22	26	24	24	324				
土	8	6	14	7	7	7	3	2	1									8				16
石岡市																						
龍ヶ崎市																						
取手市	1	1																				
牛久市	2	2																				
つくば市																						
つくばみらい市	1	1																				
かずみがうら市	1	1																				
稲敷市																						
守谷市																						
阿見町	1	1																				
河内町	1	1																				
美浦村																						
利根町																						
横浜市	4	4																				
小計	14	15	20	20	20	18	18	9	12	11	13	16	17	20	14	14	10	232				
下																						
水海道市	1	1																				
下館市	2	2																				
古河市	2	2																				
結城市																						
下妻市	3	3																				
岩井市	8	10																				
真壁郡	2	2																				
結城郡																						
猿島郡	1	8																				
小計	13	28	47	49	45	44	50	44	44	39	41	47	45	47	45	40	42	669				
小計	28	58	99																			
合計	30	42	30	42	30	42	30	42	30	42	30	42	30	42	30	42	30	42	30	42	30	42

入園理由別総計表（内原和敬寮）

入園	理由	平成 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	合計
父または母の死	死亡			1	1	1					1	4
"	行方不明	4	9	7	8	2	2	2	2	2	2	40
"	離婚・就労					2	1	1				4
"	傷病・入院	2	10	8	6	7	6	7	4	3	2	55
"	精神疾患	4	2	3	4	2	4	8	12	9	8	56
"	受刑	5	15	9	8	7	7	5	1	1	1	59
"	被虐待・被冷遇	12	17	17	19	19	18	21	20	21	19	183
その他		14	5	2	3	5	6	6	5	4	1	51
小計		41	58	47	49	45	44	50	44	40	34	452

入園	理由	平成 25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	合計	
父または母の死	死亡	1	1	1	2	2	1	1			9	
"	行方不明	2	2	2	1	1					8	
"	離婚										-	
"	不和										-	
"	拘禁	3	2		1	1	1	1			9	
"	入院	2	2	2							6	
"	就労	1	2	1	3	4	4	2	1	1	19	
"	精神障害	8	7	7	7	6	5	3	3	3	49	
"	放任怠惰	9	11	9	11	13	14	11	10	9	97	
"	虐待	12	13	11	13	12	12	22	25	24	144	
棄児											-	
養育拒否		2	2	2	2						8	
破産等経済的理由								2	2		4	
児童の監護困難		1									1	
その他の		1	4	10	7	6	3	2	2	3	38	
不詳											-	
小計		41	47	45	47	45	40	42	43	42	-	392

※平成25年度より集計項目変更

## 1 1. 児童養護施設 つくば香風寮

### 1) 令和4年度運営計画

昨年度は、年間3名の入所と3名の退所がありました。一昨年度に引き続き、新型コロナの影響により、コロナ対策を日々更新する一年となりました。子どもたちの生活も感染予防のために、県外に行く行事がなくなるなど、制限の多いものとなっています。学校についても、オンライン授業が増え、職員の働き方においても、会議や研修はほとんどがオンラインとなっています。感染予防や効率化という観点からは、オンラインは非常に有効ではありますが、人と直に触れ合うことでしか得ることのできない、大事なものを得る機会を失っているような気もします。予防のためのリスクマネジメントと、実際に感染者が出たときのクライシスマネジメントをしっかりとしながら、子どもの人格形成のための経験を最大限保障できるよう、支援していきたいと考えております。

#### 1 施設提供サービスの向上

- (1) 新型コロナ対策とユニットケアにおける家庭的養育の進化
- (2) アセスメントの強化による子どもと家族の理解
- (3)ペアレントトレーニングを取り入れた養育技術の標準化
- (4) 施設の強みを活かした専門的地域貢献
- (5) フォスタリング専門員と里親支援専門相談員の協働による里親支援活動
- (6) 調理の完全ユニット化を目指した取り組み

#### 2 人材育成

- (1) 施設内外の研修の計画的参加（施設・職員の課題に即した研修計画）
- (2) 人事考課制度の継続実践（人事考課の意義を職員全体で共有する）
- (3) 人材育成のための中長期計画を作成
- (4) 実習生の積極的受け入れと実習プログラムの体系化に向けた検討
- (5) 法人内他施設との職員交換研修

#### 3 組織強化

- (1) 職員のチームワーク強化
- (2) 施設内虐待に関する理解と予防への取り組み
- (3) 地域小規模化に向けた取り組み
- (4) 人材定着のための業務改善と職場環境づくり
- (5) 自己評価の実施と公表

#### 4 財政基盤強化

- (1) 計画的予算執行と予算執行状況の正確な把握
- (2) コスト意識、節約意識の徹底
- (3) グループウェア導入の推進

### 2) 運営の概況

昨年度は入所が3名、退所が3名ありました。うち一人は里親さんのもとで暮らすことになりました。昨今は国や県の方針として、社会的養育における里親委託の推進が行われています。里親さんのもとで子どもが安心して暮らせるよう、そして、里親さんが安心して子どもを養育できるように、つくば香風寮では、里親支援にも力を入れております。

また昨年度は、新型コロナウイルスが終息することなく、引き続き子どもたちの生活に大きな影響を及ぼしました。つくば香風寮においても、子どもが一人感染してしまいましたが、子どもと職員の頑張りもあり、そこから感染の拡大を防ぐことができました。

つくば香風寮の課題としては、依然として職員の定着があり、昨年度は年度途中の退職が1名、年度末の退職が2名ありました。

職員がお互いに尊重し合い、大変なことがあっても支え合うことのできるチーム、そして、ありのままの自分を安心して表現できる、温かいチームを職員一丸で作っていききたいと考えております。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

子ども達の生活支援において「受容・共感」「支持」「教示」を援助の基本とする。安心と安全の維持に最大限努力し、その子ども一人ひとりの健全な自己実現の助けとなる自立援助を目指す。また、子ども達の意味や選択が反映されたより家庭的な生活支援の実現を目指す。さらに、

子ども達の生活支援を地域の暮らしの中で実践し、それらを通して権利擁護意識の啓発、地域児童福祉への専門性の還元を視野に入れながら、地域と一体となった施設運営を目指す。

具体的には、子どもの生活基盤を4つのユニットに分けた少人数の縦割りで支援し、生活を支援する職員のグループを2つとした支援を行う。また、生活上のきまりや約束事を子どもと職員が一緒に話し合ったりするなど、より密接な関係づくりを心がける。さらに地域子ども会やスポーツ少年団への参加など地域の中で運営・支援していく。

## ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、子どもが将来、社会的自立ができるよう援助指導する。

1. 布 施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)
  - (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
  - (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
  - (3) 他と協調する中で社会性を育てる。
2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
  - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
  - (2) 基本的生活習慣を身に付ける。
  - (3) 将来、社会的自立ができる。
3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
  - (1) 目標に向かって努力する。
  - (2) 趣味やスポーツ活動に参加し、豊かな人間性を養う。
  - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活が送れる。

## ハ) 処遇目標

### 1. 児童支援の向上

- (1) 日常生活支援の徹底 (社会的、知的及び情緒的自立ができる子どもの育成)
- (2) 個性尊重 (その子の個性を尊重し、固有の良い面を伸ばす。)
- (3) 基本的生活習慣の獲得 (基本的生活習慣を獲得しその維持と自立を目指す。)
- (4) 落ち着いた生活維持 (寮内生活の基本ルールの遵守、自分を大切にし他人の権利を侵害しない。)
- (5) 清潔な環境づくり (整理整頓や清掃、物を大切に扱う習慣を身に付けることができるよう支援する。)
- (6) 努力する心育成 (スポーツ指導や情操教育を通して努力する心、集中力、忍耐力、持続力を養う。)
- (7) 子ども自身の参画 (子ども自身が寮内生活を創っていく心を育てる。)
- (8) 潤いのある生活 (安全と衛生面に留意した、安心で潤いのある生活環境を整える。)

## ニ) 学 習

### (1) 目 的

- ・学習意欲を高める。基礎学力を養成する。その子の特性や固有の力に応じた進学適正、就業適正を網羅した知的自立支援を行う。

### (2) 内 容

- ・落ち着いた学習する習慣 (準備、意欲、集中力) を養う
- ・基礎学力を養成し学習効果を高める。高校受験の特別支援
- ・計画的な進路相談を実践する (面談、学習支援、進路相談)
- ・心理士の助言による進学適性、就業適性を踏まえて、学習支援と児童の発達状況に応じた支援を展開する

## ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

### (1) 目 的

- ・子どもが安全に安心して明るく生活できる環境を作る

### (2) 内 容

- ・手洗い、消毒の習慣化、清潔感を養う (服装、身体)
- ・季節性感染症対策の徹底
- ・健康診断、定期保菌検査の実施
- ・環境整備 (施錠、補修、整備、整理整頓、毎日の清掃)
- ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施
- ・交通安全の徹底 (自転車点検、補修、通学路の確認)
- ・環境美化活動 (子ども自身が安全面に配慮する、寮内外の環境美化、地域への奉仕活動)

へ) 情 操

(1) 目 的

・園芸や作物づくりなど土に触れる体験を通して、豊かな情緒を育む。

(2) 内 容

- ・敷地内への樹木、草花の植栽
- ・農作物の栽培（じゃがいも、夏野菜など）

4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

1. 職 員 会 議

- (1) 職員会議 ..... 月 1 回
- (2) グループケース会議 ..... 月 1 回
- (3) 運営会議 ..... 月 1 回
- (4) 連絡会議 ..... 毎日 8:50及び13:15
- (5) 里親支援会議 ..... 月 1 回
- (6) 調理員会議 ..... 月 1 回
- (7) 施設内研修 ..... 月 1 回
- (8) 家庭支援会議 ..... 隔月 1 回：内原地区担当者との合同会議
- (9) リスクマネージャー会議 ..... 隔月 1 回

2. 保健衛生及び安全管理

(1) 環 境 衛 生

- ア. 室内外の消毒 ..... 月 1 回
- イ. 寝具日光消毒 ..... 好天日随時
- ウ. 浴場消毒 ..... 毎 日
- エ. トイレ消毒 ..... 週 1 回
- オ. 食器消毒 ..... 毎 日

(2) 身 体 衛 生

- ア. 健康診断 ..... 学校保健法に準じて実施  
(嘱託医による・・・6月・12月の嘱託医来訪健診の他、随時医院にて実施。全児年間2回)
- イ. 身体測定 ..... 月 1 回
- ウ. 散髪 ..... 随 時
- エ. つめ切り ..... 週 1 回
- オ. 下着交換 ..... 毎 日
- カ. 入浴 ..... 毎 日
- キ. 児童保菌検査 ..... 月 1 回
- ク. 職員保菌検査 ..... 月 1 回

(3) 安 全 管 理

- 建物設備等点検・業者委託（総合建物サービス株式会社、(株) NEW NEXT CLEAN)
- ア. 空調機保守点検（年2回） ..... 5月 11月
  - イ. 換気設備保守点検（年2回） ..... 5月 11月
  - ウ. 受水槽清掃・水質検査（年1回） ..... 6月
  - エ. グリストラップ清掃（年2回） ..... 6月 12月
  - オ. 消防設備点検（機器点検・総合点検） ..... 5月 11月
  - カ. 巡回設備点検（年2回） ..... 5月 11月
  - キ. ダムウェーター点検（年6回） ..... 奇数月

(4) 児 童 の 安 全

- ア. 避難訓練・・・月1回
- イ. 登下校時の送迎
- ウ. 環境整備・・・毎日（朝の連絡会議終了後）、月1回の環境美化活動
- エ. ヒヤリハットレポートによる未然事故の予防検討：毎月職員会議内にて
- オ. アルソックによる警備システム配備

5) 児童の支援計画

◎学習支援について

1. 学習時間

平日：帰寮後 土曜日：個々の適正、課題、達成目標に応じて

2. 内 容

- ・基礎学力養成のためドリル学習（小1～中3）
  - ・学生ボランティアによる個別指導の活用
  - ・中学生以上は原則として学習塾を利用し、学力向上を目指す
  - ・進路相談：面接 中学3年生 随時（グループ長）  
                  中学1・2年生 随時（フロアー担当者）
  - ・進学適正、就業適正に関する助言（心理士）
3. 場所について
    - ・各ユニットにて実施（居室・食堂）
  4. 学校の準備、片付けの徹底

◎生活支援について

1. 生活指導訓練費（小遣い）
  - ・小遣い帳を記入し金銭管理を教える
  - ・貯金の励行
  - ・有効な小遣いの使い方指導
2. 誕生日
  - ・誕生会は各ユニットで実施。希望の夕食を提供し、それぞれに家庭的な雰囲気の中で実施するよう心掛ける
3. お年玉
  - ・全児童に対して支給する

6) 週間予定及び日課

1. 週間指導目標

日	衛生面確認（頭髪、爪、耳垢等） ※随時
月	登校児の確認（ハンカチ、ティッシュ、胸章、防犯ブザー等） ※毎日
火	入浴マナーの確認 ※随時
水	環境整備（寝具日光消毒、室内外清掃、消毒等） ※随時
木	安全確認 ※随時
金	上履き、靴洗い
土	基礎学力養成 ※毎日

2. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
6:30	起床・洗面		15:00	おやつ	おやつ
7:00	朝食		18:00	夕食	夕食
7:30		起床・洗面	19:00	入浴	入浴
7:45	登校(小中学生)		20:00	幼児就寝	幼児就寝
8:00		朝食	22:00	消灯・就寝	消灯・就寝
8:15	登園(幼稚園)				
12:00	昼食	昼食			

7) 職務分掌

1. 生活支援
  - 子どもの意見反映 家庭との連携 関係機関との連携 地域交流
2. 適正支援
  - 基礎学力養成 知的自立支援（リーダー、心理士）
3. 環境（安全、保健、環境）整備
  - 避難訓練 連絡通報担当 初期消火担当 避難誘導担当 応急救護担当 保健担当
  - 書類搬出担当 安全点検 自転車点検 公用車管理 環境美化活動
4. 会 議
  - 職員会議 ケース会議 運営会議 施設内研修 会議録管理
5. 物品及び予算管理
  - 小口現金 教育費 教養娯楽 被服寝具 日用品 教育教材 保健衛生 事務用品
6. 係
  - 個人情報管理者 処遇システム管理 研修委員 情報公開委員 親睦会
  - 学校関係 子ども会 学習塾 スポーツ少年団 県南西8施設研修 人材育成
  - 〈茨児協関係〉児童厚生部 児童福祉部

〈行事関係〉 個別レク 夏休み係 冬休み係

8) 令和3年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
保菌検査(児童・職員)	10	10	5	10	7	4	9	8	4	8	5	5
安全管理点検	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	28	30
非常時避難訓練	27	8	24	10	31	9	9	27	11	8	12	12

9) 令和3年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	26、30	誕生会	10	29	誕生会
5	4、23	誕生会		10、23、24、31	個別外出
	5	こどもの日	9	バーベキュー	
6	10	母の日	11	12	誕生会
	15、20、29	乳児院合同レク		7、25、27、28	個別外出
7	5、10、14、26、30	誕生会	12	13、14	七五三
	6、20	個別外出		7	誕生会
8	5、9、11、26	誕生会	1	24	クリスマス会
	16、18、22	個別外出		28	餅つき
9	26	デイキャンプ	2	6、7、27	誕生会
	18、27	誕生会		4、5	初詣
9	7、12	個別外出	3	10	個別外出
	13	食事作り		3	節分
9	13、16	誕生会	3	20、30	誕生会
	25	個別外出		3	ひな祭り
				6	おやつ作り
				20、21	卒業祝い

10) 令和3年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事務	指導員	保育士	心理士	調理員等	計
県・社協	1		21	7		2	31
団 体	2	2	10	9		1	24
法人・施設	11	5	123	104		10	253
計	14	7	154	120		13	308

2. 児童構成 (R4.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児					小学生					中学生					高校生			他	計
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3			
男	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	2	1	2	2	0	0	1	13
女	0	1	2	1	1	1	0	0	1	0	0	2	1	1	1	2	0	1	0	15
計	0	1	2	1	1	3	3	0	1	0	0	2	3	2	3	4	0	1	1	28

3. 各月初日在籍及び入退園児童

[ ]内は停止

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	28	29	29	30	30	30	30	30	29	29	28	29	351
入 所 うち( )は初日入所	1		1									1	3
退 所 うち( )は初日退所								1		1		1	3
月末在籍	29	29	30	30	30	30	30	29	29	28	28	28	350

4. 入寮理由別表

入 所 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			
2. " 行方不明	2		2
3. " 離婚			
4. " 不和			
5. " 拘禁	1	2	3
6. " 入院			
7. " 就労			

8.	精神疾患等	2	4	6
9.	放任・怠惰	4	4	8
10.	虐待・酷使	5	5	10
11.	棄児	1		1
12.	養育拒否			
13.	破産等の経済的理由			
14.	児童の問題による監護困難			
15.	その他		1	1
合 計		15	15	31

#### 5. 退寮理由別表

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）	0	0	0
2. 進学（大学・専門学校）	0	0	0
3. 措置変更	0	0	0
4. 里親委託	1	0	1
5. 家庭引取り	1	1	2
合 計	2	1	3

#### 6. ショートステイ受入状況（延べ人数・日数）

取手市	1名	3日
阿見町	1名	6日

#### 7. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施（お誕生日メニュー）  
令和3年9月在籍児童に嗜好調査アンケート実施  
（アンケートについて年少児童は職員の介助による。）

1. 食 費	1日当り 696 円（原材料費）
2. 熱 量	2,096 Kcal（基 準 1,832 Kcal）
3. たん白質	72.4 g（基 準 45.8～91.7 g）

### 11) 茨城県里親制度等普及促進・リクルート事業 実施状況

#### 里親リクルーター活動実績

- ・管轄内関係各機関への事業説明  
（土浦・筑西児童相談所、管内市町村、児童福祉施設、社協、保健センター）
- ・各種SNSを利用した活動報告と情報提供、Youtubeチャンネルの開設
- ・令和3年度里親制度説明会の実施（つくば香風寮）  
全3回で延べ93組122名の参加。録画し、後日オンライン配信も実施
- ・民生委員・児童委員対象の里親制度説明（守谷市、石岡町、坂東市、阿見町、五霞町）
- ・青少年相談員対象の里親制度説明（桜川市）
- ・桜川市教育委員会のYoutubeチャンネル【ゆずチャン！】に出演し、広報活動を実施
- ・学生向け里親制度広報物配布（筑波大学、リリーこども&スポーツ専門学校、  
きぬ看護専門学校、筑波研究学園専門学校）
- ・校長会・教頭会での里親制度説明（東海村）
- ・茨城県民球団「茨城アストロプラネッツ」公式戦でのチラシ配布（全20試合）
- ・サッカーJ2リーグ「水戸ホーリーホック」公式戦でのチラシ配布（全4試合）
- ・ウェルシア薬局（株）での里親制度出前講座と広報活動実施  
12店舗にてブース設置。914名にチラシ配布、11名に里親制度出前講座
- ・地域企業への広報活動（ウェルシア薬局（株）、（株）山新、（株）カワチ薬品、  
（株）ファミリーマート、ララ・ガーデンつくば）
- ・地域医療機関への広報活動（チラシ設置、ポスター掲示）  
（筑波大学附属病院、つくばセントラル病院、あけぼの薬局）
- ・地域商工会への広報活動（つくば市、石岡八郷、かすみがうら、つくばみらい、土浦新治商工会）
- ・管轄市町村での里親制度パネル展の開催（稲敷市、古河市）
- ・管轄市町村広報誌への広報記事掲載（全24市町村）
- ・地域メディアでの広報活動（記事・広告の掲載、静止画CM、番組内紹介等）  
（結城・筑西ケーブルテレビ、茨城読売IS、茨城毎日広告社、読売茨城タウンニュース、



- 茨城新聞、日宣メディックス、エリート情報社、常創、茨城放送、いばキラTV)
- ・広報啓発配布物の作成と配布（チラシ、パンフレット、ポスター等）
  - ・普及啓発部品の作成と配布（ティッシュ、うちわ、クリアファイル等）
  - ・里親制度の個別相談対応とガイダンスの同席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ガイダンス	1	0	1	0	1	1	3	0	4	0	2	2	15
来寮説明	4	3	1	2	2	0	0	4	0	1	1	2	20
問い合わせ	3	5	4	4	3	2	2	5	9	5	4	2	48

入園児童の出身地別の推移(つくば香風寮)

児相年	度	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	合 計
中	北茨城市																		1
	高萩市					1												1	
央	日立市																		
	ひたちなか市			1	1													3	
北	常陸太田市																		
	常陸大宮市																	1	
東	常陸大宮市																		
	那珂市																		1
児	那珂市																		
	小美玉市																		1
童	水戸市		3	3	4	2	1	1	4										
	鹿嶋市		1	1	1	2	2	2	1										12
相	潮来市		3	1															
	行方市																		2
談	茨城町																		
	大洗町					1	1												41
所	大子町																		
	東海村																		4
士	小 計	7	6	5	5	5	4	8	1										
	土浦市	6	6	6	4	3	4	5	6	6	4								50
浦	石岡市																		
	龍ヶ崎市							1	6	4	4	3							18
見	取手市	3	6	6	9	5	5	2	5	6	5								
	牛久市				1	3	3	1	1	1	1	10							25
童	つくば市	2	2	1	1				3	2	7	7							
	つくばみらい市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2							8
相	かすみがうら市																		
	龍崎市				1	2	2	2	1										1
談	守谷市																		
	阿見町																		1
所	河内町																		
	美浦村																		22
所	利根町																		
	小 計	12	15	14	17	14	16	19	20	25	23	175							175
北	常陸市	2	3	2	1	1	1	1	2	2	2	17							
	筑西市	4	5	6	3	1	3	2	2	2	2	28							9
西	古河市	2	2	2	1	1	1												
	結城市		1	3	3	3	3	3	3	3	3	19							1
児	下妻市		1				1	1	1	1	1	5							
	坂東市																		10
相	碓氷市			4	3	3													
	八千代町			2	2	2													1
談	境町			1	1	1	1	1	1	1	1	6							
	五霞町																		32
所	小 計	8	10	12	12	11	12	9	9	9	9	101							
	合 計	27	31	31	34	30	32	36	30	34	32	317							317

入園理由別総計表（つくば香風寮）

入園理由	平成23	24	合計
父または母の死亡	1	1	2
" 行方不明			-
" 離婚・就労	7	7	14
" 傷病・入院		1	1
" 精神疾患	2	2	4
" 受刑	5	3	8
" 被虐待・被冷遇	12	17	29
その他・未成年等			-
計	27	31	58

入園理由	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	合計
父又は母の死亡												0
" 行方不明					1	3	2	2	2			10
" 離婚	4	3	3	3	1	1						15
" 不和	1			1	2	1						5
" 拘禁	3	5	4	3	3		3	3	3			27
" 入院			1	1	1	1	2	2				8
" 就労												0
" 精神疾患等	7	6	4	2	3	4	5	5	6			42
" 放任・怠惰	3	6	4	6	7	9	9	11	8			63
" 虐待・酷使	5	11	12	13	14	6	7	7	10			85
棄児			1	1	1	2	1	1	1			8
養育拒否		1		1	1	3	2					8
破産等の経済的理由	1			1								2
児童の問題による監護困難	1						1					2
その他の	1	2	1		2		2	1	1			10
計	26	34	30	32	36	30	34	32	31			285

※平成25年度より集計項目変更

## 12. 乳児院 同仁会乳児院

### 1) 令和4年度運営計画

一昨年から続く新型コロナウイルス禍の中で職員、子ども、保護者それぞれが苦労を強いられた生活でした。今年度も引き続き、子どもたちの発達が阻害されないよう工夫しながら予防措置を取ってまいります。

さて、今年度は前年から開始した大規模修繕が6月には完了予定です。7月からは新しい生活が始まり、国が推進する養育単位の小規模化に向けて動き出します。ユニット生活ではより家庭に近い環境で個々のニーズに合った養育の実現を目指します。愛着形成、権利擁護を柱に子どもたちが安心して生活できるように努めます。職員は子どもたちの代弁者となるべく子どもに寄り添い、子どもの声を聴くものとしての感性、スキルアップに努めてまいります。

乳児院の多機能化、高機能化では里親支援機能の更なる充実と強化、地域の子育て支援など乳児院が持つノウハウを地域貢献に生かす取り組みを行ってまいります。

以上のことを踏まえ、次の事項を運営計画といたします。

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) ユニットを活かした養育環境の提供
- (2) 家庭復帰や措置変更等「つなぎ養育」の充実とアフターケアの支援
- (3) 里親支援体制の充実と強化
- (4) 地域子育て支援事業への協力と関係機関への積極的参加

#### 2 組織体制の強化

- (1) ユニット体制によるチーム養育の検討
- (2) 職員間の協力と相互理解
- (3) 第三者評価による自己評価の実施
- (4) 職員間強化のためバディ制度の充実

#### 3 人材育成

- (1) 園内研修（初任者研修）の充実と外部研修への積極的参加
- (2) さくらの森乳児院との交換研修の実施
- (3) ユニットケアに向けての学習会の充実
- (4) ボランティアや実習生の積極的な受け入れ
- (5) 人事考課の継続実施

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行とコスト意識の徹底
- (2) 省エネの実践とエコロジーの推進

### 2) 運営の概況

昨年度末から今年度初めにかけて、施設内での新型コロナウイルスの蔓延で保護者の皆様、関係機関の皆様には、大変なご心配とご迷惑をおかけいたしました。また、子どもたちや職員にも多大な苦労を強いてしまいました。この感染拡大により、BCPの作成を含め、職員の動き、ゾーニング等やるべき課題が明確になり、引き続きコロナ感染予防対策を講じていきます。

さて、昨年度は入所児童が3名、退所児童が4名、一時保護が延べ8名で内2名が入所になっております。退所児童の1名が家庭復帰、3名が里親委託となっております。年度早々から3名の子どもが里親委託で動き始め、益々乳児院での里親支援は重要な柱となっております。

さらに、今年度7月からは新しいユニット体制での生活が始まり、新任職員6名が入職しました。

全職員がユニットでの生活、支援体制が初めてであり、ハード面が整っていてもソフト面での子どものケアや支援体制が問われます。職員のチームワーク、協力、連携、互いの思いやりで新しい生活を進めていく所存です。子どもたちが安心して、笑顔で生活できるように関係機関と連携しながら職員一同努めてまいります。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

子ども達の生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力していきます。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別対応や小グループでの養育を行います。
2. 子ども達がよりよい生活を送ることができるよう、環境の整備を行います。
3. 家庭支援専門相談員を中心に、子ども・家庭・地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行います。

4. 心理療法担当職員による専門的な関わりや、家族の心理的不安の軽減に努めます。
5. 里親支援専門相談員を中心として、地域の里親支援を行います。
6. 職員の研修機会を多くし、子ども達の処遇向上に努めます。
7. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行います。

ロ) 基本的目標

法人理念 「合掌深敬」 感謝と共生の心

法人理念・綱領を実践し、乳幼児が養育者と共に、時と所を共有し、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に豊かな人間関係を培い、社会の一員として参画できる基礎作りを目指します。

ハ) 養育目標

1. 基本的生活習慣の確立 …… 個々の発達段階をふまえて一貫した養育を行う。
  - 0 才 児 …… ミルクの自律栄養、離乳食（食べる意欲の基礎づくり）、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。
  - 1 才 児 …… 食事の練習（スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる）、つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への意識づけ。
  - 2 才 児 …… 食事の自立（食の体験を広げる）、言語の獲得（単語より二語文へ、また会話ができる）、排泄の自立に向けての練習、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。
  - 3 才 児 …… 食事は自立するが個人差や偏食がしやすいので楽しい雰囲気心がける、自我も確立する時期（個々の興味や自発性を大切にする）  
自分の気持ちを伝えられるようになり、相手の気持ちも分かるように職員は仲立ちとなる。
2. 基礎体力の増進 …… 身体を鍛練をする。  
ベビーマッサージや乳児体操の実施と薄着の習慣付けをする。
3. 情緒の安定  
落ちついた環境でおだやかな働きかけを行い、基本的欲求を満たす。  
社会生活への適応性の涵養に心がける。
4. 生活支援  
基本的生活習慣を身につけると共に、子どもの持っている素質を充分にのばす。

4) 運 営

1. 職務分掌

- |              |                |            |                |
|--------------|----------------|------------|----------------|
| 1. 被服(寝具等含む) | 2. 日用品         | 3. 保健衛生    | 4. 教養娯楽        |
| 5. 消耗品       | 6. 環境製作(手作り玩具) |            | 7. 器具・什器       |
| 8. 環境美化      | 9. 環境整備        | 10. 院車管理   | 11. 防火管理       |
| 12. ボランティア   | 13. 事務用品管理     | 14. 実習生指導  | 15. 給食(ミルク等管理) |
| 16. 諸記録用紙管理  | 17. スマイルタイム    | 18. 親睦会    | 19. 院内学習会担当    |
| 20. パソコン担当   | 21. ブログ担当      | 22. 保護者会担当 |                |

2. 職員会議

1. 職員会議（管理・運営全般・・・月1回）
2. 運営会議（管理・運営全般・・・月1回）
3. 養育会議（ケース検討、保育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回）
4. 献立会議（献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回）
5. グループ会議（各グループのケース検討、保育内容等・・・月1回）
6. 連絡会議（朝・夕の業務引継・・・毎日）
7. 看護会議（看護師間の連絡調整・・・年4回）
8. 五者会議（家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、個別対応職員、看護師、心理士・・・月1回）

3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施

- 月例健診・・・月1回（嘱託医 滝 有希子先生）  
 検 便・・・年2回（株式会社 江東微生物研究所）  
 乳幼児検診・・・随 時  
 入所時検診・・・〃

2. 身体計測の実施 … 月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）

3. 身体衛生の実施（入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨、整髪）

4. 環境衛生の管理 (便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫)
5. 感染予防 (感染源との隔離、消毒)
6. 鍛 練 (薄着の励行、乳児体操、ベビーマッサージ、外気浴、体育遊び等)
7. 安全な環境の確保と十分な目配り
8. 玩具等の保安全管理点検
9. 事故防止と安全 (窒息、転倒、転落、かみつき、ヒヤリ・ハットの記録と検証)
10. 院内外危険箇所等の確認及び保全点検 … 月 1 回
11. 非常時 (火災・地震) 対策・訓練の実施 … 月 1 回
12. 非常時、(株)総合警備保障に通報契約
13. 建物設備等点検 … 業者委託
  - ① 電気設備検査 (伊藤電気管理事務所) …… 月 1 回
  - ② 自動火災報知器の検査 (作業検査) …… 年 1 回
  - ③ 非常通報装置の点検 …… 年 1 回
  - ④ ガス湯沸器清掃点検 …… 年 2 回
  - ⑤ スプリンクラーの点検 …… 年 1 回
  - ⑥ エレベーターの点検 …… 月 1 回

## 5) 養育の展開

### ①担当制

担当は入所から退所まで原則として変えない。

担当者は担当児との愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。

### ②指導計画・自立支援計画

子どもの成長、発達を支援するため、アセスメントシートを活用し、担当者が毎月、月目標と留意点を作成し、グループ会議で関わり方など話し合い、養育会議でカンファレンスを行う。

### ③健康管理

嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。

### ④生活

日中はなるべく小グループにし、個別的な対応を多く持つなど工夫する。

養育手順マニュアルに沿った養育をする。

### ⑤日中の保育の充実

年間保育目標 (別表) 月案、週案に基づき、日中の保育を行う。

### ⑥年間保育行事計画に基づく行事 (別表)

### ⑦定期的行事

- ・肥前山へのお参り…入所後の健やかな成長を祈願する。1か月未満児はお宮参りを兼ねる。
- ・お食い初め…生後3～4ヶ月の間  
伝承行事。一生丈夫で、また、食べ物に困らないようにという願いを込めて行う。
- ・誕生会…誕生日を迎えたその日にみんなでお祝いをする。また、満1歳の誕生児には一升餅を背負わせお祝いをする。
- ・スキンシップデー… 該当月 (担当職員と1日、1対1で過ごす)
  - 《1歳》  
担当者と1対1でスキンシップを図る。
  - 《1歳6か月》  
社会体験の一つとして担当者と外出し、公園で遊んだり散歩をしたりしてスキンシップを図る。
  - 《2歳・2歳6か月》 ※3歳超過児は半年ごと  
家庭復帰に向けた社会体験の一つとして、担当者と外出しバスや電車の体験・レストランでの食事・図書館やお店の見学・おもちゃの買い物などを体験させる。
- ・クッキングデー…月1回 (さくらグループ)  
家庭的な雰囲気の中で簡単なおやつや、食事を作り、手作りの楽しさやおいしさを味わう。また、野菜や果物の原物を見たり、触れたりすることで食べる意欲を高める。栄養士による企画は、季節ごとに年4回実施。
- ・買い物体験…行けるときいつでも (さくらグループ)  
家庭復帰に向けた社会経験の一つとして、さくら組の子ども達を対象に自分でお金を払って物を買う体験をさせる。併せて、その体験を通し満足感を味わうとともに、物を大切にすることを養う。
- ・ハッピーデー…5月 9月  
時間に制約されず十分に遊び、軽い食事をする。
- ・外食体験…年6回  
レストランでの外食体験を楽しむ。
- ・臨海学園、同仁会子どもホームとの交流

学園の幼児とは日常的に遊びの交流を行う。また、兄弟のいる子どもに対しては積極的に交流の場を設ける。

- ・キフトへの参加  
同仁会地域子育て支援事業に参加し、地域の親子と交流する。
- ・保護者会  
子どもの日、クリスマス会の行事に参加してもらい、職員との交流を図る。
- ・励ます会  
乳児院から巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

⑧日 課

時間	たんぽぽ組	さくら組	時間	たんぽぽ組	さくら組
6:00	起床 検温・着替え	起床 検温・着替え	14:00	起床 検温	起床
7:30	授乳 自由遊び	朝食 自由遊び	14:30	授乳・離乳食	間食
9:15	職員朝礼	職員朝礼	15:00	入浴	あそび
9:30	授乳 離乳食	間食	16:00	あそび	あそび
10:00	あそび	あそび	17:00	職員終礼	職員終礼
11:30	授乳	昼食	17:30	あそび	夕食
12:00	午睡		18:30	授乳	入浴
12:30		午睡	19:00	就寝	
			20:00		就寝
			23:00	授乳	

6) 令和3年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
月例健診	13	17	22	20	17	28	26	30	21	18	15	9
児童・職員の保菌検査	10	8	12	10	8	11	9	6	11	9	12	12
安全管理点検	23	22	25	23	27	24	22	26	24	28	25	25
非常時避難訓練	28	31	30	30	26	16	29	30	29	31	24	10, 11, 14

7) 令和3年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	3、21	誕生会	8	16	クッキングデー
	14	いちご狩り		17、18、20	夕食体験（テイクアウト）
	6	クッキングデー		24	誕生会
	23	スキンシップデー		25	花火大会
	28、30	院外保育（かみね公園）		4	スキンシップデー
5	5	こどもの日の集い	9	7	クッキングデー
	11、15、18	スキンシップデー		17	励ます会
	14	クッキングデー		8、26、29	スキンシップデー
	25	励ます会		26	誕生会
6	8、9、17	誕生会	10	10、12、26	スキンシップデー
	13	クッキングデー		12、15、28	院外保育（かみね公園）
	15、18、23	院外保育（かみね公園）		17	誕生会
	16	スキンシップデー		14	クッキングデー
7	1	誕生会	11	27	院外保育（集いの広場）
	2	お宮参り、お食い初め		31	ハロウィン
	7	七夕の集い		8	院外保育（かみね公園）
	4、8、15、16	スキンシップデー		3、5、29、	誕生会
	21	クッキングデー		15	七五三
12	6、15	誕生会	2	6	お食い初め
	16	クッキングデー		18	クッキングデー
	14、20	スキンシップデー		13、14、29	スキンシップデー
	22	クリスマス会		2	クッキングデー
			3	節分の集い	
			4	スキンシップデー	

1	5、6、8 6、30 20 7、15、18、20 12、28	初詣 誕生会 クッキングデー スキンシップデー 励ます会	3	3 10 15 23 19、25	ひな祭り、初節句 クッキングデー スキンシップデー お楽しみ会 誕生会

## 8) 令和3年度資料

### 1. 職員の研修

	院長	事務	看護師	保育士	指導員	FSW	里親支	栄養士	心理士	調理員	計
団体	2	2	4	10	1	1	3		2		25
県社協・東社協・茨児協		1	3	14		2		1	1	1	23
法人・施設	12	6	27	149	13	12	11	11	13	2	256
計	14	9	34	173	14	15	14	12	16	3	304

### 2. 児童構成 (R4.3.31現在)

性別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男		5	2				7
女		2	3	3			8
計		7	5	3			15

### 3. 各月初日在籍及び入退所児童

[ ]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	16	17	17	17	17	17	16	16	16	16	15	15	195
入所 うち( )は初日入所	1	1								1			3
退所 うち( )は初日退所		1				1				2			4
月末在籍	17	17	17	17	17	16	16	16	16	15	15	15	194

### 4. 入院理由別表

入院理由	男	女	計
1. 父又は母の死亡			
2. // 行方不明			
3. // 離婚			
4. // 不和			
5. // 拘禁		1	1
6. // 入院			
7. // 就労		1	1
8. // 精神疾患等	4	1	5
9. // 放任・怠惰			
10. // 虐待・酷使	4	3	7
11. 棄児			
12. 養育拒否			
13. 破産等の経済的理由			
14. 児童の問題による監護困難			
15. その他(育児能力 若年出産等)	3	2	5
16. 不詳			
合計	11	8	19

### 5. 退院理由別表

退院理由	男	女	計
1. 親元解除	0	1	1
2. 里親委託	1	2	3
3. 措置変更	0	0	0
合計	1	3	4



6. 在院期間 (R4.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
3	5	5	2	15

7. 一時保護入所状況

人 数 8名

延べ日数 191日

8. ショートステイ受入状況

コロナ感染予防のため受け入れ中止

9. レスパイトケア

延べ人数 0名

延べ日数 0日

10. 育児体験教室 (スマイルタイム)

コロナ感染予防のため中止

11. 栄養摂取状況

1. 食 費 1日当たり 650円

2. エネルギー 1,137Kcal (基準 900~1,300Kcal)

3. たん白質 41.1g (基準 29.3~65g)

4. 嗜好調査 毎月誕生月の幼児に対して実施

入院児童の出身地別の推移（同仁会乳児院）

児相年 度	平成																						合計
	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	
中 北茨城市	4	1	1	2	1	1	2	2	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
高萩市	1	1	2	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
日立市	4	7	5	5	4	5	4	1	3	5	6	7	7	5	6	1	6	5	7	1	3	4	
常陸大宮市	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	2	3	3	2	1	6	5	6	9	3	
常陸太田市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	
児 多賀郡																							
久慈郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
東茨城郡	1	3	1	1	3	1	1	1	2	2	4	3	6	5	4	4	3	1	4	3	3	2	
西茨城郡	1	2	2	3	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
那珂郡	2	2	3	2	1	1	3	2	3	5	1	2	4	3	2	1	2	1	1	2	1	1	
鹿嶋郡	3	3	2	2	5	3	2	1	1	2	4	3	3	3	1	1	2	2	3	1	1	3	
行方市	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
水戸市	5	4	4	1	1	2	1	3	6	4	4	2	1	6	6	7	8	6	5	6	3	2	
鹿嶋市																							
潮来市													1										
埼玉県																							
茨 鹿																							
所 小	20	24	19	22	15	11	17	22	18	17	25	19	21	23	28	24	27	37	29	29	28	21	
士 土浦市				1	1	1	1	1	2	2	4	3	4	2	1	2	2	3	1	5	4	2	
石岡市	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
龍ヶ崎市												2	2	2	1	1							
取手市												2	2	2	1	1							
牛久市																							
つくば市													1	2	2	4	1	2	3	5	7	4	
龍崎郡	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	1	2	1	2	1	2	1	2	4	
新治郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1							
筑波郡																							
北相馬郡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
相 守谷市																							
阿見町																							
河内町																							
美浦村																							
茨 鹿																							
所 小	2	1	3	3	5	2	5	4	4	6	7	11	9	7	6	5	3	2	3	3	3	6	
下 水海道市																							
下 下館市	1	1																					
古河市																							
結城市																							
児 下妻市																							
下 岩井市																							
鹿 真壁郡																							
相 龍城郡																							
鹿 猿島郡																							
所 小	2	5	23	27	22	13	23	27	22	23	36	32	35	34	35	39	33	36	43	35	34	35	
計	22	25	23	27	22	13	23	27	22	23	36	32	35	34	35	39	33	36	43	35	34	35	
計																							
小	64	73	62	62	53	55	22	22	21	23	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
計	64	73	62	62	53	55	22	22	21	23	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
所 小	21	22	24	21	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	21	22	24	21	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所 小	6	5	5	7	11	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	6	5	5	7	11	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所 小	2	2	2	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	2	2	2	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所 小	2	6	4	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	2	6	4	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所 小	1	1	3	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	1	1	3	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所 小	6	5	3	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	6	5	3	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所 小	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所 小	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※平成17年度より市町村合併整理のため別表

入院理由別総計表（同仁会乳児院）

入院理由	昭和41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計	
社会的原																							
乗母の死亡	4	1	1	1		1		1		1		2	2	5	1	1						18	
父母の受刑	1	1				1		1	3		5	6	3	2	2	1						26	
父母の離別	2	6	2	2	3	1	4	5	4	2	8	10	7	9	3	3	4	16	5	7	4	105	
父母の就労	4		1			5		3	1													14	
未婚の妊婦								1	1	2	1	2	2	3	4	2	5	5	8	6	4	46	
婚姻外出産										1		1	1	1	2	1			4	4	2	17	
その他	1	7	9	10	4	2																33	
小計	-	13	15	13	13	11	6	10	9	6	14	23	16	22	13	8	10	23	17	17	10	269	
世帯核	1		2	2	2	2	1				1	1	2	5	3	10	3					5	
精神その他	6	5	5	9	7	1	2				1	1	2	5	3	10	6	10	6		6	91	
精神その他	3	5	3	3	3	2	5					1			2							24	
母精神疾患								3	2	2	1	1	1	1	2							13	
父母病疾患								8	9	8	2	3	6	4	4	5	2				3	58	
アルコー中毒									1	1												2	
母の家出									4	2	4											10	
母行方不明										1	2	1	6		2	12	8				6	3	46
母の交通禍									1	1						1						9	
その他										1	1									4	12	27	
小計	-	10	10	10	14	11	7	13	23	27	23	35	32	35	36	35	15	33	36	43	35	294	
合計	-	23	25	23	27	22	13	23	27	22	47	68	64	69	71	70	55	72	72	80	79	563	

入院理由	昭和42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計	
父または母の死亡	1	1	1	1	2	4	3	2	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	1	2		33
行方不明	4	1	5	3	1	2	6	6	10	12	14	13	9	11	5	7	2	6	9	5	8	144
" 離婚・就労	2	1	4	4	4	1	4	4	3	2	1	2	5	5	9	3	19	3	18	16	13	176
" 傷病・入院	13	14	7	3	5	1	3	2	8	6	8	4	4	8	11	4	6	4	10	12	8	146
" 精神疾患	1	3	1			2	1	4	11	6	7	6	5	7	3	5	9	19	18	9	7	138
" 受刑	2	1		1	1	2	3	4	1	3	5	5	5	6	4	6	4	8	3	3	2	81
" 虐待・被冷遇	1	2			1	2	3	3	3	3	5	7	4	7	12	11	9	15	9	8	9	139
" 棄児・迷子	2	3	2	1	1	1	4	4	1	1	1	2	2	3	4	6	6	4	1	2	3	55
その他・未成年等	6	9	3	1	7	1	2	8	11	8	8	4	2	24	17	13	12	5	13	7	4	202
小計	34	35	15	12	17	8	10	36	38	40	47	46	45	60	64	68	53	57	64	76	69	1,114

※平成1年～平成5年迄は新規入院児童の理由別数である

入院理由	昭和42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	合計	
父又は母の死亡	1	1	1	1	2	4	3	2	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	1	2		33
" 行方不明	4	1	5	3	1	2	6	6	10	12	14	13	9	11	5	7	2	6	9	5	8	144
" 離婚	2	1	4	4	4	1	4	4	3	2	1	2	5	5	9	3	19	3	18	16	13	176
" 拘禁	2	1	1																			6
" 入院	1	3	1																			6
" 就労	6	2	7	1	1	2	2	1														3
" 精神疾患	6	5	6	2	2	5	4	5														138
" 放任・怠惰	1			2	2	2	2															4
" 虐待・酷使	2	4		2	2	2	2	3	7													55
棄児																						4
養育拒否	3	7	3	2	1	1	2	2														20
破産等の経済的理由	4																					63
児童の問題による監護困難		3	10	13	15	9	8	5														63
その他																						0
不詳	21	27	23	25	19	23	21	22	18													63
小計	21	27	23	25	19	23	21	22	18													63
合計																						63

※平成25年度より集計項目変更

## 13. 乳児院 さくらの森乳児院

### 1) 令和4年度運営計画

昨年度は入所6名・退所9名となり、近年の傾向として入所が少なくなっている一方、一時保護児が12名と入所に至らないケースが増えており、さらに長期化の傾向が見られています。児童相談所と連携して、児童のアセスメントを丁寧に行い、担当職員を配置して、児童の安定に努めていくとともに、入所児童の安心安全な生活の保障のために職員の資質向上に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス対策としては、「乳児院に持ち込まない」ことに重点を置き対策を行ってきましたが、2月に感染者が出てしまい、ほぼ全児童・職員が感染してしまう事態となってしまいました。幸いにも重症化する児童・職員はいませんでした。今回のことを教訓としてより一層感染防止対策に取り組んでいきます。

今年度は県のフォスタリング事業のうち「里親訪問等支援事業」を受託しました。これまでもさくらの森乳児院は里親支援専門相談員を中心として里親支援を行ってきましたが、フォスタリング機関の一員として、児童相談所や各施設の里親支援専門相談員など関係機関と連携を図りながら、里子・里親の幸せの実現に向けてより一層支援に力を入れていきます。

#### 1 福祉サービスの質の向上

- (1) 関係機関との連携による丁寧な移行支援
- (2) アセスメントに基づく個別養育の充実と一時保護児の細やかなアセスメント
- (3) 家庭支援専門相談員を中心とした家庭支援の充実
- (4) フォスタリング専門員・里親支援専門相談員を中心とした里親支援の充実
- (5) 食育の推進（季節(旬)を意識した食事作り、誕生日のお好み献立、野菜などの栽培）

#### 2 人材の育成

- (1) 法人研修や外部研修 への積極的な参加
- (2) 年間計画に基づく学習会の実施
- (3) 組織性を意識した人材の育成
- (4) 人事考課制度の継続実施
- (5) つくば香風寮・同仁会乳児院との職員交換研修の実施

#### 3 組織体制の確立

- (1) 自己評価の実施
- (2) スーパーバイズ体制の活性化による養育支援の質の向上
- (3) 職員間の協力体制の強化（情報の共有・報告・連絡・相談）
- (4) ボランティアの計画的な受け入れ（里親応援講座受講者を主な対象とする）
- (5) つばみグループ小規模化に向けての養育体制の検討

#### 4 関係機関等との連携

- (1) 児童相談所との連携強化（保護者支援、里親支援など）
- (2) 市町村との連携（ショートステイ受け入れや支援の協働・育児物品等の支援）
- (3) つくば香風寮との交流、連携（合同行事の実施、措置変更児童の継続的支援など）
- (4) 養成校の学生の積極的な受け入れ

#### 5 財政基盤の強化

- (1) 計画的な予算の執行
- (2) 職員のコスト意識の徹底

### 2) 運営の概況

昨年度は6名の入所があり内訳は虐待が2名、保護者の精神疾患が2名、養育困難が2名でした。

退所は7名で、家庭引き取りが2名、里親委託が3名、児童養護施設への措置変更が2名でした。

一昨年同様、昨年度も新型コロナウイルスの影響で面会を停止していた期間が長く発生したため、家庭引き取りが明確なケースについては停止期間中でも面会・外泊等を実施する、LINE電話を利用して児童の様子を見てもらうなどの対応をとってきました。新型コロナウイルスは収まる様子を見せないため、コロナ過の中でいかに面会等を実施できるかを探っていきます。また、一時保護は12名で、うち6名が入所となっています。その多くが虐待(疑い)を主訴とするものでした。保護期間の長期化が目立っており、児童にとって不利益が生じないよう丁寧な対応を行ってきました。昨年度1月から里親訪問等支援事業を受託しました。乳児院ではこれまでも里親支援に力をいれてきましたが、フォスタリング機関として関係機関と連携しながら里親の求める支援を探っていきます。2月には院内で新型コロナウイルスが蔓延してしまい、児童・職員に多大な苦勞を掛けてしまいました。乳児院内にウイルスを持ち込まないこと

はもちろん、発生した際の感染対策にの感染対策を徹底し、蔓延しない対策をとっていきます。

#### イ) 基本方針

乳児院における養育の基本は、乳幼児が養育者と時と場所を共有して、共感し、応答性のある環境の中で、生理的・心理的・社会的に要求が満たされることである。さらに、在院期間だけの養育過程ではなく「生涯」にわたる人間形成の基礎を築き、子どもが生きる力を培い、生きがいのある人生を切り開いていく土台としての役割を担うものである。

具体的には、子どもたちの生活が安全で安心なものになるよう次のことに努力する。

1. 「愛着関係の形成」を重視した個別的対応や、小規模グループでの養育を行う。
2. 子どもたちがよりよい生活を送ることができるよう、人的な環境の整備を行う。
3. 子ども、家庭、地域等の総合的な調整を図り、里親委託を含めた早期家庭復帰支援を行う。
4. 心理療法担当職員が発達検査をしてその子に応じた発達支援を行うと共に、保護者対応のための助言を行う。
5. 里親支援専門相談員を中心として地域の里親支援を行う。
6. 積極的に研修に参加して、職員の養育技術向上に努める。
7. 家庭や、地域社会との連携を密にして、豊かな人間関係の基礎を培う。
8. 子どもの成長に合わせた食育の計画及び実践を行う。

#### ロ) 基本目標

○「子どもの人権を守る」という権利擁護の意識を常に持ちながら、対人援助サービスの基本であるS・G・N・Tを実践し、子どもが豊かな感性を涵養できるよう援助・支援する。

- 1 S (Smile) 笑顔  
常に笑顔で接する。(和顔愛語)
- 2 G (Greeting) 挨拶  
常に明るくあいさつをする。(あなたに関心があります)
- 3 N (Name) 名前  
必ず子どもの名前を呼ぶ。(あなたのことを知っています)
- 4 T (Thanks) 感謝  
「ありがとう」の気持ちをたくさん伝える。(あなたを必要としています)

#### ハ) 養育目標

1. 「愛着関係」を形成する。  
担当養育者を中心に、一貫性を持った養育を行う。  
0歳・・・気持ちに寄り添ってさまざまな要求を読み取り、あるがままを受けとめ、基本的な信頼関係を育てる。  
1歳・・・「やりたい」という気持ちの芽生えを大事にして、できた満足感を味あわせるとともに、新しい体験(初めて会う人や場所など)への不安を受けとめて、安心して行動できるように支える。  
2歳・・・「自分で」という気持ちを大事にして、今まで培ってきた愛着関係を基盤に、まわりの物や、未知の物に自分から働きかけていけるようにゆるやかに自立を促す。
2. 基本的な生活習慣のゆるやかな確立  
個々の発達段階を踏まえた養育を行う。  
0歳・・・ミルクの自律栄養、離乳食(食べる意欲の基礎づくり)、寝返り、お座りの練習、這い這い、つかまり立ち、つたい歩き。  
1歳・・・食事の練習(スプーン・フォーク・コップ飲み等、食べる意欲を大切に育てる)つたい歩きから歩行の完成、歯みがきの練習、排泄への興味。  
2歳・・・食事の自立(食の体験を広げる)、言語の獲得(単語から二語文へ、また会話ができる)、排泄の意識づけ、簡単な着脱の練習、歯みがきの練習。

### 3) 運営

#### 1. 職務分掌

- |           |              |          |          |
|-----------|--------------|----------|----------|
| 1. 消耗品    | 2. 器具・什器     | 3. 修繕    | 4. 給食    |
| 5. 保健衛生   | 6. 被服        | 7. 教養娯楽  | 8. 日用品   |
| 9. 保育材料   | 10. 公用車管理    | 11. 防火管理 | 12. 環境美化 |
| 13. 実習生指導 | 14. ボランティア担当 |          |          |

## 2. 職員会議

1. 職員会議（管理・運営全般・・・月1回）
2. 運営会議（管理・運営全般・・・月1回）
3. 養育会議（ケース検討、養育内容、乳幼児の健康管理・・・月1回）
4. 献立会議（献立、離乳食の検討、調理業務内容の検討・・・月1回）
5. グループ会議（各グループのケース検討、養育内容等・・・月1回）
6. ケース会議（入所後1ヶ月経過時、半年経過時及び必要な時にアセスメントを行う）
7. 連絡会議（朝・夕の業務引継・・・毎日）
8. リーダー会議（グループ間の連絡調整・・・月1回）
9. 看護会議（看護師間の連絡調整・・・月1回 その他必要な時）
10. 献立会議・・・月1回
11. 職場内研修（学習会・・・月1回）
12. 家庭支援会議（法人内担当者の合同会議・・・月1回）
13. つくば地区里親支援会議・・・月1回

## 3. 保健衛生及び安全管理

1. 定期検診の実施
  - 月例健診・・・月1回（嘱託医 池野美恵子先生）
  - 保菌検査・・・年2回（江東微生物研究所）  
※調理・給食・直接処遇職員は月1回
  - 乳幼児検診・・・随時
  - 入所時検診・・・随時
2. 身体計測の実施・・・月1回（身長、体重、頭囲、胸囲）
3. 身体衛生の実施（入浴、爪切り、耳掃除、着衣清潔、手洗い、歯磨き、整髪）
4. 環境衛生の管理（便所清掃消毒、寝具日光消毒、敷布カバー交換、カーテン洗濯、玩具消毒、玩具消毒、室温湿度調節、換気、防虫）
5. 感染予防（感染源との隔離、消毒）
6. 鍛錬（薄着の励行、ベビーマッサージ、日光浴、外気浴、体育あそび等）
7. 安全な環境の確保と十分な目配り
8. 玩具等の保安全管理点検
9. 事故防止と安全（窒息、転倒、転落、かみつき）
10. 施設内外の危険箇所等の確認及び保全点検・・・月2回
11. 非常時（火災・地震・不審者）対策、訓練の実施・・・月1回
12. 建物設備等点検・・・業者委託（総合建物サービス株式会社・NEW NEXT CLEAN）
  - ① 空調機保守点検（年2回）
  - ② 換気設備保守点検（年2回）
  - ③ 受水槽清掃・水質検査（年1回）
  - ④ グリストラップ清掃（年2回）
  - ⑤ 消防設備点検（機器点検・総合点検）（年2回）
  - ⑥ 巡回設備点検（年2回）

## 4) 養育の展開

1. 担当養育制
  - ・養育者が受けもつ子どもを決めて、入所から退所まで原則として変えない。
  - ・養育者は受けもつ子どもとの愛着関係を結び、安定した生活を送れるようにする。
  - ・保護者に共感的に寄り添い子どもとの関係構築を支え、養育支援を行う。
2. 自立支援計画
  - ・子どもの成長、発達を支援するため、担当養育者は2ヶ月毎に自立支援計画を作成し、評価・反省を行う。
3. 健康管理
  - ・嘱託医、市保健センターなどの指導を受け、健康管理を行う。
4. 生活
  - ・小規模グループケアを行い、個別的な対応を多く持つ。
  - ・養育マニュアルを基本とし、個々の発達に応じた養育をする。
5. 日中の養育の充実
  - ・年間養育目標、月案に基づいて、豊かにあそびを展開する。  
（あそびを通じて運動能力、知的発達、手指の操作性、他者との関係能力などを高めていく）

## 6. 行事

### ① 季節、伝承の行事

- ・お宮参り …… 生後1ヶ月頃  
氏神様に無事に生まれた報告をし、健やかな成長を願う。
- ・氏神様へのお参り …… 生後2ヵ月以上で入所した児  
氏神様に乳児院へ入所したことを報告し、健やかな成長を願う。
- ・お食い初め …… 生後3～4ヶ月  
一生食べることに困らないようにという願いを込めて行う。
- ・一升餅 …… 1歳の誕生日に  
1歳まで無事成長したことを祝い、これからも健やかに成長することを願って、餅（一升の米）を背負わせる。
- ・こどもの日（5月5日） ・七夕（7月7日） ・花火（7月）
- ・ハロウィンパーティー（10月31日頃）
- ・七五三（11月15日） ・クリスマス（12月24日） ・節分（2月2日）
- ・ひなまつり（3月3日） ・おたのしみ会（3月最終木曜日）

### ② その他の行事

- ・誕生会 …… 誕生日を迎えたその日にグループでお祝いする。  
保護者の希望など状況によっては家族だけでお祝いする。
- ・動物園遠足（春） 水族館遠足（秋）
- ・スキンシップデー  
社会体験の一つとして、担当養育者と外出し、公園で遊んだり、外でお弁当を食べたり、公共交通機関の利用や外食、お店見学、買い物などを体験する。また、担当養育者とお泊まり体験をして家庭的な雰囲気味わう。
- ・つくば香風寮との交流  
児童養護施設の幼児と日常的に遊びの交流を行う。また、兄姉のいる子どもに対しては、積極的に交流の場を設ける。
- ・お別れ会  
乳児院を巣立っていく子どもの新しい生活をみんなで励ます。

## 7. 日課

時間	乳 児	幼 児	時間	乳 児	幼 児
5:00			13:00	めざめ	
6:00	めざめ	めざめ	14:00	あそび	めざめ
7:00	検温、授乳	朝食	15:00	離乳食	おやつ
8:00	あそび	あそび	16:00	あそび	あそび
9:00			17:00	入浴	
10:00	離乳食		18:00		夕食
11:00			19:00	就寝準備	入浴
12:00	午睡	昼食	20:00	就寝	就寝準備
		午睡			就寝

## 5) 令和3年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	26	24	28	26	30	27	25	29	27	24	28	28
月例健診	2	7	4	2	6	3	1	5	3	7	-	11
保菌検査(職員)	10	10	5	10	7	4	9	8	4	8	5	5
保菌検査(児童)						4					5	
安全管理点検	6	11	1	6	3	7	5	6	2	4	4	2
	15	20	17	15	19	16	27	18	16	20	25	24
非常時避難訓練	27	8	24	10	31	1	9	27	11	8	-	12

※2月の月例健診・避難訓練は院内の新型コロナ発生のため実施せず

6) 令和3年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	5, 7, 13, 14, 19, 26 13, 18 21, 22, 23	スキンシップデー 誕生会 かみね動物園遠足	10	19 7, 12, 18, 20, 21 22, 25, 28 31	誕生会 スキンシップ ハロウィン
6	8, 24	スキンシップデー	12	2, 6, 10, 13, 15, 16 24 29	スキンシップデー クリスマス会 もちつき
8	4, 5 4, 13 17	スキンシップデー 誕生会 夏祭り(院内)	2		

7) 令和3年度資料

1. 職員の研修

	施設長	事 務	看護師	保育士	指導員	栄養士	心 理	調理員	計
団 体	1	2	5	3	5	0	1	0	17
県・社協	2	2	4	11	4	0	1	2	26
法人・施設	14	14	50	133	21	13	9	26	280
計	17	18	59	147	30	13	11	28	323

2. 児童構成 (R4. 3. 31現在)

性 別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	計
男	4	2	6	0	0	12
女	0	5	1	0	0	6
計	4	7	7	0	0	18

3. 各月初日在籍及び入退所児童

[ ]は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	19	17	17	15	17	16	17	17	18	19	19	19	210
入 所 うち( )は初日入所			1			1		1 (1)	3 (1)				6
退 所 うち( )は初日退所	2		2		1			1				1	7
月末在籍	17	17	15	17	16	17	16	18	19	19	19	18	208

4. 入院理由別表

入 院 理 由	男	女	計
1. 父又は母の 死亡			0
2. // 行方不明			0
3. // 離婚			0
4. // 不和			0
5. // 拘禁			0
6. // 入院			0
7. // 就労			0



8.	精神疾患等	4	4	8
9.	放任・怠惰	3		3
10.	虐待・酷使	7	5	12
11.	棄児			0
12.	養育拒否			0
13.	破産等の経済的理由		1	1
14.	児童の問題による監護困難			0
15.	その他			0
16.	不詳			0
合 計		14	10	24

5. 退院理由別表

退 院 理 由	男	女	計
1. 親元解除	1	1	2
2. 里親委託	1	2	3
3. 措置変更	1	1	2
合 計	3	4	7

6. 在院期間 (R4.3.31現在)

1年未満	2年未満	2年以上	3年以上	計
7	7	8	2	24

7. 一時保護入所状況

人 数 12名  
延べ日数 577日

8. ショートステイ受入状況

土浦市 1名 阿見町 1名  
つくば市 2名 ひたちなか市 1名  
取手市 1名  
計 6名 (延べ日数 27日)

9. 栄養投与状況

1. 食 費 1日当たり 580円  
2. 熱 量 1,116Kcal (基準 937Kcal)  
3. たん白質 39.3g (基準 24.6g~46.9g)



入院理由別総計表（さくらの森乳児院）

入院理由	平成23	24	合計
父または母の死亡			-
” 行方不明	1	2	3
” 離婚・就労			-
” 傷病・入院	2	4	6
” 精神疾患	3	6	9
” 受刑	3	3	6
” 被虐待・被冷遇	4	6	10
” 棄児・迷子		1	1
その他・未成年等	4	8	12
計	17	30	47

入院理由	平成25	26	27	28	29	30	令和1	令和2	令和3	合計
父又は母の死亡	1									1
” 行方不明	1			1	1					3
” 離婚										0
” 不和	1	1	1	1						4
” 拘禁	1	2	2	3	3	2	2			15
” 入院	3	3	2	1		2				11
” 就労										0
” 精神疾患等	5	6	6	8	5	6	9	8	8	61
” 放任・怠惰	2	1	1	1			3	1	3	12
” 虐待・酷使	2	2	1	2	6	6	7	12	12	50
棄児	1	1	1			1				4
養育拒否	5	6	3	1		1				16
破産等の経済的理由				7	1	1	1	1	1	12
児童の問題による監護困難	2									2
その他の		7	7	2	11	7	1	1		36
不詳										0
計	24	29	24	27	27	26	23	23	24	227

※平成25年度より集計項目変更

## 1 4 . 児童心理治療施設 内原深敬寮

### 1) 令和4年度運営計画

令和4年度は、内原深敬寮の新たな中・長期運営計画(前期行動計画)の5年目となりますが、計画が達成できるよう努めます。特に令和3年度は、新型コロナの影響もありで地域に対する公益事業の推進計画を進めることができなかったため、積極的に取り組んでいきます。

また、第三者評価の受審年度となるので、施設の課題に対して施設運営改善委員会で整理して、改善計画を実施していきます。

令和4年度も前年度に引き続き、福祉サービスの向上のため「治療方針」に基づいた、支援プログラムを実施して児童の支援向上に取り組んでいきます。

#### 1 福祉サービスの向上

- (1) 施設運営改善委員会における業務改善「業務システム」の実施
- (2) 内原深敬寮の「治療方針」に基づいた、支援プログラムの充実
- (3) 児童に対する児童相談所とレスパイト等(一時保護)の連携を含めた協力体制の充実
- (4) 児童に対する個別支援プログラムの実施
- (5) 地域に対する公益事業の推進に向けた取組の実施

#### 2 組織体制の強化

- (1) 第三者評価の受審の実施
- (2) 児童支援の組織的強化のためOJT体制の実施

#### 3 人材の育成と人材確保

- (1) 業務改善をふまえた園内研修の実施
- (2) 法人研修への積極的参加
- (3) 職員の外部研修の計画的受講によるスキルアップ
- (4) 人材確保のため、大学等に積極的な施設PRの実施

#### 4 財政基盤の強化

- (1) 法人計画に基づく計画的な施設積立実施等、健全な予算執行の推進
- (2) 印刷製本・水道光熱費の前年度1%の節約
- (3) 職員及び子どもたちへの節約意識の啓蒙

### 2) 運営の概況

令和3年度は、新型コロナによる感染症の予防への取り組みに苦慮した1年でした。感染予防対策のため例年行ってきた、球技大会の参加や夏のキャンプの中止など、多くの行事が無くなりました。

又、外出、外泊等の家庭との交流を制限するなどしたため、児童も生活で落ち着かない状況になったので、児童支援では、積極的に「個別支援プログラム」を多く取り入れました。

施設運営の課題については、業務改善委員会を毎月開催して、職員業務の見直しを進め、特に児童と職員にとって、安心・安全な環境を整えるため、業務調査や児童相談所との連携強化のための取り組みを今後も継続して行っています。

### 3) 児童処遇の状況

#### イ) 基本方針

当施設は、児童心理療育施設として、福祉・医療・教育が協力・連携した総合環境療法のなかで、情緒的不適応をおこした子ども達に対して、総合・多面的に援助を行い、心の成長と自立を促して、21世紀の担い手として一人ひとりが、心身ともに健やかに成長していく支援を行って行きます。

##### ① 法人綱領、基本理念を尊重し、具体化しての実践。

子どもの権利擁護を中心に位置付け、施設の特徴をできるだけ活かした支援を実践する。そして、それは「人権を守る」ことであり、一人ひとりの個々の問題に焦点を合わせ、的確な見立てと、最善の治療方針を模索して、治療者との人間関係を通じて情緒の改善を図っていくプロセスとなります。私たちは、子ども達に対して、常に一人の人間として尊重して対応して、心身ともに健やかな成長を育める環境を造ってまいります。

##### ② 安心して生活できる場、再育的関わり。

施設が安心できる場所となり、子ども達が本来体験し発達の文脈にそくして成長する機会を保障できる生活環境を整備してまいります。

##### ③ 福祉・医療・教育・の3部門の連携・協力

子ども達の持つ課題に対して、3部門が協力(チームアプローチ)して多角的な視点と総合的な関わりによって、最善の支援を行ってまいります。

#### ロ) 基本的目標

法人理念・綱領を実践し、児童が将来社会的自立できるよう援助・指導する。

##### 1. 布施 (人にやさしく、感謝の心をもって生きる)

- (1) やさしさ・思いやりの心を育てる。
- (2) 挨拶・返事の習慣化と感謝の心を育てる。
- (3) 他と協調する中で社会性を育てる。

2. 持 戒 (約束やきまりを守って生きる)
    - (1) 約束やきまりを守り、自律の心を養う。
    - (2) 基本的な生活習慣を身に付ける。
    - (3) 将来社会的自立ができる。
  3. 智 慧 (目標を持ってたくましく生きる)
    - (1) 目標に向かって努力する。
    - (2) 趣味やスポーツ活動に積極的に参加し、豊かな人間性を養う。
    - (3) 夢や希望をもった創造性ある生活を送れる。
- 内原深敬寮での実践において、権利擁護を中心に位置づけ、子どもとの人間関係を大切にしてい、「生きる力」を大きく培える支援を実践します。
- 【あなたのことを知っています】  
 かならず名前を呼ぶことで、子どもであっても個人として尊重します。
- 【あなたに関心があります】  
 挨拶は人間関係を築く最初の基本であり、常に明るく挨拶を心掛けます。
- 【あなたを必要とします】  
 ありがとうの言葉は、一人の人間お互いに尊重できる言葉であり、常にその環境を造っていきます。

#### ハ) 支援目標

1. 児童支援の向上
  - (1) 児童の安定 (安心して落ち着いた生活を送れる)
  - (2) 日常生活の援助指導 (規則正しい生活リズムを作る)
  - (3) 個性の尊重 (個人の特性を尊重し、伸ばす手助けをする)
  - (4) 学習指導の強化 (基礎学力の向上と進路指導)
  - (5) 自立支援 (児童自立支援計画に基づいた援助)
  - (6) 家庭との連携 (家庭通信・帰省・面会・行事への参加)

#### ニ) 学習指導

- (1) 目 的
  - ・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。
- (2) 内 容
  - ・自ら学習計画を作成し、自主的な学習につなげる。

#### ホ) 環 境 (安全・保健・環境)

- (1) 目 的
  - ・子どもが安全に落ち着いて生活できる環境を作る。(毎月安全委員会開催)
- (2) 内 容
  - ・手洗い・消毒の習慣化
  - ・清潔感を養う (服装、身体) 衛生検査の実施 (身体、頭髪、爪、耳垢等)
  - ・入浴指導の徹底
  - ・定期検便の実施
  - ・年齢による段階的な洗濯の習慣化
  - ・環境整備 (施設、補修、整備、整理整頓)
  - ・安全点検日 (職員が安全面の定期点検をする)
  - ・非常時 (火災、地震) 対策、訓練の実施
  - ・交通安全の徹底 (自転車、点検、補修)

### 4) 運 営

職員は法人理念・綱領を実践し、服務規程に従い勤務すると共に、自己研鑽に努める。

#### 1. 職 員 会 議

- |             |       |         |
|-------------|-------|---------|
| (1) 職員会議    | ..... | 月 1 回   |
| (2) 給食会議    | ..... | 月 1 回   |
| (3) ケース会議   | ..... | 月 1 回   |
| (4) インテーク会議 | ..... | 月 2 回   |
| (5) 担当者会議   | ..... | 月 1 回   |
| (6) 連絡会議    | ..... | 毎日午前・午後 |
| (7) 分教室連絡会議 | ..... | 月 1 回   |

#### 2. 保健衛生及び安全管理

##### (1) 環 境 衛 生

- |                  |       |       |
|------------------|-------|-------|
| ア. 室内外の消毒 (オスバン) | ..... | 月 1 回 |
| イ. 便所消毒          | ..... | 週 1 回 |
| ウ. 寝具消毒 (日光消毒)   | ..... | 毎 日   |
| エ. 浴場消毒 (オスバン)   | ..... | 週 1 回 |
| オ. 食器消毒 (熱 風)    | ..... | 毎 日   |
| カ. 残留塩素調査        | ..... | 毎 日   |

- (2) 身体衛生
- 7. 健康診断 …………… 学校保健法に準じて実施  
(本園嘱託医により) … 2月19日
  - イ. 身体測定 …………… 月 1 回
  - ウ. 散髪 …………… 3ヶ月に2回
  - エ. つめ切り …………… 週 1 回
  - オ. 下着交換 …………… 毎 日
  - カ. 入浴 …………… 毎 日
  - キ. 児童保菌検査 …………… 年 2 回
  - ク. 職員保菌検査 …………… 月 1 回

- (3) 安全管理
- 7. 電気設備の検査 (日本テクノ) …………… 月 1 回
  - イ. 火災報知器の検査 (水戸ホーチキ株) …………… 7月14日 1月11日

- (4) 児童の安全
- 7. 非常時避難訓練・消火訓練の実施 (月 1 回)
  - イ. 交通安全指導 (自転車通学・通塾時)
  - ウ. 環境整備 (毎月第2水曜、第4水曜)

## 5) 児童の支援計画

### ◎学習指導について

1. 基礎学力養成のためのドリル学習
2. 平日の学習について … 帰園後に実施するのが通常であるが、児童の状況によって変更もある。
3. 場 所 …… 食堂・居室・学習室
4. 意欲、目標を持ち自分から学習する習慣
5. 学校の準備、後片付けの徹底

### ◎心理療法について

1. 個人心理療法実施 … 週1回 (45分)
2. グループワーク … 年間計画により実施 (小学生7回、中学生7回)
3. 家族療法事業による個別心理療法の実施

### ◎生活支援について

毎日の基本的な生活習慣を身につけるほか、集団生活の中での適応力を育てることで温かい人間関係が持てるよう援助する。

1. 児童の小遣いについて (毎月1日支給)
  - ・管理を児童の年齢や状況に応じて経験させ、その指導を行う。
2. 誕生日について
  - ・誕生日プレゼントを用意し、ケーキを囲んで皆で祝う。
  - ・誕生日会は児童の誕生日の夕食時に行う。
  - ・夕食のメニューは誕生者の希望するもの。
3. お年玉について
  - ・未帰省児童に支給
4. 子ども会議の育成
  - ・職員・児童が一緒になっての年間行事等の協議・検討。
  - ・意見箱の設置
5. 日 課

時間	平 日	休 日	時間	平 日	休 日
7:00	起床・清掃・洗面	起床・清掃・洗面	16:00	宿題 グループ活動 自由時間	グループ活動
7:20	朝食				
8:20	登校 (セラピー)	朝食	18:00	夕食	夕食
9:00	昼食	清掃 自由遊び	19:00	入浴	入浴
11:00	帰園		20:00	テレビ視聴	テレビ視聴
12:00	昼食	昼食			
13:30	登校 (セラピー)		21:00	就寝 (小学校低学年)	就寝 (小学校低学年)
14:00	帰園	自由遊び	21:30	就寝 (小学校高学年)	就寝 (小学校高学年)
15:00	おやつ	おやつ	22:00	就寝 (中学生)	就寝 (中学生)

6) 令和3年度項目別実施記録

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
身体測定	29	31	30	31	30	30	30	30	29	30	28	29
保菌検査(児童)						3					4	
保菌検査(職員)	2	7	4	2	6	3	8	5	3	7	4	4
安全管理点検	14	12	9	14	25	8	13	10	8	12	9	9
非常時避難訓練	24	29	26	17	28	25	30	27	18	29	26	12

7) 令和3年度行事内容

月	日	行 事	月	日	行 事
4	8	分教室中学校入学式	10	21	男子誕生会
	15	男子誕生会		31	女子誕生会
	29	女子誕生会	11	2	男子誕生会
4	女子未帰省児レク	3~4		男子お泊まりレク	
22	男子誕生会	20		女子誕生会	
5	30	女子誕生会	12	20~21	女子お泊まりレク
	6	26		男子外食テイクアウト食事会	4~5
25			クリスマス会		
31			男子誕生会		
7	18	男子誕生会	1	2	男子初詣(水戸市有賀神社)
	18	女子誕生会		3	女子初詣(水戸東照宮)
				18	女子誕生会
8	1	女子映画鑑賞会	2	2	節分豆まき
	5	男子誕生会		19	女子誕生会
	8	女子夏みレク		22	女子おやつ作り
	29	女子誕生会	3	5	男子卒業を祝う会
9	5	男子誕生会		11	小学校卒業式
				18	中学校卒業式
			21	女子卒業を祝う会	
	26	女子誕生会	27	女子誕生会	

8) 令和3年度資料

1. 職員の研修

	園長	事務	指導員	保育士	栄養士	調理員等	看護師	セラピスト	計
県・社協			10	1				4	15
団体	3	1	3	2				4	13
法人・施設	10	2	103	28	3		10	56	212
計	13	3	116	31	3		10	64	240

2. 児童構成(R4.3.31現在)

区分 年令・学年	未就学児						小学生				中学生			高校生			計		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1		2	3
男										1	2	2	3	1	2	1			1
女										1	1	2	2	1	2	3	1	1	
計										2	3	4	5	2	4	4	1	2	27

3. 各月初日在籍及び入退園児童(入所)

[ ]内は停止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	30	28	28	28	28	28	28	29	29	29	30	31	346
入所 うち( )は初日入所	1				1		1			1	1		6
退所 うち( )は初日退所	3				1			1				4	9
月末在籍	28	28	28	28	28	28	29	28	29	30	31	27	342

4. 各月初日在籍及び入退園児童（通所）

区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍	6	9	8	8	8	9	9	10	9	9	10	10	105
入 所 うち( )は初日入所	3					[1]	1			1		1	7
退 所 うち( )は初日退所			[1]					1				1	3
月末在籍	9	9	8	8	8	9	10	9	9	10	10	10	109

5. 男女別問題行動別在籍児童数  
別紙1参照

6. 退園理由別表（入所）

退 園 理 由	男	女	計
1. 自立（就職）			
2. 進学（専門学校）		1	1
3. 措置変更	1	2	3
4. 家庭引取り	1	4	5
合 計	2	7	9

7. 在 園 期 間（R4.3.31現在）

1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上	計
6	13	7	1		27

8. 栄養投与状況

◎嗜好調査 …………… 毎月、誕生月の児童に対して実施、年1回記述アンケートにより実施

1. 食 費 1日当り 859 円（原材料費）
2. 熱 量 小学生 2,297 Kcal（基 準 2,026 Kcal）  
中学生 2,687 Kcal（基 準 2,417 Kcal）
3. たん白質 小学生 80.7 g（基 準 45.9 g）  
中・高学生 93.9 g（基 準 57.5 g）





男女別問題行動別在籍児童数（1名3カウントまで）

領域	愁訴や問題の内容	男			女			計					
		入	所	通	所	小	計	入	所	通	所	小	計
<b>総 数</b>		<b>45</b>	<b>18</b>	<b>63</b>	<b>63</b>	<b>18</b>	<b>81</b>	<b>108</b>	<b>36</b>	<b>144</b>			
I 対人関係の問題	1. 内気、小心、孤立、いじめられなど												
	2. 癩癩、衝突、いじめなど	4	2	6	3	1	4	7	3	10			
	3. 場面緘黙や寡黙、極端な羞恥など												
	4. 対人恐怖、醜形恐怖、自己臭恐怖など												
	5. 過剰反応、気の遣いすぎなど												
	0. その他				1		1	1		1			
II 社会生活の問題	1. 盗み、暴力行為、放火など		1	1	1		1	1	1	2			
	2. 喫煙、シンナー、薬物乱用等の嗜好												
	3. 性をめぐる問題および行動化												
	4. 自傷行為、希死念慮～自殺企図				3	1	4	3	1	4			
	5. 事故、災害、犯罪被害												
	0. その他												
III 学校生活の問題	1. 学校恐怖ないし登校拒否	2	1	3	5		5	7	1	8			
	2. 学校怠けおよびその傾向												
	3. 級友や教師とのもめ事	3	1	4	1	1	2	4	2	6			
	4. 情緒不安定や落ち着きの無さ、協調の無さ	3	2	5	5	2	7	8	4	12			
	5. 校内での暴力、破壊行為												
	0. その他												
IV 家庭生活の問題	1. 家族関係の欠乏や過剰、不和	7	2	9	4	1	5	11	3	14			
	2. 家庭崩壊やその傾向		1	1					1	1			
	3. 被虐待やそのヒストリー	8	2	10	20	5	25	28	7	35			
	4. 家族の事故や喪失	1	2	3		1	1	1	3	4			
	5. 居場所のなさ、徘徊、放浪、家出など				8	2	10	8	2	10			
	6. 激しい反抗や暴力	4		4	1	1	2	5	1	6			
	7. 家庭内での嘘や盗みなど		1	1	3		3	3	1	4			
	0. その他				1		1	1		1			
V 習癖上の問題	1. 頻尿・遺尿・遺糞など排泄上の問題	3	1	4	1		1	4	1	5			
	2. チックや汚言症												
	3. 吃音、早口症、書癡												
	4. 抜毛症、爪噛み、身体いじり												
	5. 洗手強迫、強迫行為、儀式行動など												
	0. その他	1		1				1		1			
VI 心身・身体症状	1. 拒食、過食、肥満、異食などの食行動異常	1		1	1	1	2	2	1	3			
	2. 腹痛、下痢、嘔吐など消化器症状												
	3. 不眠、夢中遊行などの睡眠障害												
	4. 頭痛、他諸種の疼痛												
	5. 失神、過呼吸、視力低下、失立失歩など												
	6. 喘息・湿疹などのアレルギー症状												
	7. 低身長や第二次性徴などの身体的発達の遅れ												
	0. その他					1	1		1	1			
VII 精神症状	1. 抑鬱気分、不全感など												
	2. 怒りっぽさ、興奮、パニック	1		1				1		1			
	3. 感情易変性												
	4. 不安、緊張、過敏、怯え	1		1				1		1			
	5. 恐怖症、強迫観念												
	6. 妄想様念慮、異常体験												
	7. アパシー、無為、引きこもり												
	0. その他	1		1				1		1			
VIII 発達上の問題	1. 注意転動性、過反応性、多動性	1	2	3				1	2	3			
	2. 特定学習能力の障害				1		1	1		1			
	3. 微細協調運動の不器用												
	4. 自閉症近縁の自己中心性や関われなさ	4		4	4	1	5	8	1	9			
	5. 構音障害、言語発達の遅れ												
	0. その他												

令和4年度当初予算書

単位：千円

	合計	本部	臨海学園	同仁会乳院	同仁東保育園			同仁会児童家庭支援センター	同仁会子どもホーム	くれよんクラブ高萩	内原和敬齋内原深敬齋	児童家庭支援センターあいはりー	つくば香風寮	さくらの森乳児院	COLORSつくば
					同仁東保育園	ゆうゆうクラブ	地域子育て支援センター								
事業活動収入	1,822,650	744	173,891	204,959	188,615	12,282	8,704	34,883	141,614	29,366	230,710	262,879	224,106	222,968	31,595
施設設備等収入	100,834		61,683	39,151											
その他活動収入	80,581	27,210	19,914	12,519	2,000	2,000		3,000	9,000		230	4,000	106	602	2,000
収入合計	2,004,065	27,954	255,488	256,629	188,615	14,282	8,704	34,883	144,614	38,366	230,710	263,109	224,212	223,570	33,595
事業活動支出	1,783,551	24,605	186,964	204,037	158,642	14,586	8,933	35,708	155,209	37,721	209,617	237,996	215,860	198,765	36,305
施設設備等支出	190,741		82,629	52,143	2,300					2,000	18,400	18,463	10,804	3,002	
その他活動支出	59,787	3,405	1,268	1,408	15,771	66	39	206	1,068	167	5,482	1,593	1,534	27,267	216
支出合計	2,034,079	28,010	270,861	257,588	176,713	14,652	8,972	35,914	156,277	39,888	233,499	258,052	228,198	229,034	36,521
予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差引残高	△ 30,014	△ 56	△ 15,373	△ 959	11,902	△ 370	△ 268	△ 1,031	△ 11,663	△ 1,522	△ 2,789	5,057	△ 3,986	△ 5,464	△ 2,926

前期末支払資金残高	253,897	757	23,451	35,105	26,324	802	7,123	2,703	11,826	5,388	29,504	9,286	26,207	64,516	3,538
当期末支払資金残高	223,883	701	8,078	34,146	38,226	432	6,855	1,672	163	3,866	26,715	14,343	22,221	59,052	612

# 財 産 目 録

令和4年3月31日現在

社会福祉法人 同 仁 会

I 資産の部				3,641,537,716円
1	流動資産			633,534,026円
	ア 現金			1,534,599円
	イ 預金			230,558,240円
	ウ 有価証券			0円
	エ 事業未収金			98,314,805円
	オ 未収金			348,600円
	カ 未収補助金			280,925,948円
	キ 立替金			155,272円
	ク 前払金			8,214,162円
	ケ 前払費用			13,482,400円
2	固定資産			2,049,890,194円
	(1) 基本財産			
	ア 土地			
	同仁会子どもセンター敷地	高萩市肥前町1丁目80番地の2	1筆 3,112.97㎡	9,330,000円
	同仁東保育園敷地	高萩市高浜町2丁目28番地の1	1筆 711.87㎡	13,118,000円
	ゆうゆう館敷地	高萩市有明町1丁目144番地	1筆 506.36㎡	30,602,500円
	くれよんクラブ高萩敷地	高萩市有明町1丁目46番地	1筆 538.93㎡	16,289,000円
	内原同仁会子どもセンター敷地	水戸市小林町1186番84、85	1筆 11,329.26㎡	45,995,610円
	〃	水戸市鯉淵町2508番53	1筆 2,796.00㎡	10,743,390円
	つくば同仁会子どもセンター敷地	つくば市高崎802番1	1筆 6,153.00㎡	37,182,418円
	イ 建物			
	同仁会子どもセンター本館	高萩市肥前町1丁目80番地の2及び81番地の2	1棟 3,160.15㎡	336,871,445円
	同仁東保育園舎	高萩市高浜町2丁目34番地、35番地	1棟 993.36㎡	132,678,330円
	ゆうゆう館本館	高萩市有明町1丁目144番地	1棟 399.74㎡	23,718,850円
	同仁会子どもホーム本館	高萩市秋山712番地の1、711番地の1	1棟 514.61㎡	36,395,625円
	同仁会子どもホームユニット棟	〃	1棟 97.70㎡	30,874,283円
	くれよんクラブ高萩本館	高萩市有明町1丁目46番地	1棟 111.79㎡	38,837,951円
	内原深敬寮園舎	水戸市小林町1186番84、85、鯉淵町2508番53	1棟 1,751.91㎡	390,884,764円
	内原和敬寮本館	〃	1棟 1,205.10㎡	276,588,010円
	内原和敬寮小規模ユニット棟	〃	1棟 345.43㎡	72,180,341円
	内原同仁会子どもセンター管理棟	〃	1棟 302.67㎡	54,963,828円
	児童家庭支援センター あいびー	〃	1棟 323.06㎡	137,263,110円
	つくば香風寮園舎	つくば市高崎802番1	1棟 1,074.92㎡	205,993,744円
	さくらの森乳児院	〃	1棟 457.95㎡	57,089,377円
	つくば同仁会子どもセンター管理棟	〃	1棟 323.30㎡	36,265,675円
	COLORSつくば	つくば市高崎802番地4	1棟 159.35㎡	56,023,943円
	(2) その他の固定資産			958,113,496円
	ア 土地			
	同仁会子どもセンター敷地	高萩市肥前町1丁目82番の1、2	2筆 336.96㎡	26,822,016円
	同仁東保育園敷地	高萩市高浜町2丁目29番地の1、3	2筆 327.00㎡	13,809,000円
	福祉施設建設予定地	高萩市有明町3丁目60番2、30番8、30番12	3筆 320.07㎡	6,548,000円
	福祉施設建設予定地	石岡市行里川13422-3、12、13438-6	3筆 3,893.93㎡	37,690,000円
	つくば同仁会子どもセンター敷地	つくば市高崎802番3、4	2筆 2,948.00㎡	17,817,582円
	イ 建物			
	同仁東保育園倉庫	高萩市高浜町2丁目34番地、35番地	1棟 23.89㎡	480,300円
	内原深敬寮学校棟	水戸市小林町1186番84、85、鯉淵町2508番53	1棟 739.18㎡	218,920,408円
	ウ 構築物			95,008,304円
	エ 機械及び装置			1,802,537円
	オ 車輛運搬具			495,846円
	カ 器具及び備品			27,381,756円
	キ 建設仮勘定	同仁会子どもセンター大規模修繕工事		312,435,200円
	ク 権利			138,907円
	ケ 退職給付引当資産			85,172,640円
	コ 措置施設繰越特定積立資産			69,269,000円
	サ 損害賠償積立預金			43,832,000円
	シ ブレーク進学支援積立資産			490,000円
II 負債の部				1,093,001,116円
1	流動負債			
	ア 事業未払金			338,670,252円
	イ 1年以内返済予定設備資金借入金			52,129,000円
	エ 預り金			262,000円
	オ 職員預り金			2,025,224円
	カ 前受金			30,000円
	キ 賞与引当金			66,489,000円
2	固定負債			
	ア 設備資金借入金			548,223,000円
	イ 退職給与引当金			85,172,640円
III 差引正味財産				2,548,536,600円

資 金 収 入 支 計 算 書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

単位：千円

	合 計	法人本部	臨海学園	同 仁 会 乳 児 院	同 仁 保 育 園 点	東 東 仁 園 抛 点	く れ よ ん ク ラ ブ	児 童 家 庭 支 援 セ ン タ	同 仁 子 ホ	会 も と ム	内 原 和 敬 寮	あ い び ー	内 原 深 敬 寮	つ く ば 香 風 寮	さ く ら の 森 児 院	COLORS つ く ば
事業活動収入 (1)	1,750,199	785	169,186	194,695	184,563	25,409	27,858	149,405	221,686	45,093	249,933	218,581	234,426	28,579		
事業活動支出 (2)	1,584,566	26,315	151,738	170,486	168,944	32,497	32,629	143,300	186,367	48,318	232,105	186,529	177,057	28,281		
事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	165,633	△ 25,530	17,448	24,209	15,619	△ 7,088	△ 4,771	6,105	35,319	△ 3,225	17,828	32,052	57,369	298		
施設整備等による収入 (4)	243,281		143,928	91,353				8,000								
施設整備等による支出 (5)	392,736		191,989	121,708	2,671	2,000		21,890	18,686	872	17,924	11,249	3,609	138		
施設整備等による収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 149,455		△ 48,061	△ 30,355	△ 2,671	△ 2,000	0	△ 13,890	△ 18,686	△ 872	△ 17,924	△ 11,249	△ 3,609	△ 138		
その他活動による収入 (7)	149,329	28,180	49,463	30,732	22	8,000	9,000	16,213	1,021	4,013	2,043	136	482	24		
その他活動による支出 (8)	67,130	3,379	1,210	10,259	1,778	133	202	5,104	6,283	1,173	1,738	1,421	34,268	182		
その他活動による収支差額 (9) = (7) - (8)	82,199	24,801	48,253	20,473	△ 1,756	7,867	8,798	11,109	△ 5,262	2,840	△ 1,014	△ 925	△ 33,786	△ 158		
当期資金収支差額合計 (10) = (3) + (6) + (9)	98,377	△ 729	17,640	14,327	11,192	△ 1,221	4,027	3,324	11,371	△ 1,257	△ 1,110	19,878	19,974	0		
前期末支払資金残高 (11)	194,169	1,815	10,117	22,054	32,239	3,795	408	11,435	19,473	6,746	10,836	25,255	46,993	3,000		
当期末支払資金残高 (12) = (10) + (11)	292,546	1,086	27,757	36,381	43,431	2,574	4,435	14,759	30,844	5,489	9,726	45,133	66,967	3,000		

注 1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

2 法人内の内部取引を含んでいません。

事業活動収支計算書

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

単位：千円

勘定科目	法人本部	臨海学園	同仁会乳児院	同仁会保育園	東園ポイント	くれよんクラブ	児童家庭支援センター	同仁子ども会	内原和敬寮	あいびー	内原深敬寮	つくば香風寮	つくば森乳児院	さくらのCOLORSつくば	計
サービスク活動収益(1)	750	168,413	194,451	183,556	25,365	27,851	148,469	220,848	45,093	248,990	217,089	234,269	28,578	1,743,722	
サービスク活動費用(2)	25,591	153,194	172,007	176,713	35,004	32,954	144,820	198,184	52,411	244,220	193,539	181,217	31,771	1,641,625	
事業活動増減差額(3)=(1)-(2)	△24,841	15,219	22,444	6,843	△9,639	△5,103	3,649	22,664	△7,318	4,770	23,550	53,052	△3,193	102,097	
サービスク活動外収益(4)	36	1,017	731	1,056	44	7	1,126	1,182	29	1,124	1,642	562	53	8,609	
サービスク活動外費用(5)		622	120	857	36		696	2,034		2,124	1,308	219		8,016	
事業活動外増減差額(6)=(4)-(5)	36	395	611	199	8	7	430	△852	29	△1,000	334	343	53	593	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△24,805	15,614	23,055	7,042	△9,631	△5,096	4,079	21,812	△7,289	3,770	23,884	53,395	△3,140	102,690	
特別収益(8)	28,180	146,928	92,353		8,000	9,000	8,000			4,000	1,800			298,261	
特別費用(9)		1,875	16,213	2,070			12,300	5,380	900	480	360	33,240		72,818	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	28,180	145,053	76,140	△2,070	8,000	9,000	△4,300	△5,380	3,100	1,320	△360	△33,240		225,442	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	3,375	160,667	99,195	4,972	△1,631	3,904	△221	16,432	△4,189	5,090	23,524	20,155		328,132	
前期繰越活動収支差額(12)	41,073	64,792	49,069	233,520	55,137	△1,039	31,601	△23,559	135,684	242,449	73,496	78,914	61,803	1,042,940	
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	44,448	225,459	148,264	238,492	53,506	2,865	31,380	△7,127	131,495	247,539	97,020	99,069	61,803	1,371,072	
基本金取崩額(14)															
その他の積立金取崩額(15)		46,200	28,861				16,000							91,061	
その他の積立金積立額(16)	3,280													3,280	
次期繰越活動収支差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	41,168	271,659	177,125	238,492	53,506	2,865	47,380	△7,127	131,495	247,539	97,020	99,069	61,803	1,458,854	

注1 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。

2 法人内の内部取引を含んでいません。

# 貸借対照表

令和4年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	633,534	313,106	320,428	流動負債	459,605	237,240	222,365
現金	1,535	1,705	-170	事業未払金	338,670	116,201	222,469
預金	230,558	126,431	104,127	1年以内返済予定設備資金借入金	52,129	52,129	0
事業未収金	98,315	138,329	-40,014	預り金	262	763	-501
未収金	349	363	-14	職員預り金	2,025	1,942	83
未収補助金	280,926	41,225	239,701	前受金	30	32	-2
立替金	155	157	-2	賞与引当金	66,489	66,173	316
前払金	8,214	4,786	3,428				
前払費用	13,482	110	13,372				
				固定負債	633,396	681,583	-48,187
固定資産	3,008,004	2,856,109	151,895	設備資金借入金	548,223	600,352	-52,129
基本財産	2,049,890	2,093,342	-43,452	退職給付引当金	85,173	81,231	3,942
土地	163,261	163,261	0				
建物	1,886,629	1,930,081	-43,452	負債の部合計	1,093,001	918,823	174,178
その他の固定資産	958,114	762,767	195,347				
土地	102,687	102,687	0	純 資 産 の 部			
建物	219,401	225,724	-6,323	基本金	49,038	49,038	
構築物	95,008	121,397	-26,389	基本金	49,038	49,038	
機械及び装置	1,802	4,195	-2,393	国庫補助金等特別積立金	927,054	957,041	-29,987
車両運搬具	496	615	-119	その他の積立金	113,591	201,372	-87,781
器具及び備品	27,382	25,375	2,007	措置施設繰越特定積立金	69,269	160,330	-91,061
建設仮勘定	312,435		312,435	損害賠償積立金	43,832	40,652	3,180
権利	139	172	-33	ブーケ進学支援積立金	490	390	100
退職給付引当資産	85,173	81,230	3,943	次期繰越活動増減差額	1,458,854	1,042,940	415,914
措置施設繰越特定積立資産	69,269	160,330	-91,061	次期繰越活動増減差額	1,458,854	1,042,940	415,914
損害賠償積立資産	43,832	40,652	3,180	(うち当期活動増減差額)	328,132	74,302	253,830
ブーケ進学支援積立資産	490	390	100	純資産の部合計	2,548,537	2,250,391	298,146
資産の部合計	3,641,538	3,169,215	472,323	負債及び純資産の部合計	3,641,538	3,169,215	472,323

注 千円未満は四捨五入で表示しております。そのため、合計金額及び増減の金額が合わない場合があります。





## 令和4年度事業概要

---

---

令和 4年 6月16日発行 (850部)

発行者 社会福祉法人 同 仁 会  
理事長 塩 澤 幸 一  
〒318-0011 茨城県高萩市肥前町1-80  
TEL 0293-23-3245 FAX 0293-22-4260  
ホームページ <http://www.doujinkai.or.jp/>

---

---